

USB PIAFS Data Adapter Cable
for NTT DoCoMo & ASTEL

USB-PHS64 取扱説明書

71103-02

【本書での呼び方】

呼び方	意味
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows Me/98	Windows MeおよびWindows 98の総称
Windows	Windows 2000, Windows MeおよびWindows 98の総称

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
 - 2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
 - 3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
 - 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
 - 5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
 - 6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
 - 7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
 - 8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
 - 9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
 - 10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関する設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
 - 11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
 - 12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
 - 13) お客様は、本製品または、その使用权を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
 - 14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
- I-O DATA、PLANT は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
 - Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
 - Apple、Macintosh、Power Macintosh、Mac、Mac OS は米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
 - DDI POCKET は、DDI ポケット株式会社の登録商標です。
 - NTT DoCoMo、NTT ドコモは、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
 - アステル、ASTEL は、東京通信ネットワーク株式会社の登録商標です。
 - その他、一般にシステム名、サービス名、ソフト名、会社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ	i
本製品を使用すれば	v
本書の見方	vi
本製品のご紹介	vii
注意していただきたいこと	viii

1 ご使用になる前に

箱を開けたら	2
対応している機種と OS	3

2 Windows 2000 で使うには

準備編

本製品で通信できるまでの流れ	6
ステップ1 インストールする	7
ステップ2 インストールは正常ですか？	18
ステップ3 端末速度を設定する	20
ステップ4 発信情報を設定する	24
ステップ5 接続/取り外しについて	26

インターネット接続編

Windows 2000 でインターネットに接続するには	27
ステップ1 接続前の準備	28
ステップ2 接続に必要なソフトウェア	30
ステップ3 通信方式を設定する	44
ステップ4 インターネットを楽しもう	48
ステップ5 通信方式を変更する場合	55

3 Windows Me で使うには

準備編

本製品で通信できるまでの流れ	60
ステップ1 インストールする	61
ステップ2 インストールは正常ですか？	68
ステップ3 端末速度を設定する	70
ステップ4 発信情報を設定する	74
ステップ5 接続/取り外しについて	77

インターネット接続編

Windows Me でインターネットに接続するには	78
ステップ1 接続前の準備	79
ステップ2 接続に必要なソフトウェア	81
ステップ3 通信方式を設定する	91
ステップ4 インターネットを楽しもう	95
ステップ5 通信方式を変更する場合	100

4 Windows 98 で使うには

準備編

本製品で通信できるまでの流れ	104
ステップ1 インストールする	105
ステップ2 インストールは正常ですか？	113
ステップ3 端末速度を設定する	115
ステップ4 発信情報を設定する	119
ステップ5 接続/取り外しについて	122

インターネット接続編

Windows 98 でインターネットに接続するには	123
ステップ1 接続前の準備	124
ステップ2 接続に必要なソフトウェア	126
ステップ3 通信方式を設定する	136
ステップ4 インターネットを楽しもう	140
ステップ5 通信方式を変更する場合	145

「回線モニター」を使う (Windows 98 のみ対応) 147

5 Mac OS で使うには

本製品で通信できるまでの流れ 154
 ステップ1 Mac OS のバージョンを確認する 155
 ステップ2 設定ファイルをコピーする 156
 ステップ3 パソコンに接続する 158

Mac OS でインターネットに接続するには 160
 ステップ1 接続前の準備 161
 ステップ2 接続に必要なソフトウェア 163
 ステップ3 インターネットを楽しもう 176
 ステップ4 通信方式を変更する場合 180

●	付録1	困ったときには ……	183
---	-----	------------	-----

●	付録2	サービス品について …	206
---	-----	-------------	-----

●	付録3	インストールしたソフト を削除するには ……	208
---	-----	---------------------------	-----

●	付録4	仕様 ……	212
---	-----	-------	-----

●	付録5	用語解説 ……	213
---	-----	---------	-----

	PLANT コールセンターへのお問い合わせ ……	215
	サポートソフトのバージョンアップ ……	216
	ユーザー登録 ……	217
	保証について ……	218
	修理について ……	219

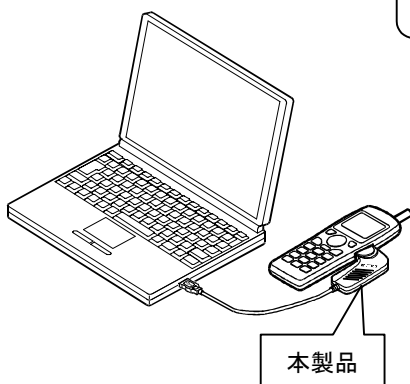
本製品を使用すれば

本製品を使用すれば、パソコン上から、携帯電話を利用してインターネット接続ができます。

※インターネットに接続するには、事前にインターネットプロバイダと契約しておく必要があります。

＜参考＞

契約しなくても、接続できるサービスをキャリアメーカーの方で用意している場合もあります。



インターネット

契約した
インターネットプロバイダ

※携帯電話を操作する必要はありませんが、本製品を使用する際には、電源が入っているか、電波の状態が良好か、を確認しておいてください。



参考

「キャリア」とは

→「コモンキャリア」と呼ばれる自前の通信設備(特に回線網)を所有している通信事業者(第一種電気通信事業者)のこと。日本では NTT、KDDI、日本テレコムなどがこれにあたります。

本書の見方

本書は以下の流れに沿って、必要な箇所をお読みください。

【1 ご使用になる前に】 (1～4ページ)



本製品の箱の中に入っているものや
本製品が対応しているパソコンや携帯電話
などについて説明します。

— 以下のお使いのOSの箇所をお読みください。 —

※以下の各OSの箇所では、【準備編】と【インターネット接続編】があります。

【準備編】は必ずお読みください。

インターネットに接続する場合は、さらに【インターネット接続編】もお読みください。

Windows 2000



【2 Windows 2000で使うには】(5～57ページ)

Windows Me



【3 Windows Meで使うには】(59～101ページ)

Windows 98



【4 Windows 98で使うには】(103～152ページ)

Mac OS



【5 Mac OSで使うには】(153～181ページ)

本製品のご紹介

● PHSを使って、手軽に高速モバイル通信

NTT ドコモ社製のPHS (PIAFS 1.0版およびPIAFS 2.0版)に対応、アステル社製のPHS (PIAFS 1.0版)に対応。

送受信64Kbps/32Kbpsの高速通信が可能です。

※PIAFS 1.0版(32Kbps)、PIAFS 2.0版(64Kbps)

● USB採用で、接続簡単、外部電源不要

パソコンに差し込むだけの簡単接続。バスパワー駆動（パソコンから電源を取ります）だから外部電源も不要。

● モバイルに最適な低消費電流設計

パソコンのバッテリーに負荷をかけない低消費電流設計です。

● “軽い&小さい”コンパクト設計

使い勝手を最優先し、コネクタを可能な限り小さくし、軽量化を図りました。外出や出張などの携帯に最適です。スケルトン仕様のスマートデザインです。

● 通信を楽しむソフトウェアを添付

□ 通信中の状況が一目でわかる「回線モニター」(Windows 98専用)

通信速度はもちろん、今月累計時間など、細かい情報が一目で確認できるソフトウェアです。インターネットのお供に。

注意していただきたいこと

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、本製品に同梱されている小冊子「安全で快適にお使いいただくために」を必ずお読みください。

ここでは、その小冊子の記載以外の注意点について説明します。

1) 以下の注意事項を守ってお使いください。

- 本製品は次のような場所で使用しないでください。
 - ・ 腐食性ガス (Cl_2 , H_2S , NH_3 , SO_2 , NO_x など) の多い場所
 - ・ 静電気の影響が強い場所
 - ・ 「安全で快適にお使いいただくために」に記載されている使用禁止場所
- 接続するときは電波の強い状態を確認してから行ってください。
携帯電話の電波が弱い地域では正常にデータ通信できない場合があります。
- 本製品は NTT DoCoMo 社製やアステル社製の PHS 専用です。
DDI ポケット「*feel H* (フィールエッジ)」、「*H* (エッジ)」、 α -DATA32 対応携帯電話、 α -DATA 対応携帯電話ではご使用いただけません。
- 本製品は 1 台のパソコンに複数個を接続して使用することはできません。
- 本製品と他の USB 機器 (USB スピーカーや USB モデム [弊社製 USB-PM560] など) を同時に使用すると、処理速度が遅くなったり、送受信時にデータ抜けが発生する可能性があります。通信中にはそれらの USB 機器と併用しないでください。
- 本製品は、サスペンド/スタンバイ/休止/スリープモードに対応していません。本製品を接続中にサスペンド/スタンバイ/休止/スリープモードになってしまった場合は、必ずスタンバイ復帰後に本製品を USB スロットから取り出し、もう 1 度差し込んでください。

2) 本製品の内部の修理は弊社修理係にご依頼ください。(219 ページ参照)

改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

1

ご使用になる前に

箱を開けたら.....	2ページ
対応している機種と OS	3ページ

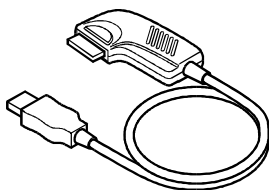
箱を開いたら

箱を開いたら、以下のものが入っているか確認してください。

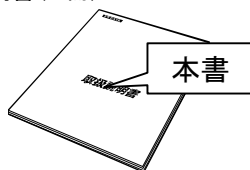


本製品 (1 本)

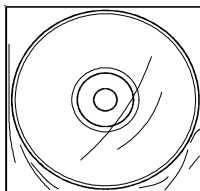
[ケーブル長: 約 34cm]



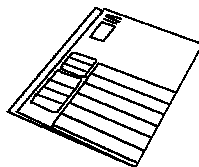
取扱説明書 (1 冊)



サポートソフト CD-ROM (1 枚)



ユーザー登録カード (1 枚)



ハードウェアシリアル No.シール

(1 枚)



『安全で快適にお使い
いただくために』 (1 冊)



ハードウェア保証書 (1 枚)



- ・箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。
- ・本製品には、Macintosh 用としてモデム設定ファイル (Apple Remote Access CCL ファイル) およびドライバソフトのみ添付しております。通信ソフトウェアなどのアプリケーションは添付しておりませんので、別途お買い求めください。

対応している機種と OS

本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

■ Windows ■

対応機種	USB ポートがあり、MMX Pentium 200MHz 以上の CPU をもつ、以下の機種 ●DOS/V マシン （弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。） ● NEC PC98-NX シリーズ
対応 OS （日本語版）	Windows 2000 Windows Me Windows 98（Second Edition 含む）
CD-ROM ドライブ※	インストール時に必要
USB コネクタ	本製品接続時に 1 つ必要（A タイプ）

※USB ポートが1つのみのパソコンで、CD-ROMドライブをUSBポートでお使いの場合は、次ページを参照してください。

■ Macintosh ■

対応機種	USB ポートを搭載した以下の機種 Power Macintosh G3/G4/G4 Cube、 iMac、PowerBook G3/G4、iBook
対応 OS	Mac OS 8.6/9.0/9.0.4/9.1
CD-ROM ドライブ	インストール時に必要
USB コネクタ	本製品接続時に 1 つ必要（A タイプ）

■ 対応携帯電話 ■

対応携帯電話	NTT ドコモ社製（一部除く）またはアステル社製の PHS
--------	-------------------------------



- ・電話機側のコネクタが PHS 用の形状をしている電話機でご使用できます。
- ・DDI ポケット「feel H^φ（フィールエッジ）」、「H^φ（エッジ）」、α-DATA32 対応携帯電話、α-DATA 対応携帯電話ではご使用いただけません。
- ・NTT ドコモ社製の PHS 用でない接続コネクタの機種ではご使用いただけません。

Windows で USB 接続 CD-ROM ドライブをお使いの場合

本製品を使用するには、「サポートソフト」CD-ROM ディスクをインストールするための CD-ROM ドライブが必要です。

Windows パソコンに USB ポートが1つのみで、かつ CD-ROM ドライブを USB ポートでお使いの場合、インストール時に CD-ROM ドライブが使えません。

以下の方法で「サポートソフト」CD-ROM の内容をハードディスクにコピーしておいてください。

1 エクスプローラを起動します。

[スタート]→[プログラム]→[エクスプローラ]を順にクリックします。(Windows 2000は[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ])

2 [すべてのファイルを表示する]に設定します。

- ①[ツール]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
- ②[すべてのファイルとフォルダを表示する]をチェックします。
- ③[OK]ボタンをクリックします。



参考

[ツール]メニューの[フォルダ オプション]が無い場合、以下の手順で設定します。

- ①[表示]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
- ②[表示]タブの[すべてのファイルを表示する]をチェックします。
 - ③[OK]ボタンをクリックします。

3 ハードディスクドライブ (Windowsがインストールされているドライブ)に、任意のフォルダを作成します。

4 USBポートにCD-ROMドライブを接続し、「サポートソフト」CD-ROMディスクをセットします。

5 「サポートソフト」CD-ROMディスクの内容をすべて3 の手順で作成したフォルダにコピーします。

2

Windows 2000 で使うには

～ 準備編 ～

本製品で通信できるまでの流れ……………	6ページ
ステップ1 インストールする……………	7ページ
ステップ2 インストールは正常ですか？	18ページ
ステップ3 端末速度を設定する……………	20ページ
ステップ4 発信情報を設定する……………	24ページ
ステップ5 接続/取り外しについて……………	26ページ

～ インターネット接続編 ～

Windows 2000 でインターネットに

接続するには……………	27ページ
ステップ1 接続前の準備……………	28ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア……………	30ページ
ステップ3 通信方式を設定する……………	44ページ
ステップ4 インターネットを楽しもう……………	48ページ
ステップ5 通信方式を変更する場合……………	55ページ

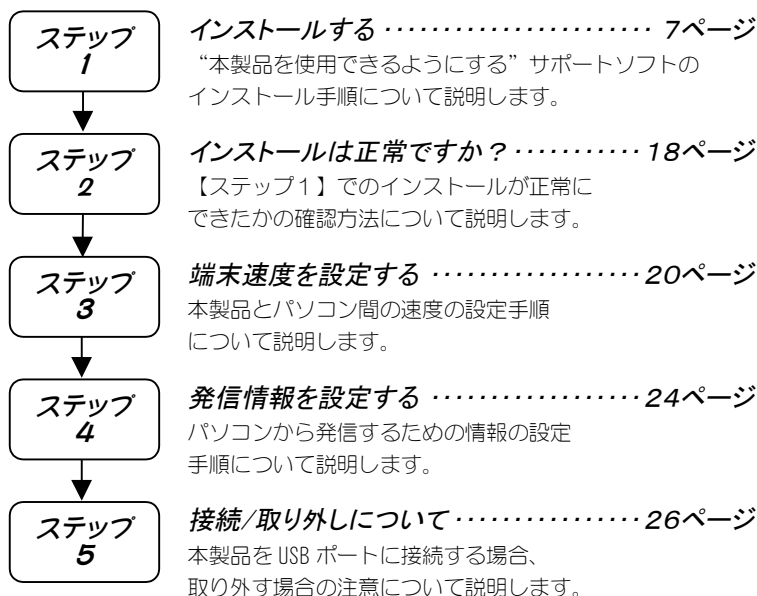
準備編

本製品で通信できるまでの流れ

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、最初に本製品を使用できるようにする設定、またパソコン側での設定が必要です。

ここでは、本製品を使用して、パソコンから通信できるようにするまでの手順について説明します。

以下の流れに沿ってお進みください。



ステップ 1

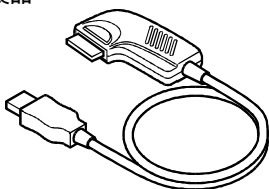
準備編 インストールする

本製品を使用するには、まず、「サポートソフト」CD-ROM ディスクのインストールが必要です。

次ページの手順でインストールしてください。

用意するもの

・本製品



・添付の「サポートソフト」CD-ROM



・携帯電話



※ 本書で説明している携帯電話のイラストは一例です。
お使いの機種により、異なります。
また、本製品との接続用コネクタの場所も機種により異なります。



USB ポートが1つのみのパソコンで、CD-ROMドライブをUSB ポートでお使いの方は、インストール時に CD-ROM ドライブが使えません。
本製品を接続する前に、4 ページの手順で「サポートソフト」CD-ROM の内容をハードディスクにコピーしてください。次ページ以降では、「サポートソフト」CD-ROM の挿入は不要となります。また、12 ページ 10 の手順で指定するフォルダは、コピーしたフォルダの [WIN2000] フォルダを指定してください。

「サポートソフト」をインストールする

本製品を使用するには、「サポートソフト」CD-ROM 内のドライバソフトをパソコンにインストールする必要があります。

ここでは、そのインストール手順について説明します。

インストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。

次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。



インストールする際は、パソコンの電源を入れ、Windows が起動してから本製品を接続します。

- 1** 本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れ Windows 2000を起動します。



- 2** 携帯電話の電源を入れます。



参考

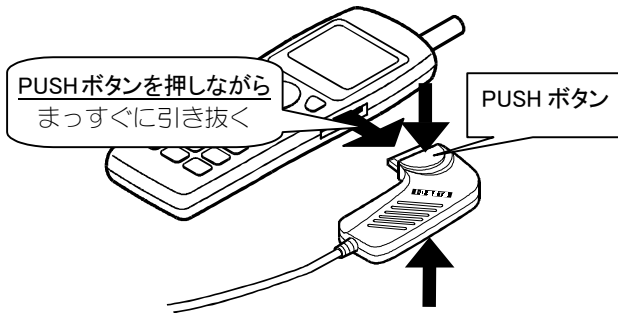
次ページ3 の手順で携帯電話と本製品を接続しますが、携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。(接続後に携帯電話の電源を入れることもできます。)

3 携帯電話の接続コネクタに付いているカバーを取り外し、本製品を接続します。



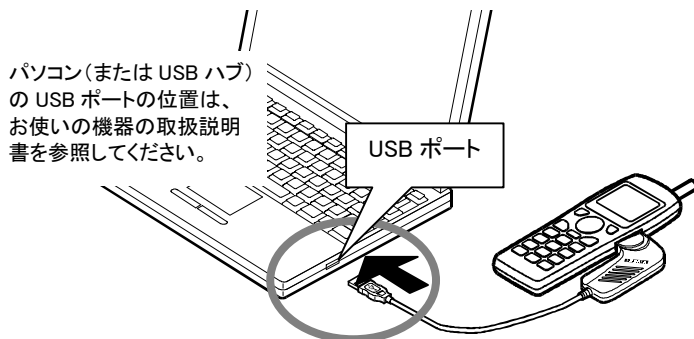
- ・本製品と携帯電話を接続する場合は、コネクタの向きに注意してください。向きが違ったまま無理に差し込むと故障の原因になります。携帯電話によってコネクタの場所や向きが異なりますので、携帯電話の取扱説明書で必ず確認してください。
 - ・本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで(押しながら)まっすぐ引き抜いてください。(以下の図参照)
- PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。

携帯電話から取り外す場合



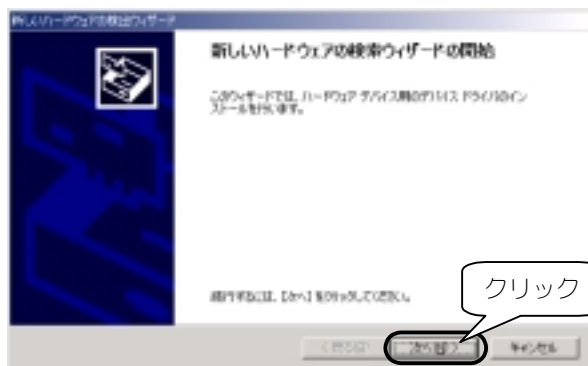
4 Windows 2000 のデスクトップ画面が表示されていることを確認後、パソコン(または USB ハブ)の USB ポートに、本製品の USB コネクタを差し込みます。

USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



5 しばらくすると、パソコンのディスプレイ上に以下の画面が表示されます。

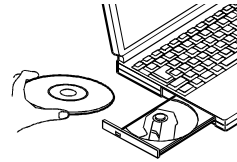
[次へ]ボタンをクリックします。



このインストール画面が表示されない場合は…

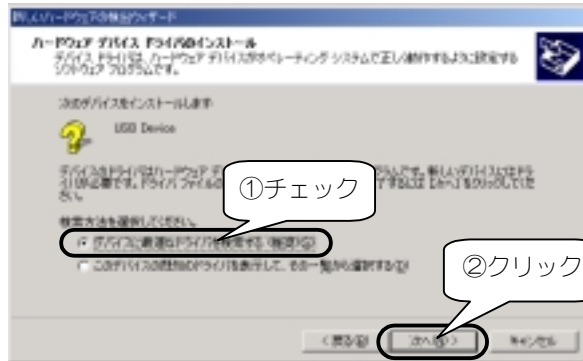
【困ったときには】の
185 ページ
をご参照ください。

- 6 「サポートソフト」CD-ROM を
CD-ROMドライブにセットします。



「サポートソフト」CD-ROM

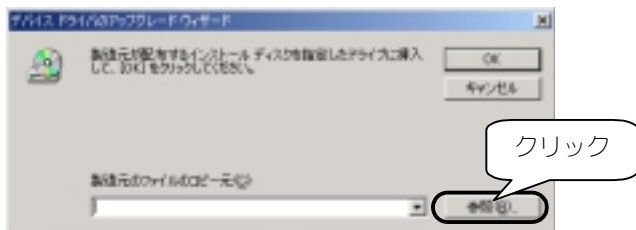
- 7 [デバイスに最適なドライバを検索する]にチェックして、
[次へ]ボタンをクリックします。



- 8 [場所を指定]のみをチェックして(その他の項目のチェックは外してください)、[次へ]ボタンをクリックします。

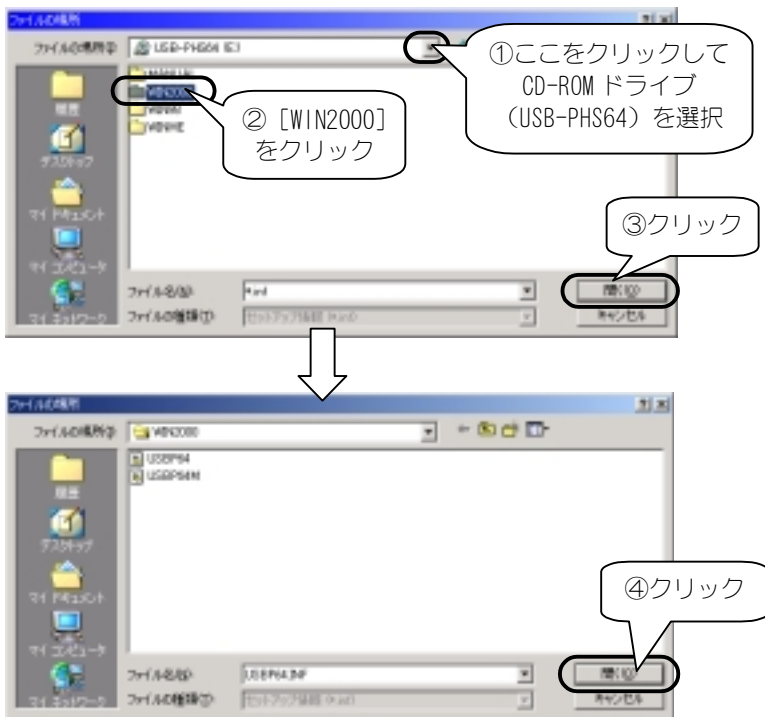


9 [参照]ボタンをクリックします。

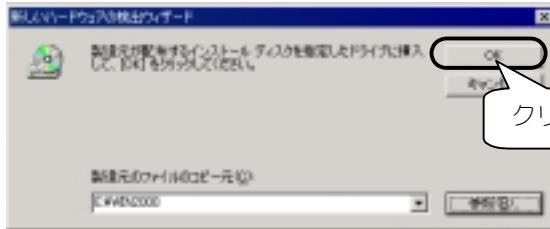


10 インストールするファイルの場所を指定します。

「サポートソフト」をお使いのパソコンのハードディスクにコピーした場合は
→[参照]ボタンをクリック後、以下の手順①でコピー先のハードディスクを選択し、
[WIN2000]フォルダを指定します。



11 [OK]ボタンをクリックします。



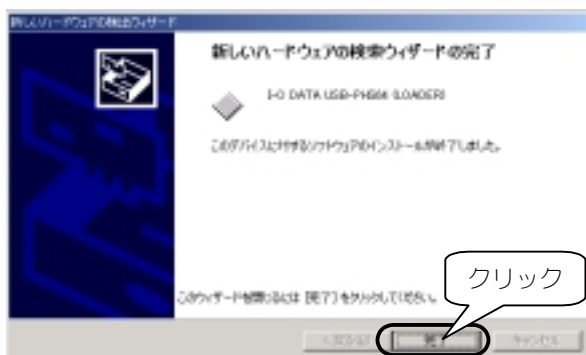
「関数ドライバがこのデバイスインスタンスに指定されなかったためインストールが失敗しました」と表示された場合は…

【困ったときには】の
187 ページ
をご参照ください。

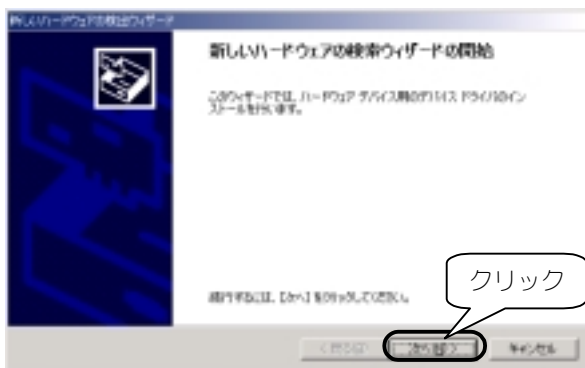
12 [次へ]ボタンをクリックします。



13 [完了]ボタンをクリックします。



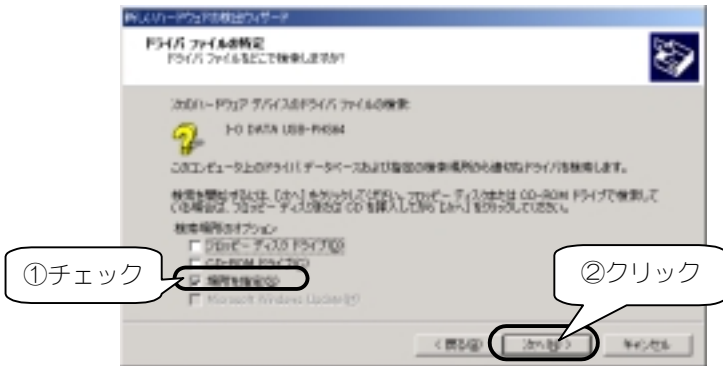
- 14** しばらくすると以下の画面が表示されますので、
[次へ]ボタンをクリックします。



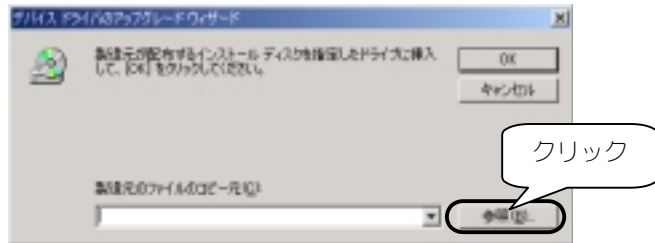
- 15** [デバイスに最適なドライバを検索する]をチェックして、
[次へ]ボタンをクリックします。



16 [場所を指定]のみをチェックして(その他の項目のチェックは外してください)、[次へ]ボタンをクリックします。

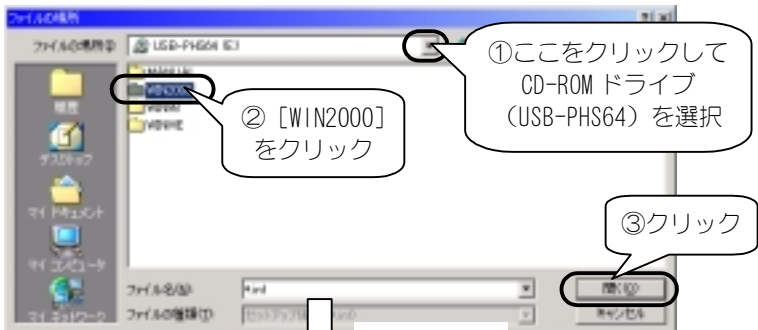


17 [参照]ボタンをクリックします。



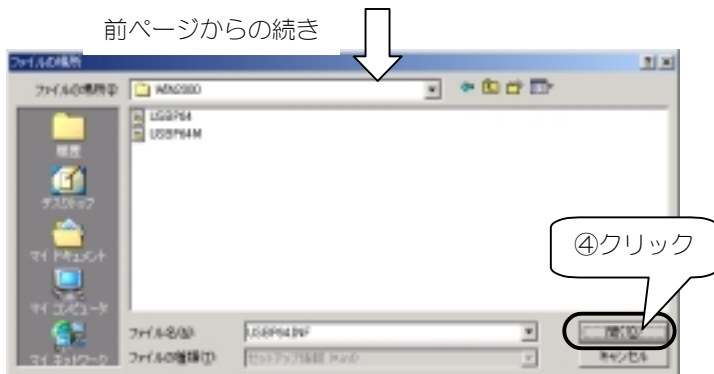
18 インストールするファイルの場所を指定します。

サポートソフトウェアを、お使いのパソコンのハードディスクにコピーした場合は→[参照]ボタンをクリック後、以下の手順①でコピー先のハードディスクを選択し、[WIN2000]フォルダを指定します。

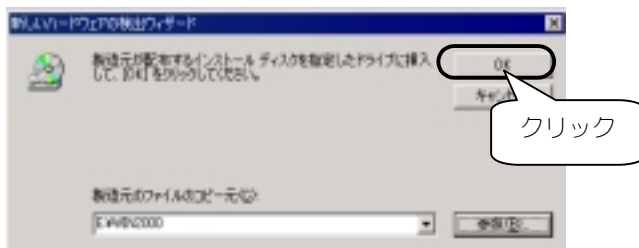


↓ 次ページへ

ステップ1 インストールする



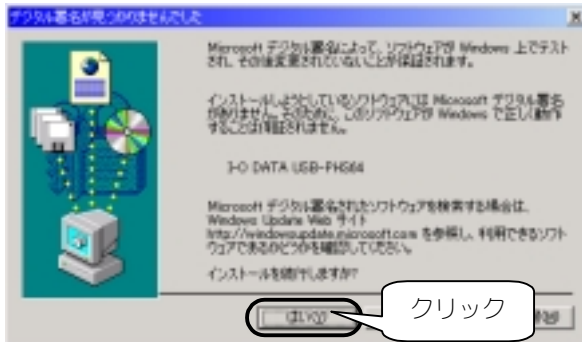
19 [OK]ボタンをクリックします。



20 [次へ]ボタンをクリックします。



21 [はい]ボタンをクリックします。



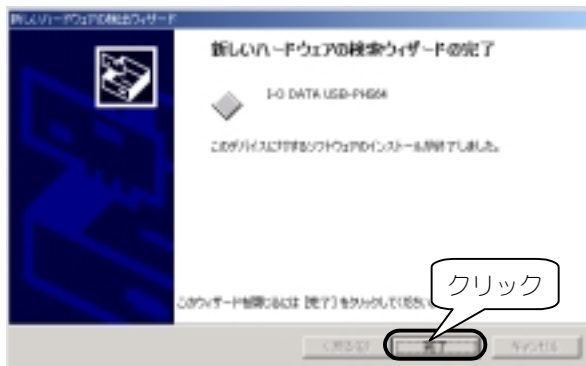
参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。

→マイクロソフト社はWHQLという組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。

このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりません。

22 [完了]ボタンをクリックします。



23 しばらくして、22 の手順の画面が消えたら「サポートソフト」CD-ROMを取り出してください。

以上でインストールは終了です。

次は正しくインストールできたかを確認します。

次ページ【インストールは正常ですか？】へお進みください。

ステップ 2

準備編

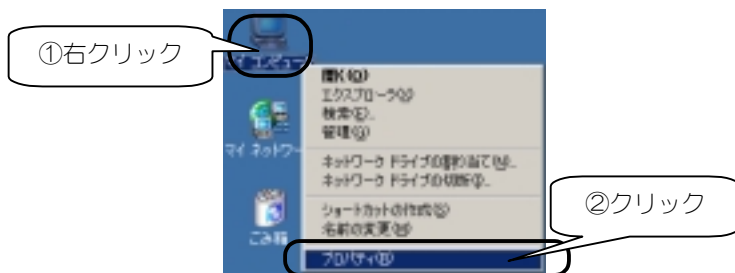
インストールは正常ですか？

【ステップ1】でのインストールが正常に終了すると、パソコンが本製品を正しく認識します。

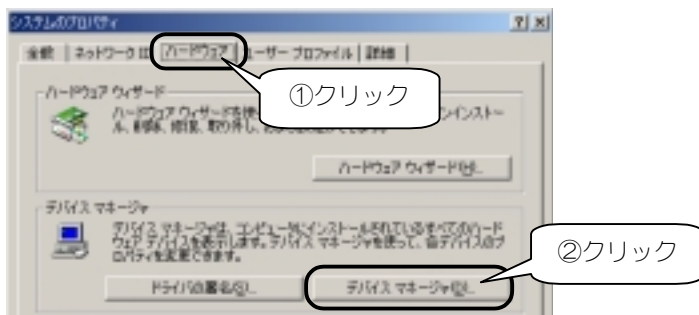
ここでは、「**パソコンが本製品を正しく認識しているか**」を Windows 上で確認します。

本製品を USB ポートに差し込んだままで確認してください。

- 1 [マイコンピュータ]を右クリックして、
[プロパティ]をクリックします。

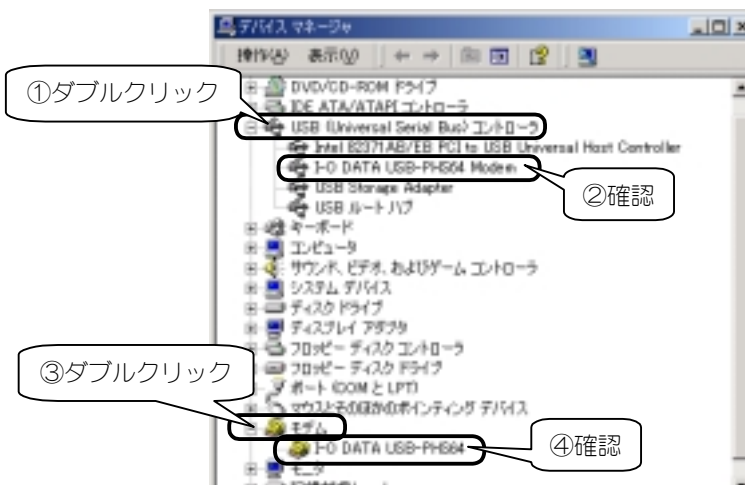


- 2 [ハードウェア]タブをクリックし、
[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3 以下が表示されていれば正常です。

- ・[USB (Universal Serial Bus) コントローラ]をダブルクリックして
[I-O DATA USB-PHS64 Modem]を確認します。
- ・[モデム]をダブルクリックして[I-O DATA USB-PHS64]を確認します。



「I-O DATA USB-PHS64 Modem」が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
188 ページ
をご参照ください。

「I-O DATA USB-PHS64」が表示されない、
あるいは、[!]マークがある場合は…

【困ったときには】の
188 ページ
をご参照ください。

4 画面右上の **X** ボタンをクリックして、画面を閉じます。 前ページ2の手順の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリック して画面を閉じます。

これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認
できました。

次に端末速度の設定を行います。次ページへお進みください。

ステップ 3

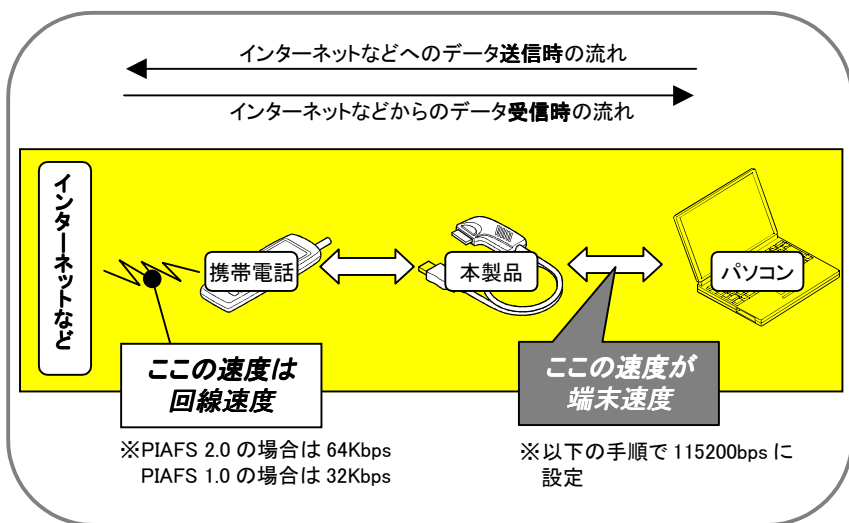
準備編 端末速度を設定する

インストールが正常なことを確認したら、次に本製品とパソコン間の速度（**端末速度**）を設定します。

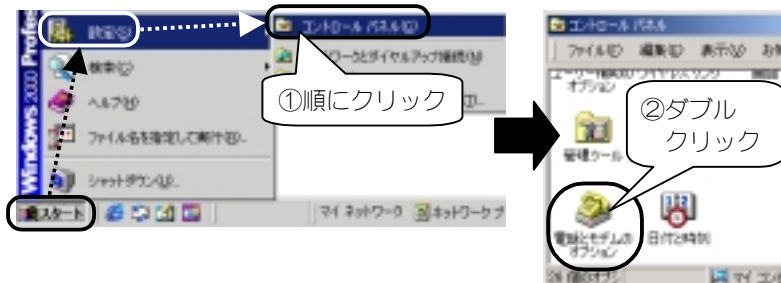
設定後、正常に本製品とパソコンが通信できるかを確認します。

設定と確認は、Windows の [電話とモデムのオプション] アイコンで行います。

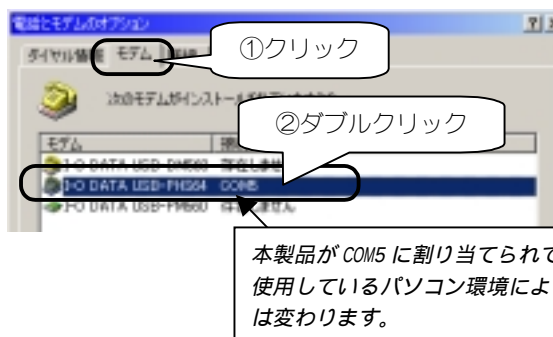
本製品を USB ポートに差し込んだままで設定および確認してください。



- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、
[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。



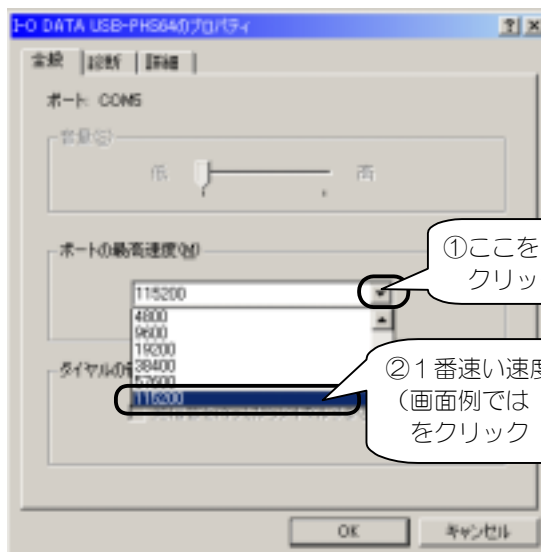
- 2 「電話とモデムのオプション」画面で[モデム]タブをクリック後、
[I-O DATA USB-PHS64]をダブルクリックします。



「I-O DATA USB-PHS64」が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
189ページ
をご参照ください。

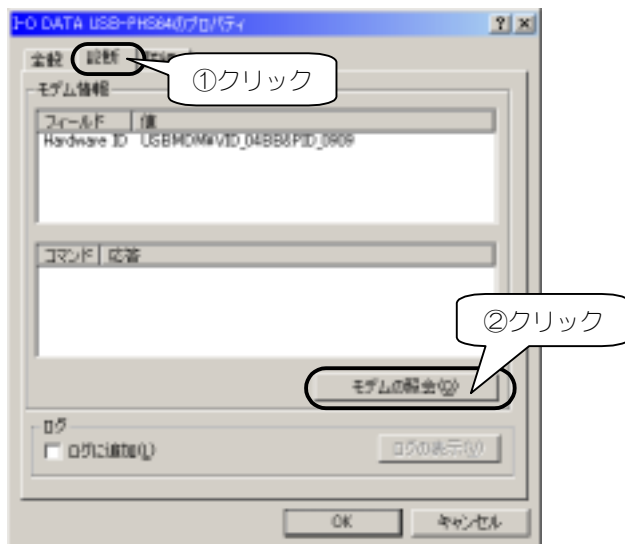
- 3 端末速度を設定します。
[全般]タブで、[ポートの最高速度]を選択肢中で一番速い速度
に設定します。
最高速度には、選択できる速度のうち、最高の速度(115200bpsが望ましい)
を設定しておく、最大パフォーマンスが引き出せます。



4

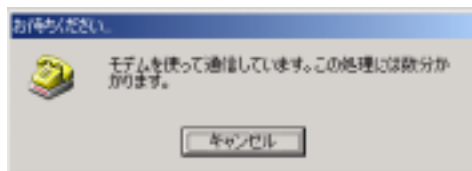
端末速度を設定したら、次に本製品とパソコンが正常に通信できるかを確認します。

[診断]タブをクリックし、
[モデムの照会]ボタンをクリックします。



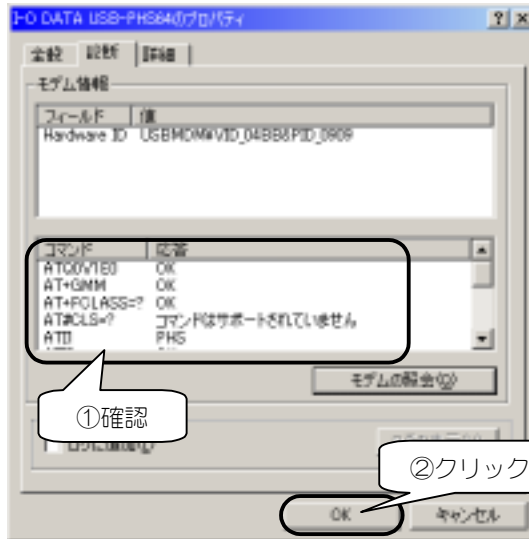
5

「お待ちください」と表示されます。
次ページの6 の手順の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。



6 しばらくすると以下のように表示されます。 確認後、[OK]ボタンをクリックします。

※[コマンド][応答]の部分が真っ白でなく、[AT……]と英数字が表示されたら正常です。



「ポートが開けません」などと
表示された場合は…

【困ったときには】の
189 ページ
をご参照ください。



- ・この通信テストはパソコンと本製品間の通信テストであり、携帯電話を介して通信するテストではありません。
- ・[応答]欄に[コマンドはサポートされていません]と表示されていますが、動作上は問題ありません。

7 [OK]ボタンをクリックし、 [電話とモデムのオプション]画面を閉じます。

ここまでで、本製品とパソコンが正しく通信できることが確認できました。

次に次ページで発信情報を設定してください。

ステップ 4

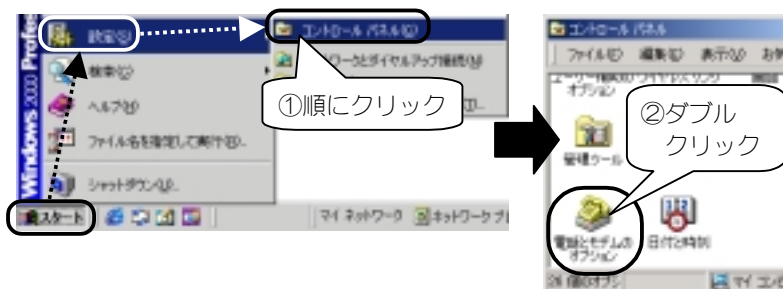
準備編

発信情報を設定する

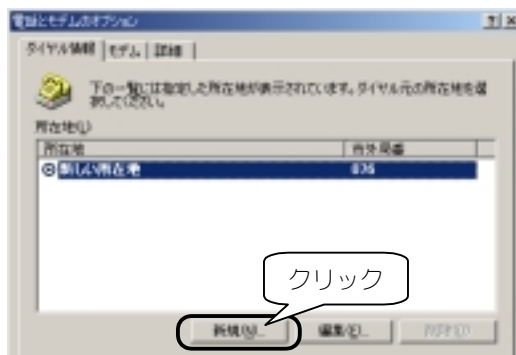
インターネットをはじめ通信ソフトなどを利用するには、パソコンから発信するための情報（発信情報）を設定しておく必要があります。

設定は、Windows の「電話とモデムのオプション」アイコンで行います。
本製品を USB ポートに差し込んだままで設定してください。

- 1** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、
[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。

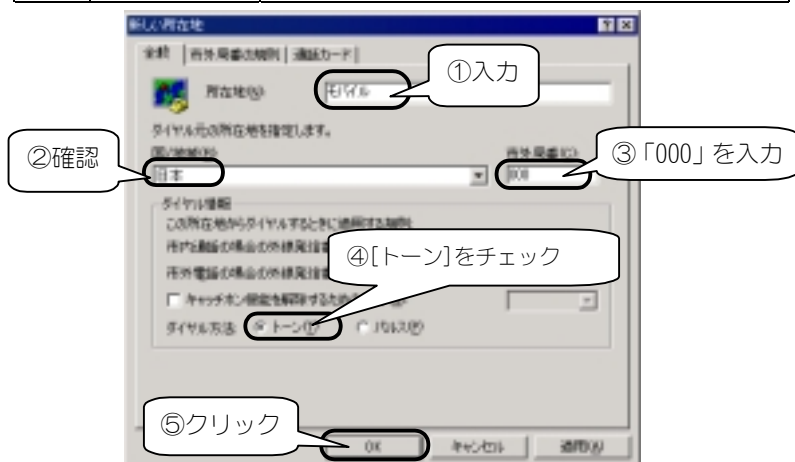


- 2** [新規]ボタンをクリックします。
携帯電話で発信するための設定(所在地)を登録したことがある場合は、
次ページ**4** の手順へ進んでください。
(一般公衆回線やISDN回線用の所在地とは設定内容が異なります。
この場合は新しく所在地を追加してください。)



- 3 [全般]タブで必要な情報を設定して、
[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	所在地	任意の名称(お好きな名称)を入力
②	国/地域	「日本」であることを確認
③	市外局番	「000」などの存在しない数値を入力 ※PHS は市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。 (設定しないと市外局番から発信できません。)
④	ダイヤル方法	[トーン]を選択



- 4 [OK]ボタンをクリックし、
[電話とモデムのオプション]画面を閉じます。

ここまでで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。

1度これらのインストールや設定を行えば、今後はパソコンを起動するだけで使えるようになります。

実際に本製品を使う前に、【ステップ5】(次ページ)を参照して、本製品の接続や取り外し方を確認しておいてください。

本製品を使って…

インターネットを 楽しみたい	→【Windows 2000 でインターネットに接続するには】 (27 ページ)へ
-------------------	--

ステップ 5

準備編

接続/取り外しについて

本製品のパソコンへの接続および取り外しは、以下のいずれでも構いません。

- ・パソコンの電源を切っている状態で接続する、取り外す
- ・パソコンの電源が入っている状態で接続する、取り外す

パソコンの電源が入っている時に取り外す場合は、本製品を使用して
いない（回線切断中である）事を確認してから行ってください。

携帯電話から本製品を取り外す場合

携帯電話から本製品を取り外す際は、以下のように行ってください。



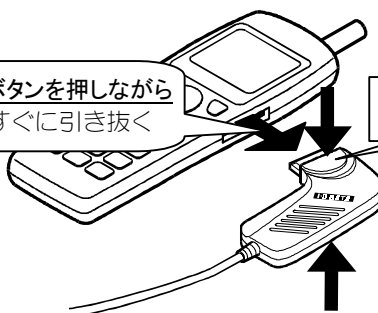
本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで（押しながら）まっすぐ引き抜いてください。（以下の図参照）

PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。

携帯電話から取り外す場合

PUSH ボタンを押しながら
まっすぐに引き抜く

PUSH ボタン



Windows 2000 で インターネットに接続するには

【準備編】(【ステップ1】(7 ページ)～【ステップ5】(26 ページ)) が終了したら、
いよいよインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1	接続前の準備 28ページ インターネットに接続する上で必要な 確認事項について説明します。 ・プロバイダとの契約 ・通信方式の確認 ・パソコン、本製品、携帯電話の準備
ステップ 2	接続に必要なソフトウェア 30ページ インターネットに接続するために必要な ソフトウェアについて説明します。 ・ダイヤルアップ接続
ステップ 3	通信方式を設定する 44ページ 通信方式に応じた設定について説明 します。
ステップ 4	インターネットを楽しもう 48ページ 【ステップ2】で設定した【ダイヤル アップ接続】で実際にインターネットに 接続してみましょう。
ステップ 5	通信方式を変更する場合 55ページ 通信方式を変更する場合の手順について 説明します。

ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。
順にチェックしておいてください。

準備1: プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために
以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（30 ページ
【ステップ2】）、また、インターネットに接続する際（48 ページ【ス
テップ4】）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ・ユーザー名
- ・パスワード
- ・接続先の電話番号
- ・ネームサーバーアドレス※
プライマリ DNS サーバー
セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス(プライマリ DNS
サーバー、セカンダリ DNS サーバー)
は、プロバイダによっては指定がない
場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要は
ありません。

準備2: 通信方式の確認

本製品は、以下の2つの通信方式に対応しています。

No	通信方式	説明
①	PIAFS 2.0	PIAFS という PHS 専用のプロトコルを使用し、 64Kbps で通信する方式。
②	PIAFS 1.0	PIAFS という PHS 専用のプロトコルを使用し、 32Kbps で通信する方式。



参考

「PIAFS」とは

→「ピアフ」と読みます。PHS の端末を使ったデジタルデータ通信規格のことです。

PIAFS 2.0の方(64Kbps)が、PIAFS 1.0(32Kbps)よりも高速にデータ通信を行うことができますが、以下のすべての条件を満たしていないと64Kbpsでの通信ができません。

- ・契約しているプロバイダがPIAFS 2.0に対応している
- ・携帯電話がPIAFS 2.0に対応している
- ・ご利用の場所が64K サービスエリアである

事前に確認しておいてください。

(通常、PIAFS 2.0に対応している場合は、PIAFS 1.0にも対応しています。)

※1つのプロバイダによっても、携帯電話で接続する場合と、その他の機器(モデムやTAなど)で接続する場合では異なる場合があります。

※複数のプロバイダに接続する場合にもそれぞれすべてのプロバイダの通信方式を確認しておいてください。



- ・プロバイダがPIAFS 2.0に対応しているかは、プロバイダにご確認ください。
- ・携帯電話がPIAFS 2.0に対応しているか、また、ご利用場所が64K サービスエリアかは、携帯電話の取扱説明書、あるいは、携帯電話機メーカーにご確認ください。

準備3: パソコン、本製品、携帯電話の準備

パソコン、本製品、携帯電話があればインターネットに接続できます。ただし、以下の確認を行っておいてください。

チェック1: 携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック2: 携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック3: 携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。



携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

ステップ 2

インターネット接続編

接続に必要なソフトウェア

インターネットに接続するには、以下および次ページのソフトウェアがインストールおよび設定されている必要があります。

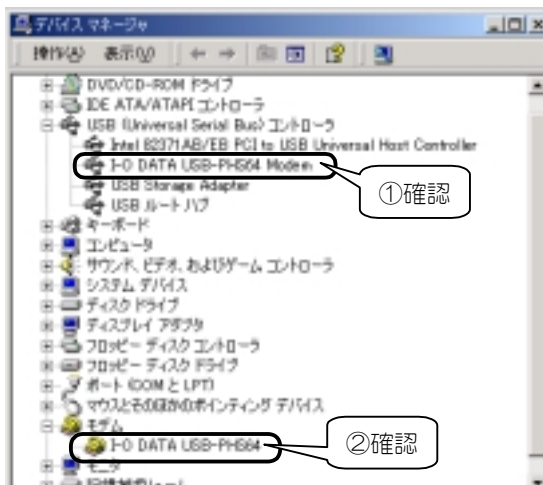
①本製品のドライバソフトウェア

【インストールする】(7 ページ)でインストールした本製品を使用するためのソフトウェアです。

【インストールは正常ですか?】(18 ページ)で正常にインストールされているか確認しておきましょう。

【デバイスマネージャ】画面での以下の表示の確認

- ①[USB (Universal Serial Bus) コントローラ]の下
[I-O DATA USB-PHS64 Modem]の表示
- ②[モデム]の下[I-O DATA USB-PHS64]の表示



②ダイヤルアップを行うためのソフトウェア

次ページ以降で
説明します。

ダイヤルアップを行ってプロバイダに接続するためのソフトウェアです。
詳細な設定は、次ページ以降を参照してください。

③Web ブラウザやメールソフトウェア

インターネットに接続する際に特に必要ではありませんが、接続後に、
ホームページなどを見るためのソフトウェアです。

Windows 2000 には、Web ブラウザとして Internet Explorer が標準で
インストールされています。

ここでは、次ページ以降で[ダイヤルアップ接続]の設定について
説明します。

はじめてインターネットに接続する場合、また、以前の設定はその
まま残して新しい設定を作る場合にも、次ページ以降を参照してく
ださい。

[ダイヤルアップ接続]を設定する

インターネットに接続するには、パソコンからプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア[ダイヤルアップ接続]を設定する必要があります。

本製品を USB ポートに接続したままで設定してください。

はじめて [ダイヤルアップ接続] の設定を行う場合、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、以下の【新しい設定を作るとき】を行います。



参考 1

ダイヤルアップとは

→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者(プロバイダ)に接続すること。

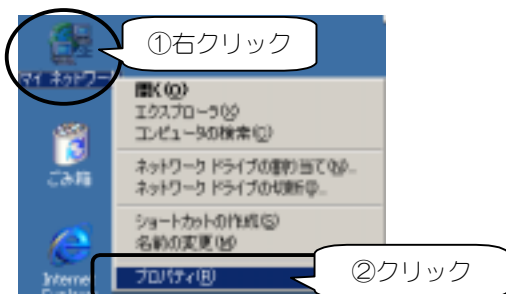


参考 2

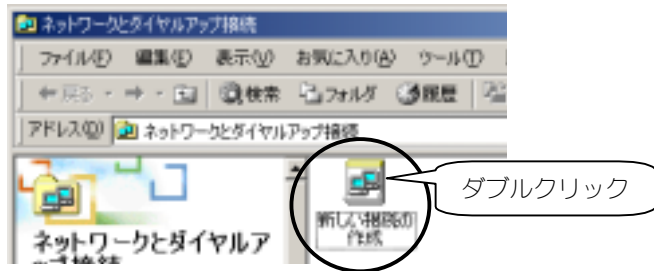
すでにダイヤルアップ接続(インターネット)の設定を行っていて、設定内容を変更する場合は 40 ページ【設定を変更するとき】をご覧ください。

新しい設定を作るとき

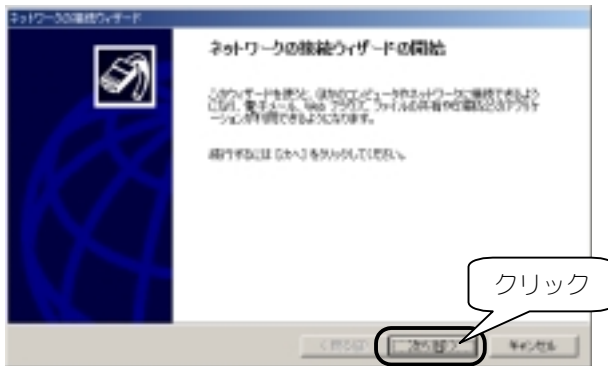
- 1 インターネットプロバイダから入手した[ユーザ名]や[パスワード]などが記載されている資料をご用意ください。
- 2 [マイネットワーク]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



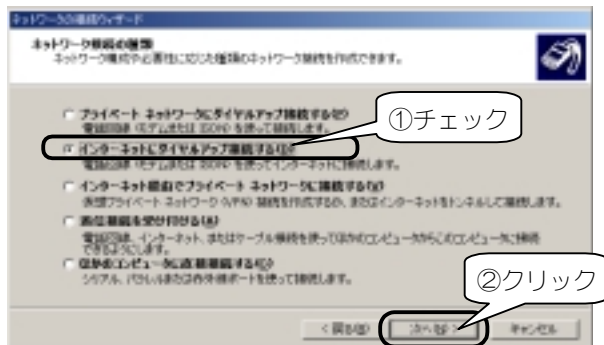
3 [新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックします。



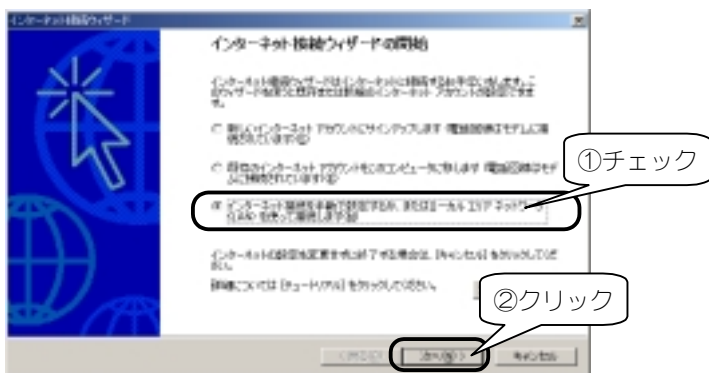
4 [次へ]ボタンをクリックします。



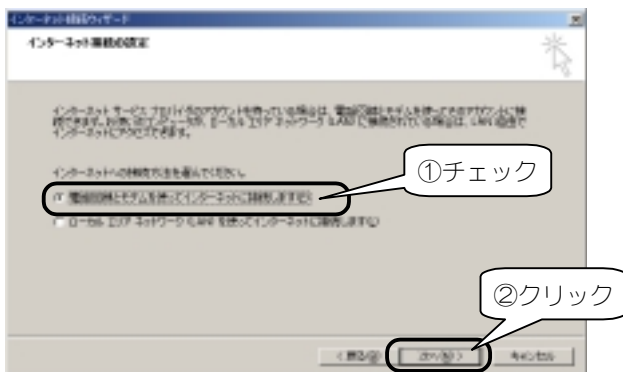
5 [インターネットにダイヤルアップ接続する]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



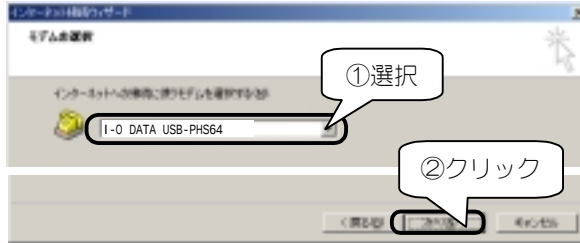
- 6 [インターネット接続を手動で設定するか、……]をチェックし、
[次へ]ボタンをクリックします。



- 7 [電話回線とモデムを使ってインターネットに…]をチェックし、
[次へ]ボタンをクリックします。



- 8 複数のモデムがインストールされている場合は以下の画面が表示されますので、[I-O DATA USB-PHS64]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

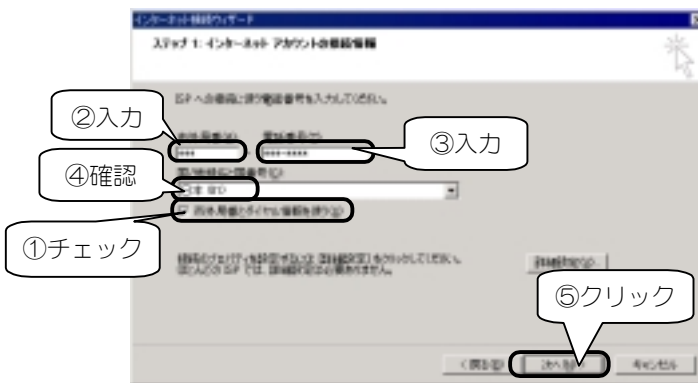


- 9 以下のようにプロバイダの[電話番号]などを設定します。

- ①[市外局番とダイヤル情報を使う]をチェックします。
- ②[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
※ダイヤル先が市内であっても、必ず市外局番から入力してください。
- ③[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
- ④[国/地域名と国番号]欄は、「日本」であることを確認します。

[電話番号]以外に、プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照してください。

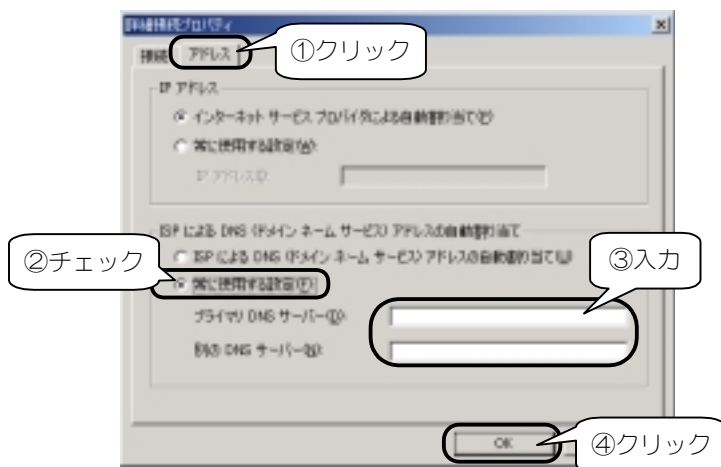
設定後、[次へ]ボタンをクリックします。



[市外局番][電話番号]欄の「***」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。

●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

- 1 前ページ9 の手順の画面で、[詳細設定]ボタンをクリックします。
- 2 [詳細接続プロパティ]画面が表示されますので、以下の手順で設定します。
 - ①[アドレス]タブをクリックします。
 - ②[常に使用する設定]をチェックします。
 - ③[プライマリ DNS サーバー]欄にプライマリ DNS を、[別の DNS サーバー]欄にセカンダリ DNS の値を入力します。設定後、[OK]ボタンをクリックします。



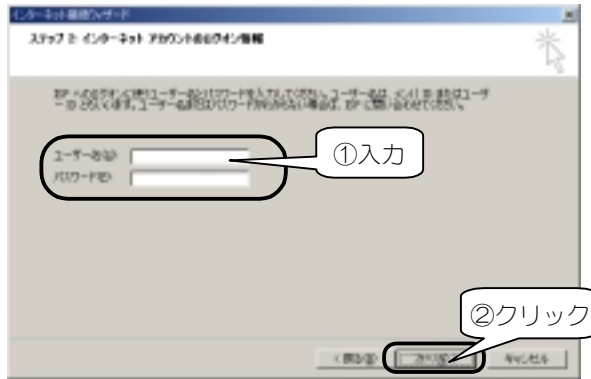
- 3 前ページ9 の手順の画面に戻りますので、[次へ]ボタンをクリックして、次ページ10 の手順へお進みください。



・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

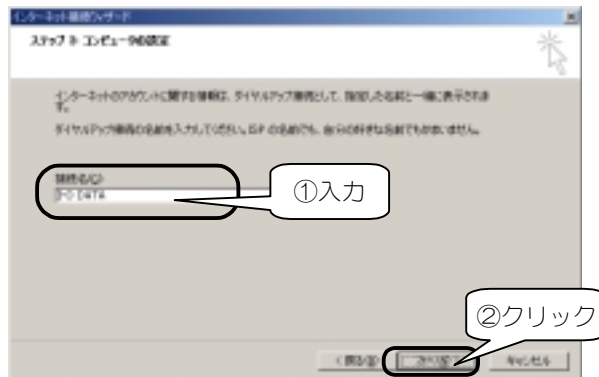
・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。

- 10** プロバイダから案内された[ユーザー名]や[パスワード]を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

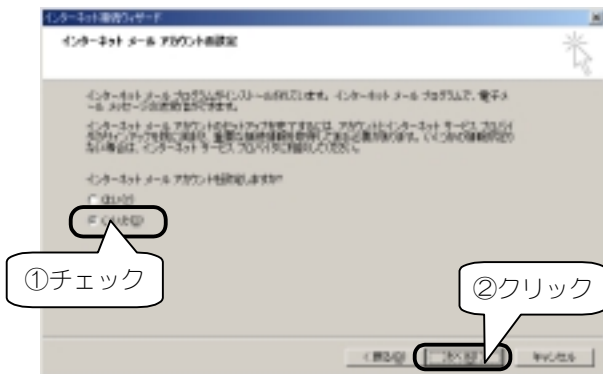


パスワードは[****]と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの
大文字小文字などを間違えないように注意してください。

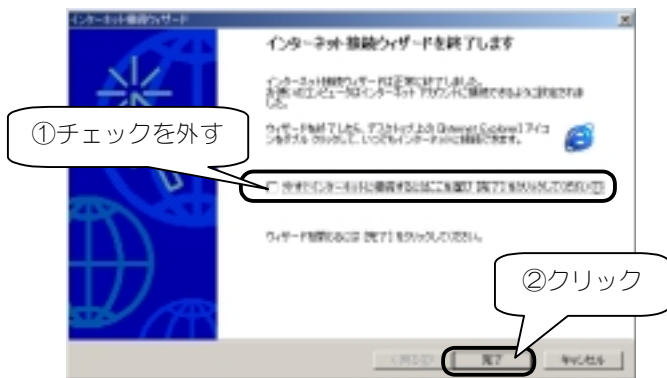
- 11** [接続名]欄に任意の接続名(好きな名前)を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



- 12** [いいえ]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。
メールアドレスの設定はメールソフト側で行えるので、本書では、ここで設定は行いません。



- 13** [今すぐインターネットに…]のチェックを外して、[完了]ボタンをクリックします。



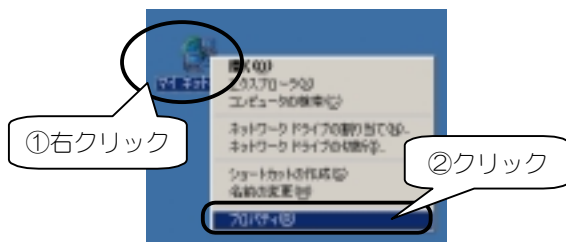
14 新しく作成された接続アイコンを確認します。



以上で、[ダイヤルアップ接続]の設定は終了です。
次に通信方式の設定を行います。
44 ページ【通信方式を設定する】にお進みください。

設定を変更するとき

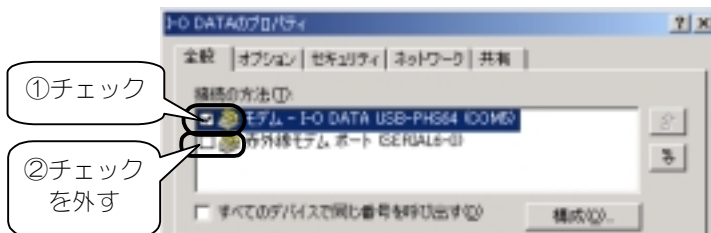
- 1 [マイネットワーク]アイコンを右クリックして、表示された[プロパティ]をクリックします。



- 2 変更したい接続のアイコンを右クリックして、表示された[プロパティ]をクリックします。

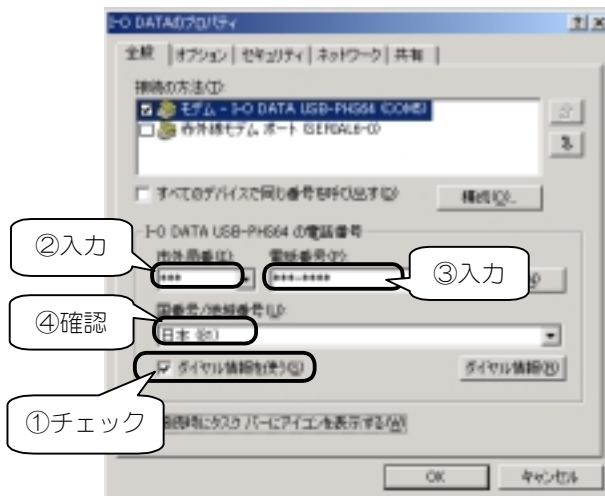


- 3 [接続の方法]欄に複数のモデムが表示された場合、[I-O DATA USB-PHS64]のみをチェックします。(他のモデムのチェックは外します。)



4 以下のようにプロバイダの電話番号などを入力します。

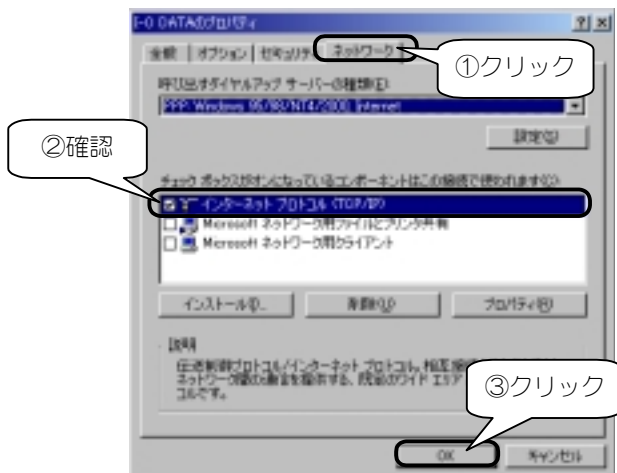
- ①[ダイヤル情報を使う]をチェックします。
- ②[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
※接続先が市内でも、必ず市外局番を入力してください。
- ③[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
- ④[国番号/地域番号]欄は、「日本」であることを確認します。



[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

5 [ネットワーク]タブをクリックして、
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみにチェックが付いている
ことを確認します。

プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリ
DNS)を案内されている場合は次ページを参照してください。
[OK]ボタンをクリックします。

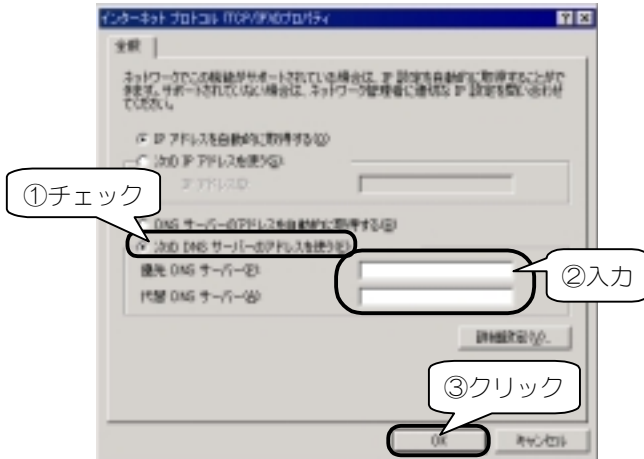


以上で、[ダイヤルアップ接続]の設定は終了です。
次に通信方式の設定を行います。

44 ページ【通信方式を設定する】にお進みください。

●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

- 1 前ページ5の手順の画面で、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックした後、[プロパティ]ボタンをクリックします。
- 2 [インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]画面が表示されますので、以下を設定します。
 - ①[次のDNSサーバーのアドレスを使う]をチェックする
 - ②[優先DNSサーバー]欄にプライマリDNSを、[代替DNSサーバー]欄にセカンダリDNSの値を入力する
 設定後、[OK]ボタンをクリックします。



- 3 前ページ5の手順の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。



- ・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- ・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。

ステップ 3

インターネット接続編

通信方式を設定する

本製品は、以下の2つの通信方式に対応しています。

通信方式	説明
PIAFS 2.0	64Kbps で通信する方式
PIAFS 1.0	32Kbps で通信する方式

【ステップ2】までの手順では、本製品は、上記の PIAFS 2.0 (64Kbps) で使用する設定になっています。

ただし、以下のすべての条件を満たしていないと 64Kbps での通信ができません。

- ・契約しているプロバイダが PIAFS 2.0 に対応している
- ・携帯電話が PIAFS 2.0 に対応している
- ・ご利用の場所が 64K サービスエリアである

上記を満たしていない場合は、次ページを参照して、設定し直してください。

注意

- ・プロバイダが PIAFS 2.0 に対応しているかは、プロバイダにご確認ください。
- ・携帯電話が PIAFS 2.0 (64K データ通信) に対応しているか、また、ご利用場所が 64K サービスエリアかは、携帯電話の取扱説明書、あるいは、携帯電話機メーカーにご確認ください。



参考 1

「PIAFS」とは

→「ピアフ」と読みます。PHS の端末を使ったデジタルデータ通信規格のことです。



参考 2

ここでの設定は、1つのプロバイダのみに接続する場合(1つの通信方式しか使用しない場合)の設定です。

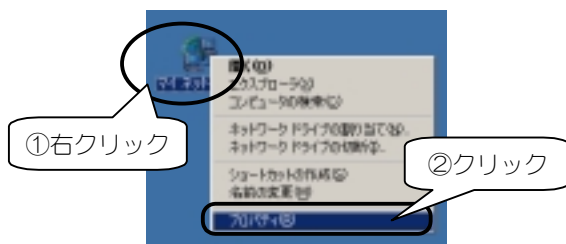
複数のプロバイダに接続する場合など、プロバイダ毎に通信方式を変更したい場合は、接続する際に設定し直すこともできます。手順については、【ステップ5 通信方式を変更する場合】(55 ページ)を参照してください。

通信方式に応じて設定する

通信方式に応じた設定をします。

設定は、【ステップ2】で作成した「ダイヤルアップ接続」アイコンで行います。本製品をUSBポートに接続したままで設定してください。

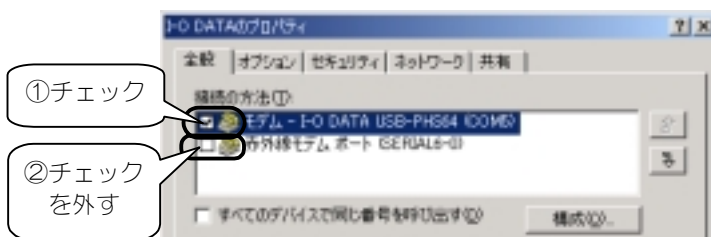
- 1 「マイネットワーク」アイコンを右クリックして、表示された「プロパティ」をクリックします。



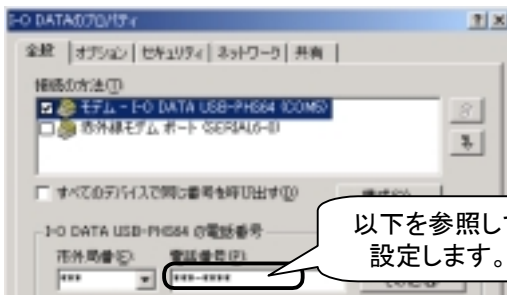
- 2 作成した接続のアイコンを右クリックして、表示された「プロパティ」をクリックします。



- 3 「接続の方法」欄に複数のモデムが表示された場合、[I-O DATA USB-PHS64]のみをチェックします。他のモデムのチェックを外します。



- 4 [電話番号]欄に以下の【通信方式に応じた設定】を行います。
設定後、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じてください。



●通信方式に応じた設定

- ・「プロバイダ」および「携帯電話」の両方が PIAFS 2.0 に対応し、かつ、ご利用の場所が 64K サービスエリアの場合

画面の「電話番号」欄に電話番号が表示されていれば、設定を変更する必要はありません。



- ・プロバイダが PIAFS 2.0 に対応していない場合、あるいは、ご使用の場所が 64K サービスエリアでない場合

画面の「電話番号」欄にプロバイダの電話番号の末尾に半角で「#32」を入力します。



- ・「携帯電話」が PIAFS 2.0 に対応していない場合

画面の「電話番号」欄に電話番号が表示されていれば、設定を変更する必要はありません。何も追加しないでください。



【市外局番】【電話番号】欄の「***」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が表示されていることを確認してください。

これで通信方式に応じた設定は終了です。

次ページ【インターネットを楽しもう】を参照して、さっそくインターネットに接続してみましょう。

ステップ 4

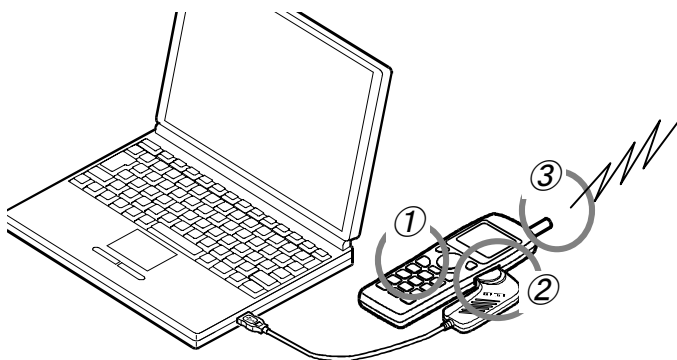
インターネット接続編

インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、携帯電話を操作する必要は特にありませんが、毎回以下を確認してから、本製品をパソコンに取り付け、インターネットに接続してください。



チェック①: 携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②: 携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③: 携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

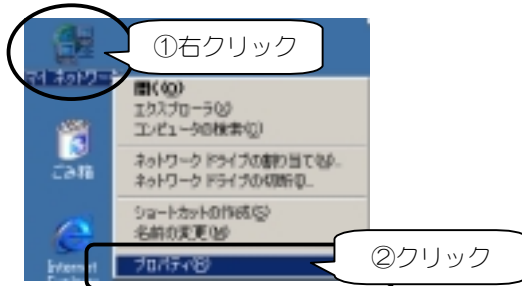


携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

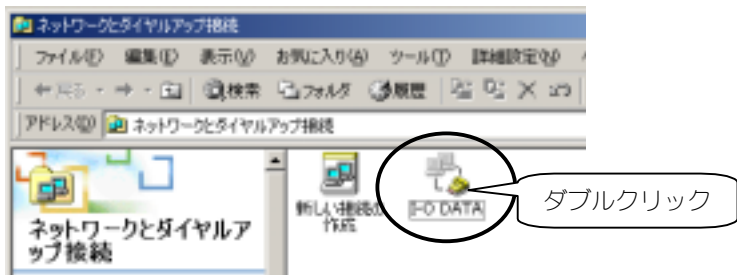
インターネットに接続する

インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップ接続] を設定する】(32 ページ)で作成した[ダイヤルアップ接続]で行います。

- 1 [マイネットワーク]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



- 2 新しく作成した接続のアイコンをダブルクリックします。



3 プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[ダイヤル]ボタンをクリックします。

[ダイヤル]ボタンをクリックすると、指定した電話番号（次ページの手順で確認できます）にかかりプロバイダと通信を開始します。



注意

- ・パスワードは[*****]と表示されます。
 - ・[パスワードを保存する]をチェックすると、次回からパスワードが[*]印で表示されますので、パスワードを入力する必要がありません。
- セキュリティの必要に応じてお使いください。

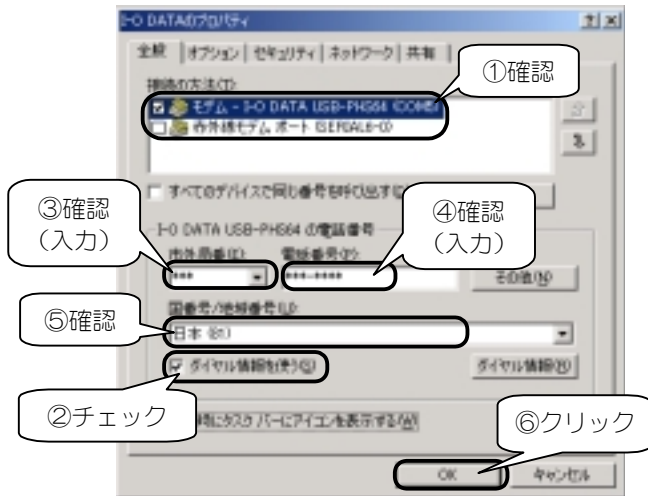


参考

接続先の電話番号を確認したい、または電話番号を変更したい場合は
→次ページを参照してください。

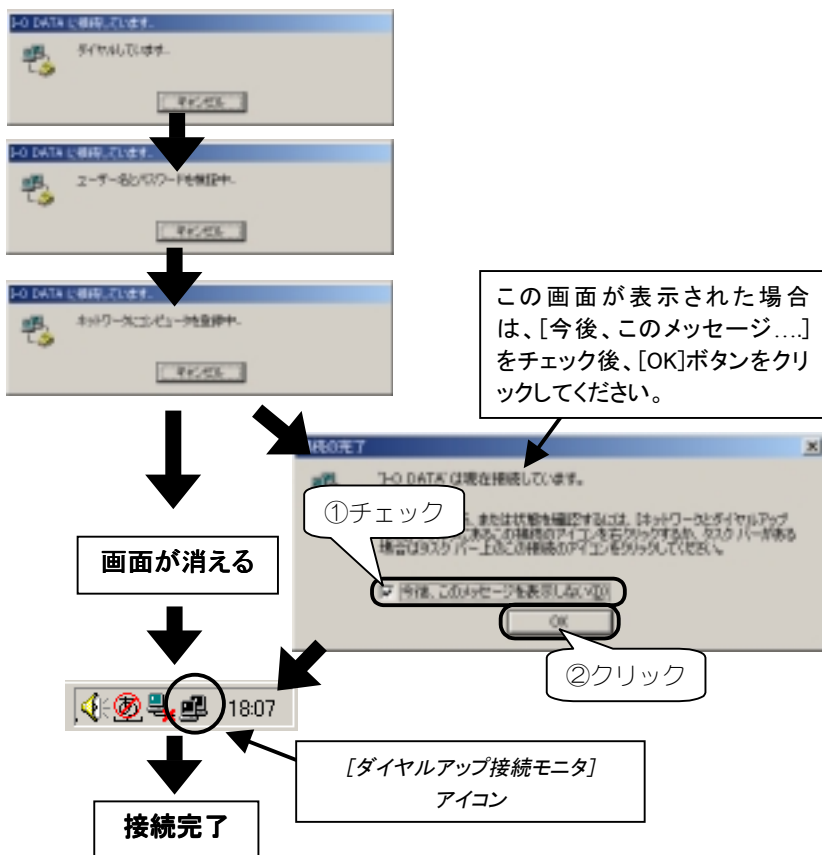
●接続先の電話番号を確認したい、または変更したい場合

- 1 前ページ3の手順の画面で、[プロパティ]ボタンをクリックします。
- 2 以下の各設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。
 - ①[接続の方法]欄は、[I-O DATA USB-PHS64]が表示されていること(複数のモデムがある場合は[I-O DATA USB-PHS64]のみがチェックされていること)を確認します。
 - ②[ダイヤル情報を使う]をチェックします。
 - ③[市外局番]欄には、接続先の市外局番を確認または入力します。
 - ④[電話番号]欄には、接続先の電話番号を確認または入力します。
 - ⑤[国番号/地域番号]欄は、「日本」であることを確認します。



- 3 前ページ3の手順の画面に戻りますので、[ダイヤル]ボタンをクリックして、インターネットに接続しましょう。

- 4 しばらくしてパソコンの画面右下のタスクトレイに
[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンが表示されたら、接続完了
です。



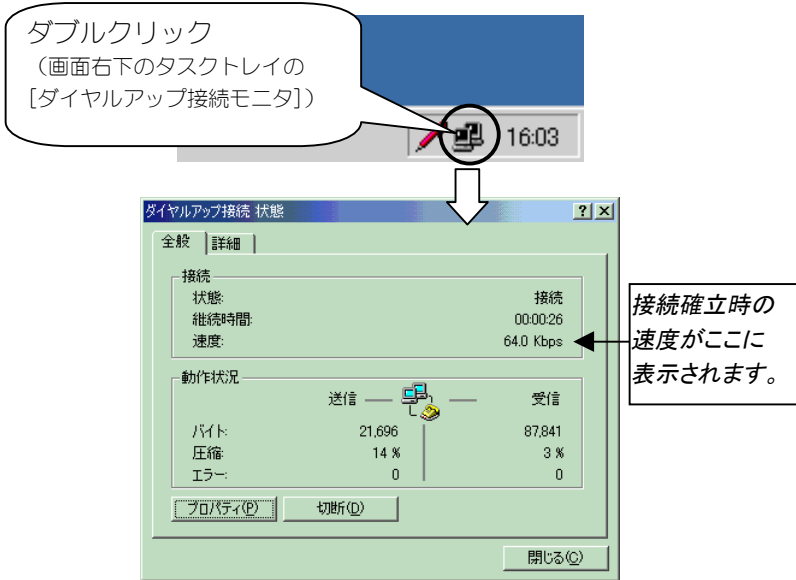
「回線が使用中です」などと
表示された場合は…

【困ったときには】の
194 ページ
をご参照ください。

[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンが
表示されない場合は…

【困ったときには】の
197 ページ
をご参照ください。

5 接続状況は、[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンをダブルクリックすれば確認できます。



6 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。 接続中は、ずっと[ダイヤルアップ接続モニタ]が表示されています。

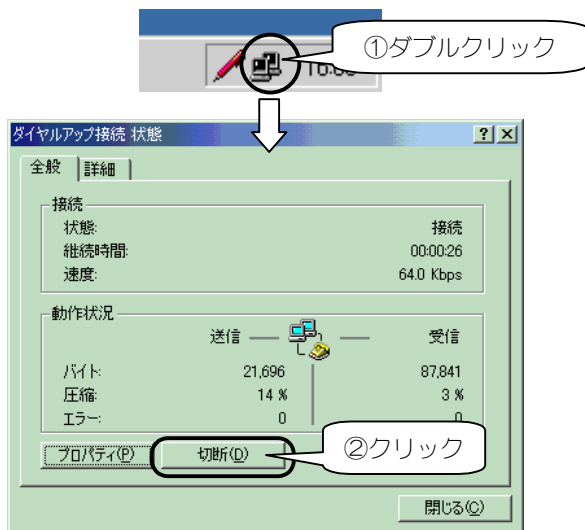
インターネットを終了する

インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。



- ・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。クリック後、携帯電話の通話が終わっていること、また、[ダイヤルアップ接続モニタ]が消えることを必ず確認してください。
- ・携帯電話の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

- 1** インターネット利用が終わったら、画面右下の[ダイヤルアップ接続モニタ]をダブルクリックし、[切断]をクリックします。これで電話回線が切断され、[ダイヤルアップ接続モニタ]が消えます。携帯電話の通話も自動的に切断されますので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



以上で、インターネットは終了できました。

ステップ 5

インターネット接続編

通信方式を変更する場合

通信方式（PIAFS 2.0、PIAFS 1.0）は、【ステップ3】（44 ページ）で設定することができますが、複数の通信方式でご利用になる場合などに、接続する際に通信方式を設定することもできます。



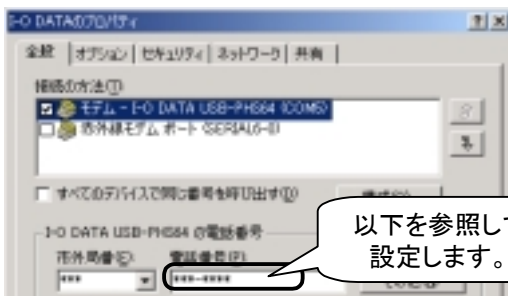
この設定は、1 回限りなので、インターネットへの接続が終了すると元の設定に戻ります。

- 1 以下の接続画面（50ページの3 の手順の画面）で [プロパティ] ボタンをクリックします。



クリック

2 [電話番号]欄に以下の【通信方式に応じた設定】を行います。 設定後、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じてください。



●通信方式に応じた設定

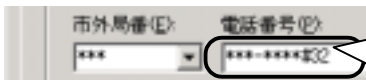
- ・「プロバイダ」および「携帯電話」の両方が PIAFS 2.0 に対応し、かつ、ご利用の場所が 64K サービスエリアの場合

画面の「電話番号」欄に電話番号が表示されていれば、設定を変更する必要はありません。



- ・プロバイダが PIAFS 2.0 に対応していない場合、あるいは、ご使用の場所が 64K サービスエリアでない場合

画面の「電話番号」欄にプロバイダの電話番号の末尾に半角で「#32」を入力します。



- ・「携帯電話」が PIAFS 2.0 に対応していない場合

画面の「電話番号」欄に電話番号が表示されていれば、設定を変更する必要はありません。何も追加しないでください。



[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が表示されていることを確認してください。**

- 3 [ダイヤル]ボタンをクリックすれば、設定した通信方式でインターネットに接続します。

MEMO

3

Windows Me で使うには

～ 準備編 ～

本製品で通信できるまでの流れ……………	60ページ
ステップ1 インストールする……………	61ページ
ステップ2 インストールは正常ですか？	68ページ
ステップ3 端末速度を設定する……………	70ページ
ステップ4 発信情報を設定する……………	74ページ
ステップ5 接続/取り外しについて……………	77ページ

～ インターネット接続編 ～

Windows Me でインターネットに

接続するには……………	78ページ
ステップ1 接続前の準備……………	79ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア……………	81ページ
ステップ3 通信方式を設定する……………	91ページ
ステップ4 インターネットを楽しもう……………	95ページ
ステップ5 通信方式を変更する場合……………	100ページ

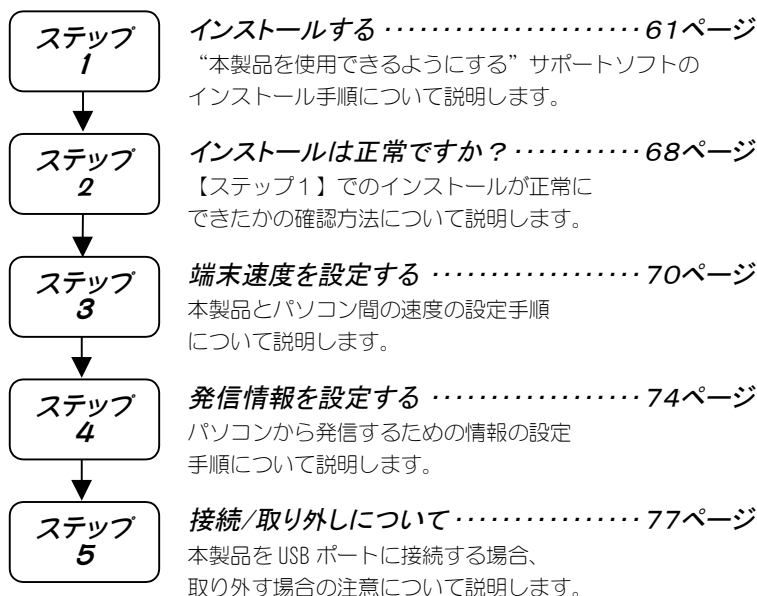
準備編

本製品で通信できるまでの流れ

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、最初に本製品を使用できるようにする設定、またパソコン側での設定が必要です。

ここでは、本製品を使用して、パソコンから通信できるようにするまでの手順について説明します。

以下の流れに沿ってお進みください。



ステップ 1

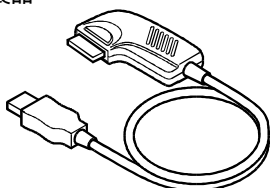
準備編 インストールする

本製品を使用するには、まず、「サポートソフト」ディスクのインストールが必要です。

次ページの手順でインストールしてください。

用意するもの

・本製品



・添付の「サポートソフト」CD-ROM



・携帯電話



※ 本書で説明している携帯電話のイラストは一例です。
お使いの機種により、異なります。
また、本製品との接続用コネクタの場所も機種により異なります。



USB ポートが1つのみのパソコンで、CD-ROM ドライブを USB ポートでお使いの方は、インストール時に CD-ROM ドライブが使えません。

本製品を接続する前に、4 ページの手順で「サポートソフト」CD-ROM の内容をハードディスクにコピーしてください。

次ページ以降では、「サポートソフト」CD-ROM の挿入は不要となります。また、65 ページの手順 8 で指定するフォルダは、コピーしたフォルダの [WINME] フォルダを指定してください。

「サポートソフト」をインストールする

本製品を使用するには、「サポートソフト」CD-ROM 内のドライバソフトをパソコンにインストールする必要があります。

ここでは、そのインストール手順について説明します。

インストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。

次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。



インストールする際は、パソコンの電源を入れ、Windows が起動してから本製品を接続します。

- 1** 本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れ Windows Meを起動します。



- 2** 携帯電話の電源を入れます。



参考

次ページ3 の手順で携帯電話と本製品を接続しますが、携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。(接続後に携帯電話の電源を入れることもできます。)

3 携帯電話の接続コネクタに付いているカバーを取り外し、本製品を接続します。

携帯電話の機種により、接続コネクタの場所が異なります。携帯電話の取扱説明書でご確認ください。

①携帯電話のコネクタの向きに合わせる

②カチッと音がするまで差し込む



- ・本製品と携帯電話を接続する場合は、コネクタの向きに注意してください。向きが違ったまま無理に差し込むと故障の原因になります。携帯電話によってコネクタの場所や向きが異なりますので、携帯電話の取扱説明書で必ず確認してください。
- ・本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで(押しながら)まっすぐ引き抜いてください。(以下の図参照)
PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。

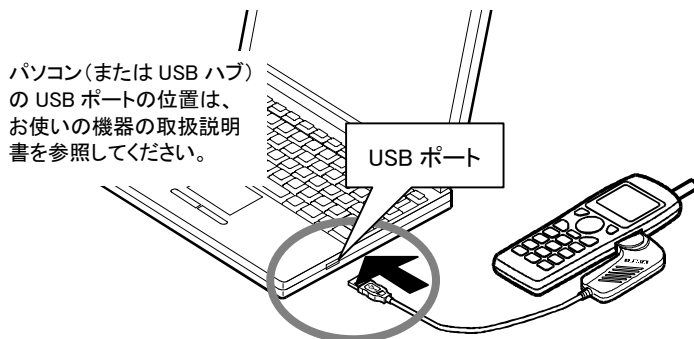
携帯電話から取り外す場合

PUSH ボタンを押しながら
まっすぐに引き抜く

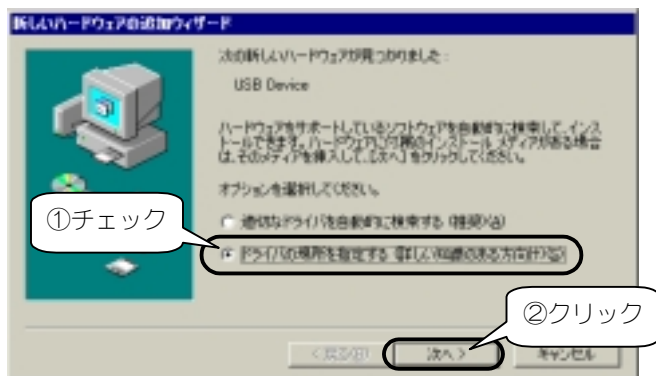
PUSH ボタン

4 Windows Me のデスクトップ画面が表示されていることを確認後、パソコン(または USB ハブ)の USB ポートに、本製品の USB コネクタを差し込みます。

USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



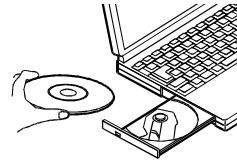
5 しばらくすると以下の画面が表示されますので、[ドライバの場所を指定する]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



このインストール画面が表示されない場合は…

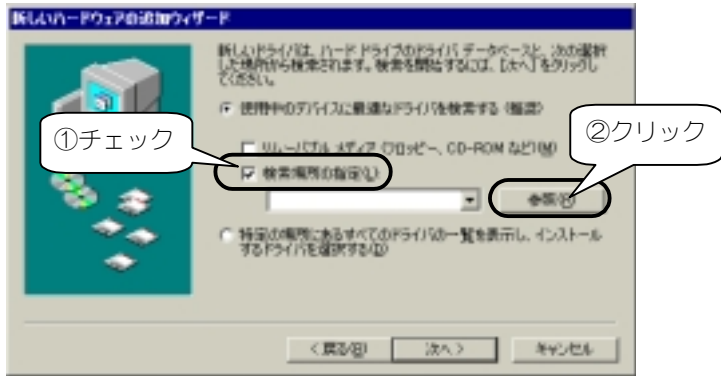
【困ったときには】の
185 ページ
をご参照ください。

- 6 「サポートソフト」CD-ROM を
CD-ROMドライブにセットします。



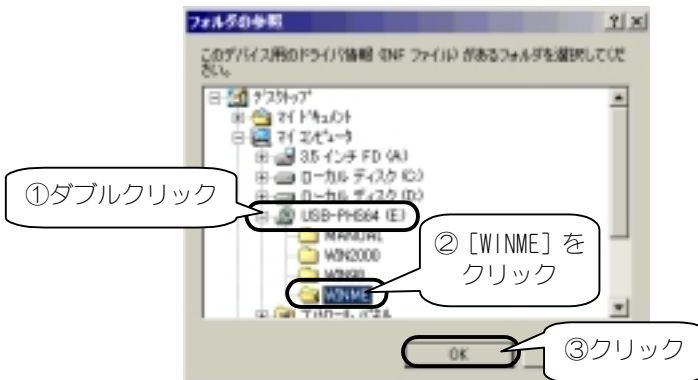
「サポートソフト」CD-ROM

- 7 [検索場所の指定]のみをチェックして、
[参照]ボタンをクリックします。

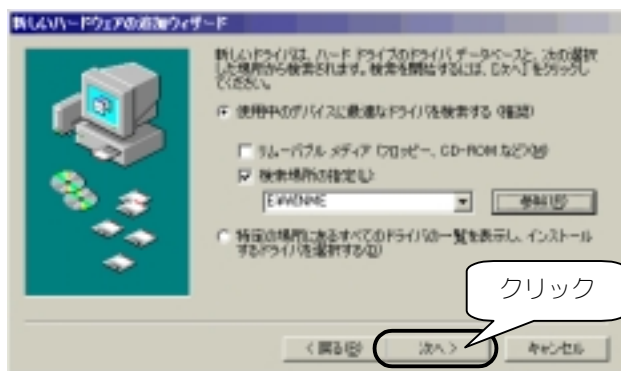


- 8 CD-ROMドライブ (USB-PHS64) の[WINME]フォルダを指定して、
[OK]ボタンをクリックします。

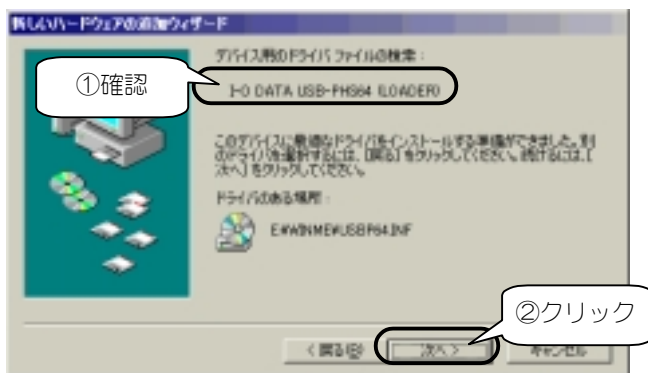
「サポートソフト」を、お使いのパソコンのハードディスクにコピーした場合は
→[参照]ボタンをクリック後、以下の手順①でコピー先のハードディスクを選択し、
[WINME]フォルダを指定します。



9 [次へ]ボタンをクリックします。



10 [I-O DATA USB-PHS64]と表示されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



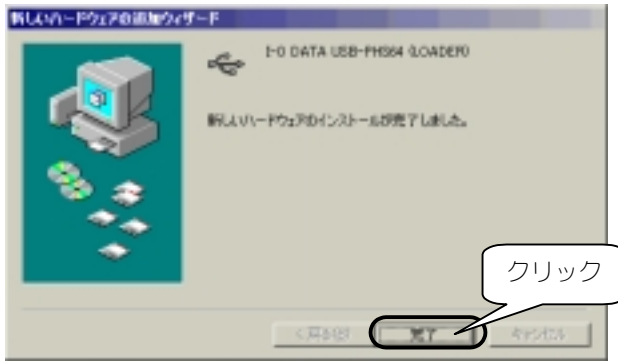
「お使いのデバイスに関する情報が見つかりません」と表示された場合は…

【困ったときには】の
187 ページ
をご参照ください。

「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」と表示された場合は…

【困ったときには】の
188 ページ
をご参照ください。

11 [完了]ボタンをクリックします。



12 この後、[I-O DATA USB-PHS64 Modem]の組み込み画面が表示され、自動的に組み込みを行います。

13 しばらくして表示画面が消えたら、インストールは終了です。
「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

以上でインストールは終了です。

次は正しくインストールできたかを確認します。

次ページ【インストールは正常ですか?】へお進みください。

ステップ 2

準備編

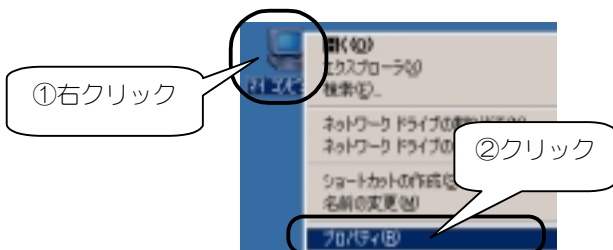
インストールは正常ですか？

【ステップ1】でのインストールが正常に終了すると、パソコンが本製品を正しく認識します。

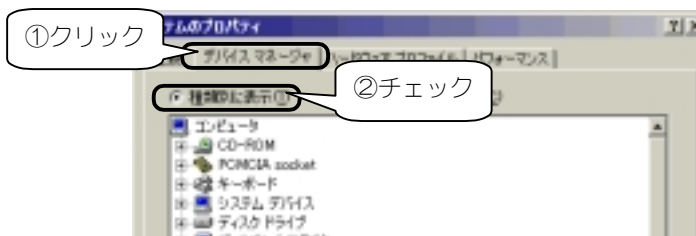
ここでは、「**パソコンが本製品を正しく認識しているか**」を Windows 上で確認します。

本製品を USB ポートに差し込んだままで確認してください。

- 1 [マイコンピュータ]を右クリックして、
[プロパティ]をクリックします。

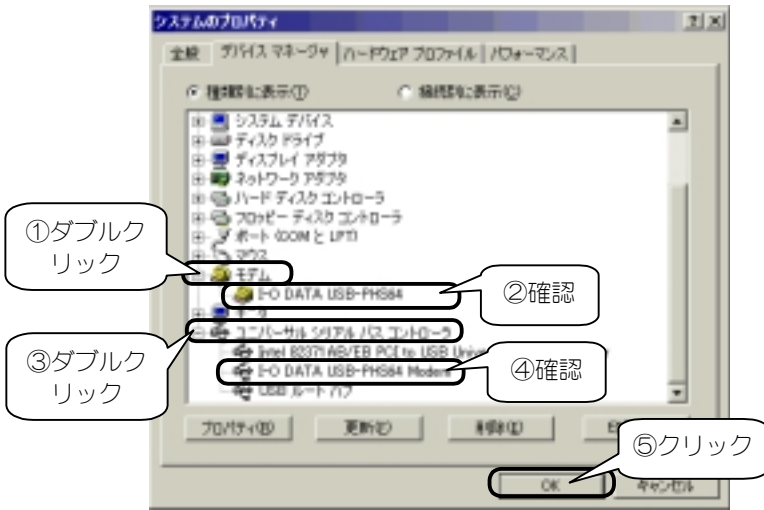


- 2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、
[種類別に表示]をチェックします。



3 以下を確認して[OK]ボタンをクリックします。

- ・[モデム]をダブルクリックして、
[I-O DATA USB-PHS64]が表示されていることを確認します。
- ・[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックして、
[I-O DATA USB-PHS64 Modem]が表示されていることを確認します。



「I-O DATA USB-PHS64」が表示されない、
あるいは、[!]マークがある場合は…

【困ったときには】の
188 ページ
をご参照ください。

「I-O DATA USB-PHS64 Modem」が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
188 ページ
をご参照ください。

4 [OK]ボタンをクリックして、 「システムのプロパティ」画面を閉じます。

これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。

次に端末速度の設定を行います。次ページへお進みください。

ステップ 3

準備編

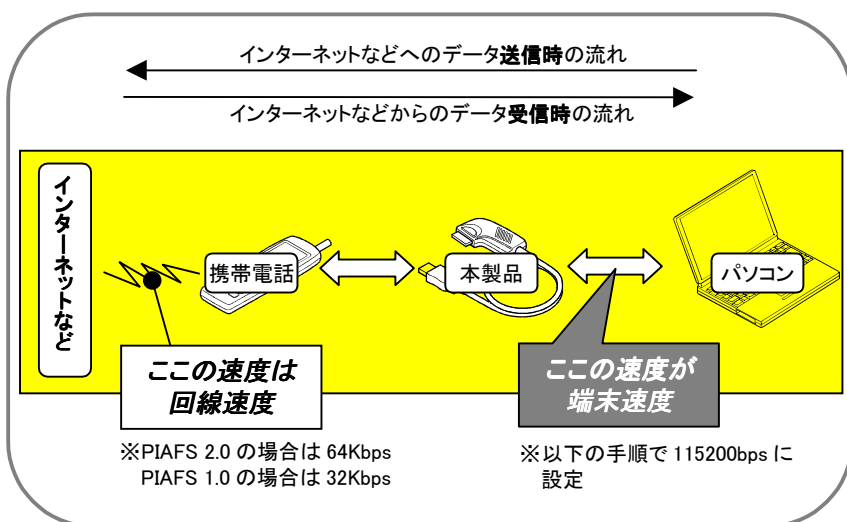
端末速度を設定する

インストールが正常なことを確認したら、次に本製品とパソコン間の速度(端末速度)を設定します。

設定後、正常に本製品とパソコンが通信できるかを確認します。

設定と確認は、Windows の [モデム] アイコンで行います。

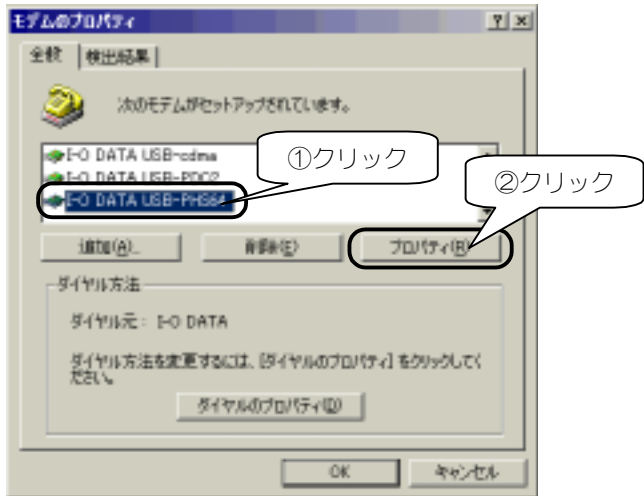
本製品を USB ポートに差し込んだままで設定および確認してください。



- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[モデム]アイコンをダブルクリックします。

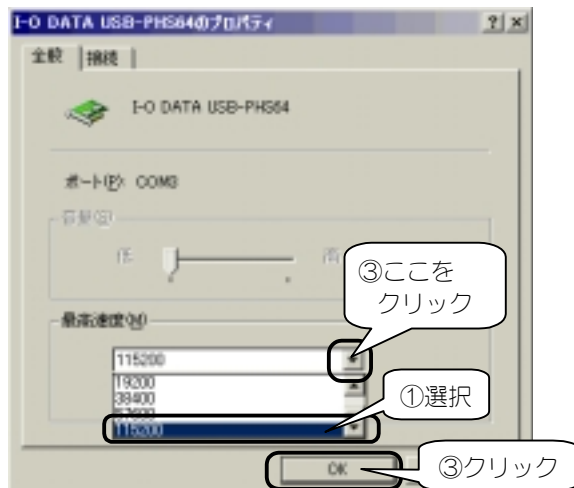


- 2 [I-O DATA USB-PHS64]をクリック後、
[プロパティ]ボタンをクリックします。



- 3 端末速度を設定します。
[最高速度]を選択肢中で一番速い速度に設定し、
[OK]ボタンをクリックします。

最高速度には選択できる速度のうち、最高の速度(115200bpsが望ましい)を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。

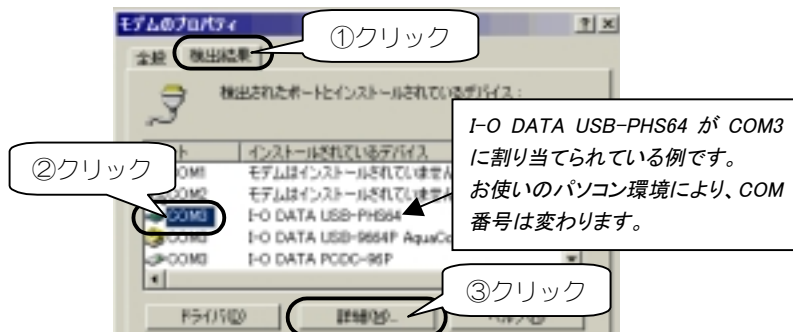


4 端末速度を設定したら、次に本製品とパソコンが正常に通信できるかを確認します。

[検出結果]タブをクリックし、

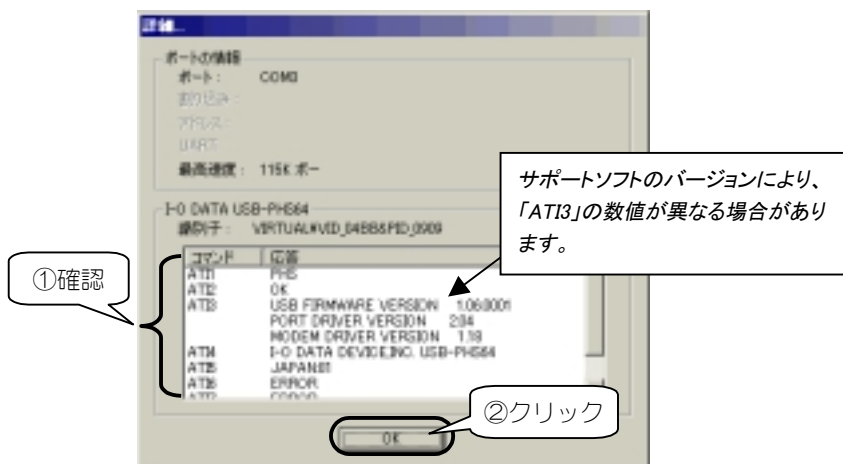
[I-O DATA USB-PHS64]が表示されているポート(画面例ではCOM3の部分)をクリック後、[詳細]ボタンをクリックします。

※COMの後の数字はお使いの環境によって異なります。



5 [モデムと通信しています]と表示され、しばらくして以下のように表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

※[コマンド][応答]の部分が真っ白でなく、[AT……]と英数字が表示されたら、本製品は正常に認識されています。



「ポートが開けません」などと
表示された場合は…

【困ったときには】の
189 ページ
をご参照ください。



- ・この通信テストはパソコンと本製品間のテストであり、携帯電話を介して通信するテストではありません。
- ・ポートの情報には最高速度として「115K ボー」と表示されますが、実際の端末速度（パソコンと本製品間の速度）は、71 ページ3の手順で指定した速度です。
- ・[応答]に[ERROR]と表示されていますが、動作上問題ありません。

6 [OK]ボタンをクリックし、 [モデムのプロパティ]画面を閉じます。

ここまでで、本製品とパソコンが正しく通信できることが確認できました。
次に次ページで発信情報を設定してください。

ステップ 4

準備編

発信情報を設定する

インターネットをはじめ通信ソフトなどを利用するには、パソコンから発信するための情報（発信情報）を設定しておく必要があります。

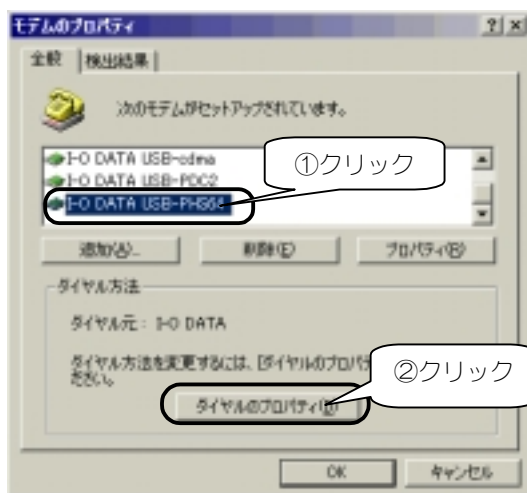
設定は、Windows の [モデム] アイコンで行います。

本製品を USB ポートに差し込んだままで設定してください。

- 1** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[モデム]アイコンをダブルクリックします。

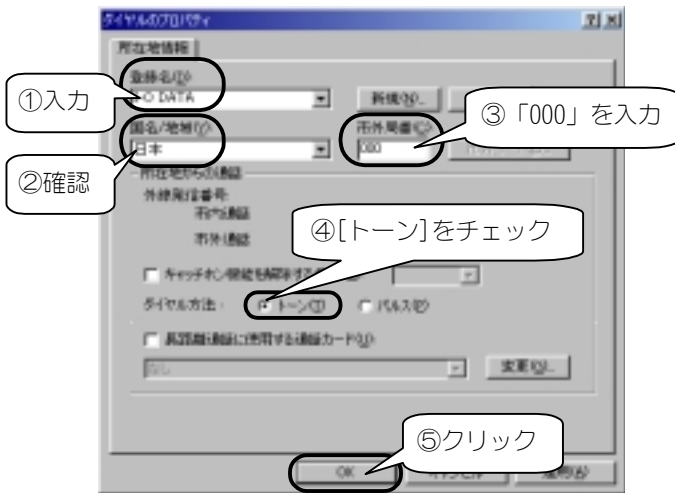


- 2** [I-O DATA USB-PHS64]をクリック後、
[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックします。



3 必要な情報を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	登録名	任意の登録名（お好きな名前）を入力
②	国名／地域	[日本]であることを確認
③	市外局番	[000]などの存在しない数値を入力 ※携帯電話は市外局番から入力するので、このような仮の値を設定しておきます。 （設定しないと市外局番から発信できません。）
④	ダイヤル方法	[トーン]を選択



4 [OK]ボタンをクリックし、 [モデムのプロパティ]画面を閉じます。

ここまでで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。

1度これらのインストールや設定を行えば、今後はパソコンを起動するだけで使えるようになります。

実際に本製品を使う前に、【ステップ5】(次ページ)を参照して、本製品の接続や取り外し方を確認しておいてください。

本製品を使って…

インターネットを
楽しみたい

→【Windows Me でインターネットに接続するには】

(78 ページ)へ

ステップ 5

準備編

接続/取り外しについて

本製品のパソコンへの接続および取り外しは、以下のいずれでも構いません。

- ・パソコンの電源を切っている状態で接続する、取り外す
- ・パソコンの電源が入っている状態で接続する、取り外す

パソコンの電源が入っている時に取り外す場合は、本製品を使用して
いない（回線切断中である）事を確認してから行ってください。

携帯電話から本製品を取り外す場合

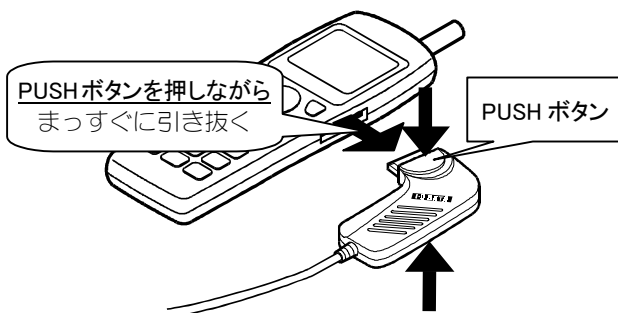
携帯電話から本製品を取り外す際は、以下のように行ってください。



本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで（押しながら）まっすぐ引き抜いてください。（以下の図参照）

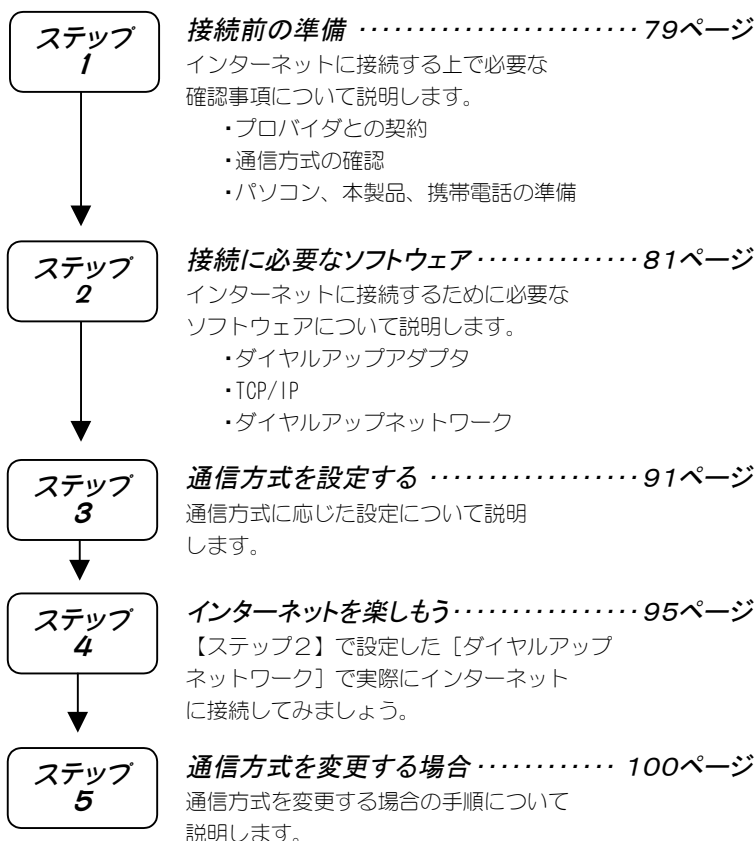
PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。

携帯電話から取り外す場合



Windows Me で インターネットに接続するには

【準備編】(【ステップ1】(61 ページ)～【ステップ5】(77 ページ)) が終了したら、
いよいよインターネットに接続してみましょう。



ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。
順にチェックしておいてください。

準備1: プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために
以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（81 ページ
【ステップ2】）、また、インターネットに接続する際（95 ページ【ス
テップ4】）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ・ユーザー名
- ・パスワード
- ・接続先の電話番号
- ・ネームサーバーアドレス※
プライマリ DNS サーバー
セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス(プライマリ DNS
サーバー、セカンダリ DNS サーバー)
は、プロバイダによっては指定がない
場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要は
ありません。

準備2: 通信方式の確認

本製品は、以下の2つの通信方式に対応しています。

No	通信方式	説明
①	PIAFS 2.0	PIAFS という PHS 専用のプロトコルを使用し、 64Kbps で通信する方式。
②	PIAFS 1.0	PIAFS という PHS 専用のプロトコルを使用し、 32Kbps で通信する方式。



参考

「PIAFS」とは

→「ピアフ」と読みます。PHS の端末を使ったデジタルデータ通信規格のことです。

PIAFS 2.0の方(64Kbps)が、PIAFS 1.0(32Kbps)よりも高速にデータ通信を行うことができますが、以下のすべての条件を満たしていないと64Kbpsでの通信ができません。

- ・契約しているプロバイダがPIAFS 2.0に対応している
- ・携帯電話がPIAFS 2.0に対応している
- ・ご利用の場所が64K サービスエリアである

事前に確認しておいてください。

(通常、PIAFS 2.0に対応している場合は、PIAFS 1.0にも対応しています。)

※1つのプロバイダによっても、携帯電話で接続する場合と、その他の機器(モデムやTAなど)で接続する場合では異なる場合があります。

※複数のプロバイダに接続する場合にもそれぞれすべてのプロバイダの通信方式を確認しておいてください。



- ・プロバイダがPIAFS 2.0に対応しているかは、プロバイダにご確認ください。
- ・携帯電話がPIAFS 2.0に対応しているか、また、ご利用場所が64K サービスエリアかは、携帯電話の取扱説明書、あるいは、携帯電話機メーカーにご確認ください。

準備3: パソコン、本製品、携帯電話の準備

パソコン、本製品、携帯電話があればインターネットに接続できます。ただし、以下の確認を行っておいてください。

チェック1: 携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック2: 携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック3: 携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。



携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

ステップ 2

インターネット接続編

接続に必要なソフトウェア

インターネットに接続するには、以下および次ページのソフトウェアがインストールおよび設定されている必要があります。

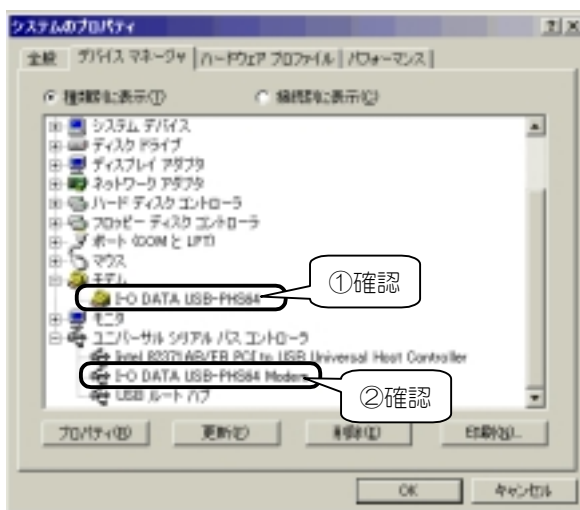
①本製品のドライバソフトウェア

【インストールする】(61 ページ)でインストールした本製品を使用するためのソフトウェアです。

【インストールは正常ですか?】(68 ページ)で正常にインストールされているか確認しておきましょう。

[デバイスマネージャ]画面での以下の表示の確認

- ①[モデム]の下での[I-O DATA USB-PHS64]の表示
- ②[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の下での
[I-O DATA USB-PHS64 Modem]の表示



②ダイヤルアップを行うためのソフトウェア

次ページ以降で
説明します。

ダイヤルアップを行ってプロバイダに接続するためのソフトウェアです。
詳細な設定は、次ページ以降を参照してください。

③Web ブラウザやメールソフトウェア

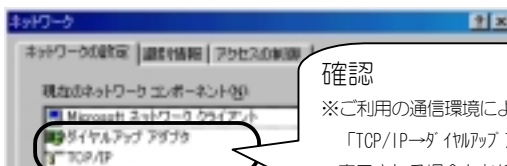
インターネットに接続する際に特に必要ではありませんが、接続後に、
ホームページなどを見るためのソフトウェアです。

Windows Me には、Web ブラウザとして Internet Explorer が標準で
インストールされています。

次ページ以降で[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]の確認、および、
[ダイヤルアップアダプタ]の設定について説明します。
はじめてインターネットに接続する場合、また、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合にも、次ページ以降を参照してください。

【ダイヤルアップアダプタ】と【TCP/IP】を確認する

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
- 2 【ダイヤルアップアダプタ】と【TCP/IP】(または【TCP/IP→ダイヤルアップアダプタ】)があることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



確認

※ご利用の通信環境によっては、【TCP/IP】が
「TCP/IP→ダイヤルアップアダプタ」と
表示される場合もあります。

【ダイヤルアップアダプタ】や
【TCP/IP】が表示されない場合は…

【困ったときには】の
192 ページ
をご参照ください。

【ダイヤルアップネットワーク】を設定する

インターネットに接続するには、パソコンからプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア【ダイヤルアップネットワーク】を設定する必要があります。

本製品を USB ポートに差し込んだままで設定してください。

はじめて【ダイヤルアップネットワーク】の設定を行う場合、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、次ページ【新しい設定を作るとき】を行います。



参考

ダイヤルアップとは

→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者(プロバイダ)に接続すること。

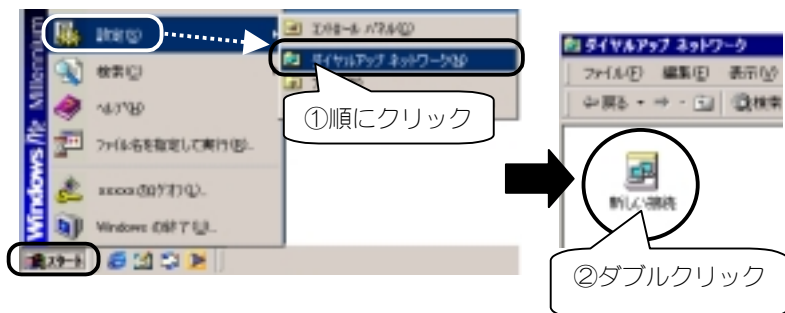


参考

すでにダイヤルアップ接続(インターネット)の設定を行っていて、設定内容を変更する場合は 88 ページ【設定を変更するとき】をご覧ください。

新しい設定を作るとき

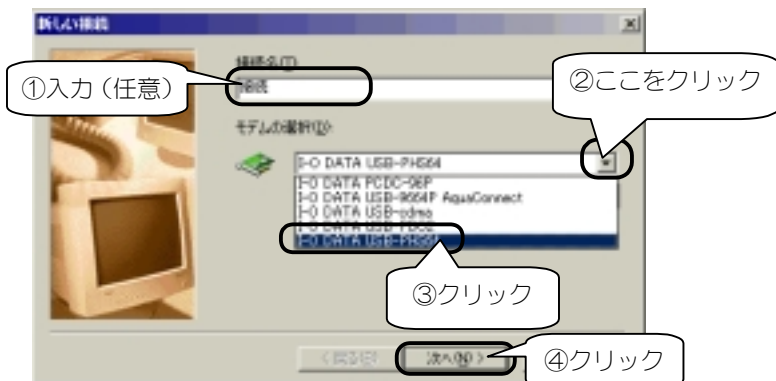
- 1 インターネットプロバイダから入手した[ユーザ名]や[パスワード]などが記載されている資料をご用意ください。
- 2 [スタート]→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にクリックし、[新しい接続]アイコンをダブルクリックします。



[ダイヤルアップネットワーク]が
表示されない場合は…

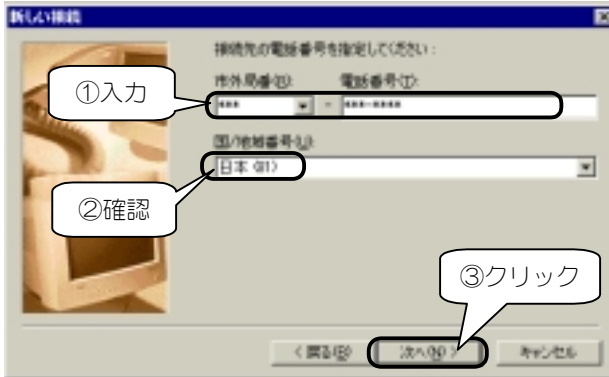
【困ったときには】の
190 ページ
をご参照ください。

- 3 [接続名]欄に任意の接続名(お好きな名前)を入力して、モデムの選択欄から[I-O DATA USB-PHS64]を選び、[次へ]ボタンをクリックします。



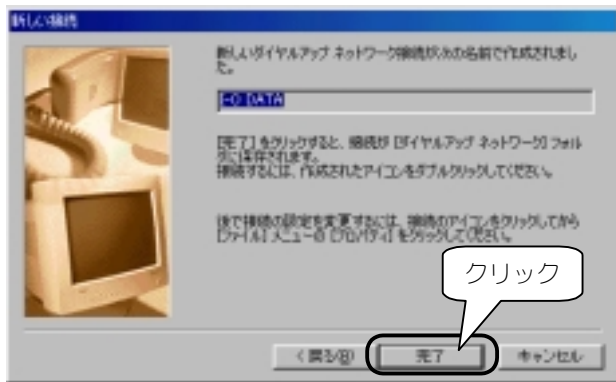
4 以下を設定後、[次へ]ボタンをクリックします。

市外局番	接続先(プロバイダ)の市外局番 ※ダイヤル先が市内であっても、必ず市外局番から入力してください。
電話番号	接続先(プロバイダ)の電話番号
国番号	[日本]

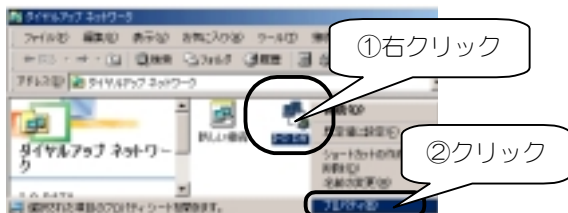


[市外局番][電話番号]欄の「***」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。

5 [完了]ボタンをクリックします。

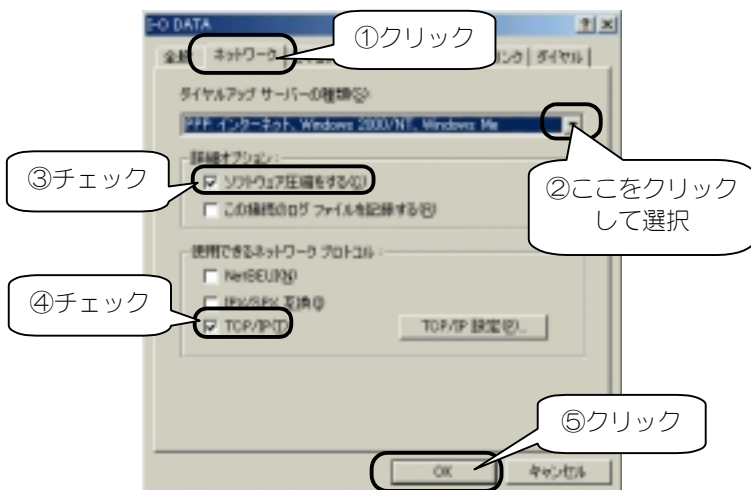


- 6 新しく作成したアイコンが[ダイヤルアップネットワーク]画面に
3 の手順で指定した接続名が表示されます。
新しく作成したアイコンを右クリックし、メニュー内の[プロパティ]
をクリックします。



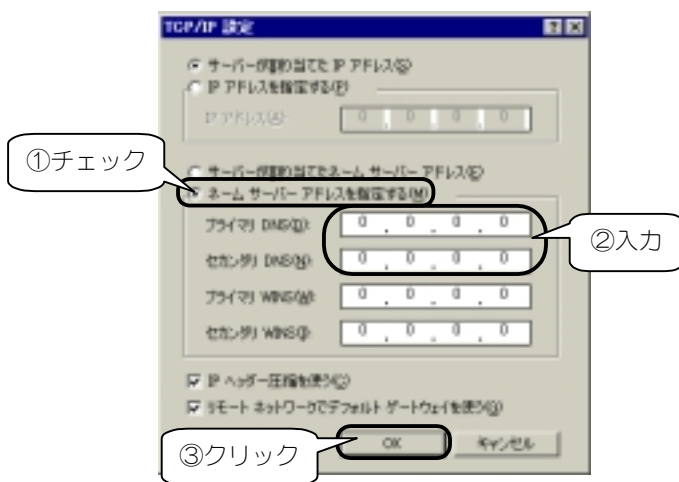
- 7 [ネットワーク]タブをクリックし、
以下のように設定します。

- ・[ダイヤルアップサーバーの種類]では
[PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me]を選択
 - ・[詳細オプション]で[ソフトウェア圧縮をする]にチェック
 - ・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみにチェック
- プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照してください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

- 1 前ページ7 の手順の画面で、[TCP/IP 設定]ボタンをクリックします。
- 2 以下を設定します。
 - ・[ネームサーバーアドレスを指定する]をチェックします。
 - ・[プライマリ DNS]欄にプライマリ DNS を、[セカンダリ DNS]欄にセカンダリ DNS の値を入力します。
 設定後、[OK]ボタンをクリックします。



- ・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- ・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。

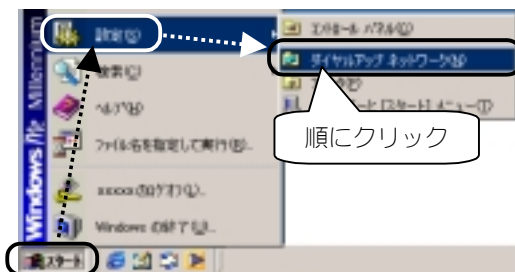
以上で、[ダイヤルアップネットワーク]の設定は終了です。
次に通信方式の設定を行います。

91 ページ【通信方式を設定する】にお進みください。

設定を変更するとき

本製品を使用する前に、すでに他のモデムなどを使用していて、[ダイヤルアップネットワーク] の設定を終了して場合には、以下の手順のように、[接続方法] を本製品に切り替えるだけでも設定できます。

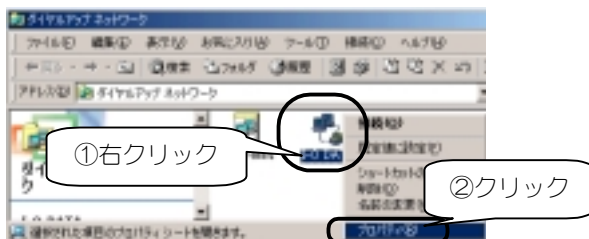
- 1 [スタート]→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にクリックします。



[ダイヤルアップネットワーク]が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
190 ページ
をご参照ください。

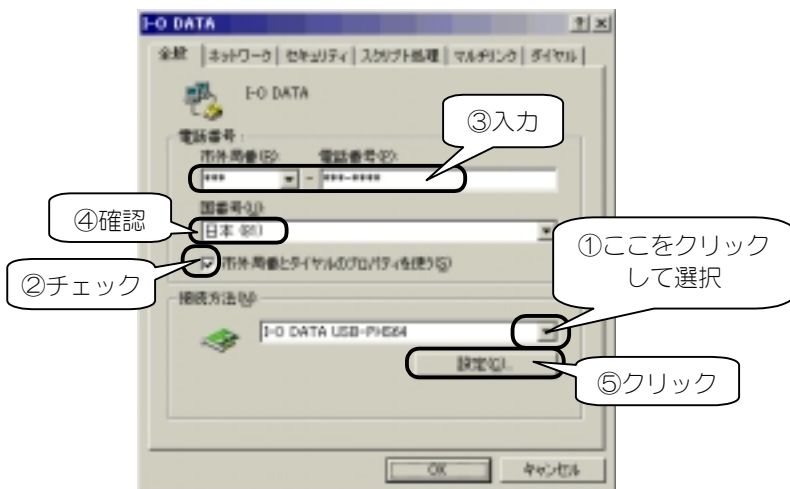
- 2 変更したい接続のアイコンを右クリックして [プロパティ] をクリックします。



3 以下のようにプロバイダの電話番号や通信方式設定を入力します。

- ①[接続方法]は、[I-O DATA USB-PHS64]を選択します。
- ②[市外局番とダイヤルのプロパティを使う]をチェックします。
- ③[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
※接続先が市内でも、必ず市外局番を入力してください。
- ④[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
- ⑤[国番号]欄は、「日本」であることを確認します。

設定後、[設定]ボタンをクリックします。



注意 [市外局番][電話番号]欄の「***」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。

4 [ネットワーク]タブをクリックし、 以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では

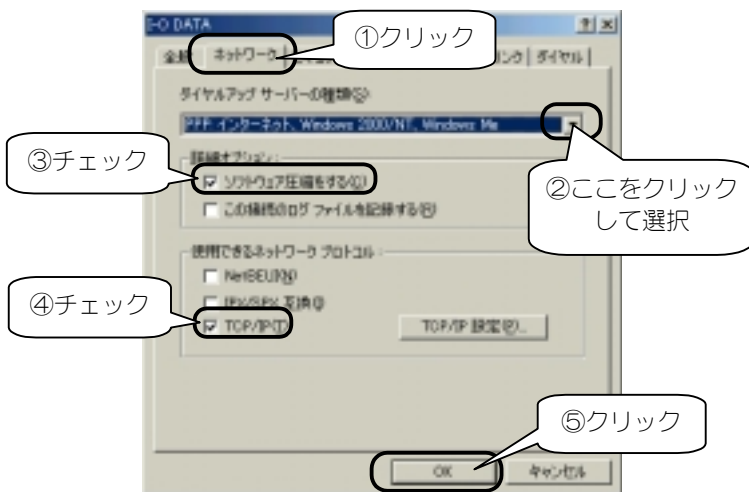
[PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me]を選択

・[詳細オプション]で[ソフトウェア圧縮をする]にチェック

・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみにチェック

プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は、87ページを参照して設定してください。

設定後、[OK]ボタンをクリックします。



5 [OK]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

以上で、[ダイヤルアップネットワーク]の設定は終了です。

次に通信方式の設定を行います。

次ページ【通信方式を設定する】にお進みください。

ステップ 3

インターネット接続編

通信方式を設定する

本製品は、以下の2つの通信方式に対応しています。

通信方式	説明
PIAFS 2.0	64Kbps で通信する方式
PIAFS 1.0	32Kbps で通信する方式

【ステップ2】までの手順では、本製品は、上記の PIAFS 2.0 (64Kbps) で使用する設定になっています。

ただし、以下のすべての条件を満たしていないと 64Kbps での通信ができません。

- ・契約しているプロバイダが PIAFS 2.0 に対応している
- ・携帯電話が PIAFS 2.0 に対応している
- ・ご利用の場所が 64K サービスエリアである

上記を満たしていない場合は、次ページを参照して、設定し直してください。



- ・プロバイダが PIAFS 2.0 に対応しているかは、プロバイダにご確認ください。
- ・携帯電話が PIAFS 2.0 (64K データ通信) に対応しているか、また、ご利用場所が 64K サービスエリアかは、携帯電話の取扱説明書、あるいは、携帯電話機メーカーにご確認ください。



参考 1

「PIAFS」とは

→「ピアフ」と読みます。PHS の端末を使ったデジタルデータ通信規格のことです。



参考 2

ここでの設定は、1つのプロバイダのみに接続する場合(1つの通信方式しか使用しない場合)の設定です。

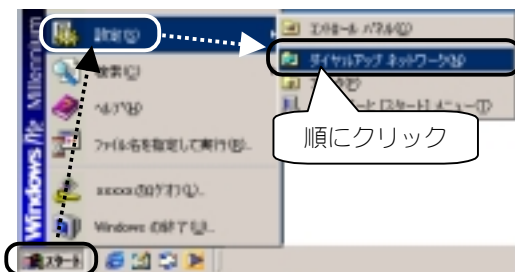
複数のプロバイダに接続する場合など、プロバイダ毎に通信方式を変更したい場合は、接続する際に設定し直すこともできます。手順については、【ステップ5 通信方式を変更する場合】(100 ページ)を参照してください。

通信方式に応じて設定する

通信方式に応じた設定をします。

設定は、【ステップ2】で作成した「ダイヤルアップネットワーク」アイコンで行います。本製品を USB ポートに差し込んだままで設定してください。

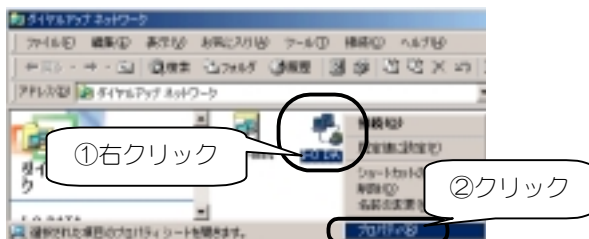
- 1** [スタート]→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にクリックします。



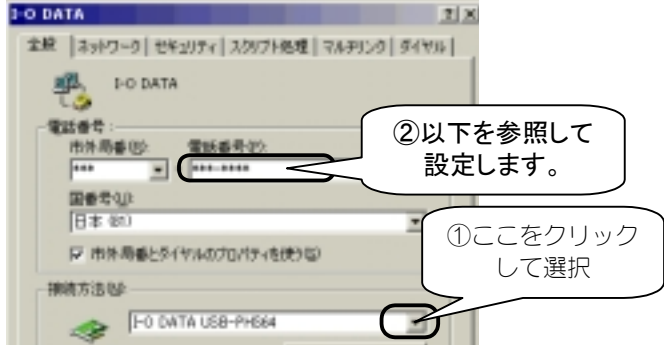
「ダイヤルアップネットワーク」が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
190 ページ
をご参照ください。

- 2** 作成した接続のアイコンを右クリックして
[プロパティ]をクリックします。



- 3 [接続方法]に本製品を選択し、[電話番号]欄に以下の【通信方式に応じた設定】を行います。
設定後、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じてください。



●通信方式に応じた設定

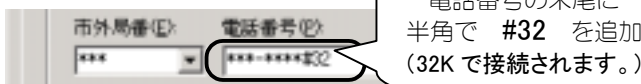
- ・「プロバイダ」および「携帯電話」の両方が PIAFS 2.0 に対応し、かつ、ご利用の場所が 64K サービスエリアの場合

画面の「電話番号」欄に電話番号が表示されていれば、設定を変更する必要はありません。



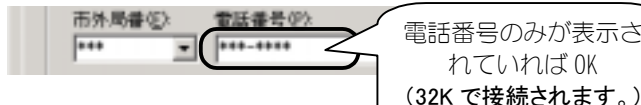
- ・プロバイダが PIAFS 2.0 に対応していない場合、あるいは、ご使用の場所が 64K サービスエリアでない場合

画面の「電話番号」欄にプロバイダの電話番号の末尾に半角で「#32」を入力します。



- ・「携帯電話」が PIAFS 2.0 に対応していない場合

画面の「電話番号」欄に電話番号が表示されていれば、設定を変更する必要はありません。何も追加しないでください。





[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が表示されていることを確認してください。**

これで通信方式に応じた設定は終了です。

次ページ【インターネットを楽しもう】を参照して、さっそくインターネットに接続してみましょう。

ステップ 4

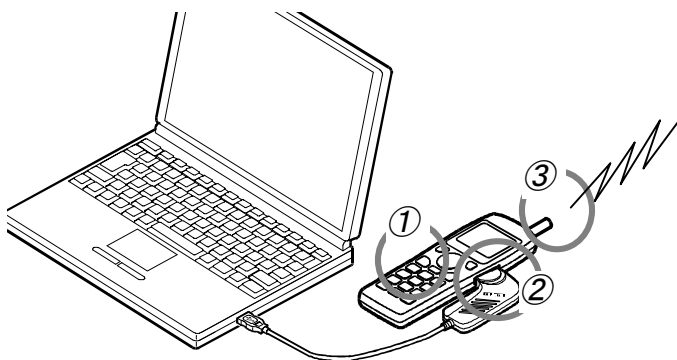
インターネット接続編

インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、携帯電話を操作する必要は特にありませんが、毎回以下を確認してから、本製品をパソコンに取り付け、インターネットに接続してください。



チェック①: 携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②: 携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③: 携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

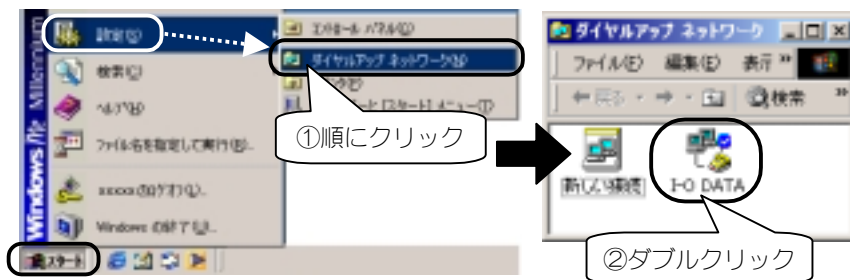


携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

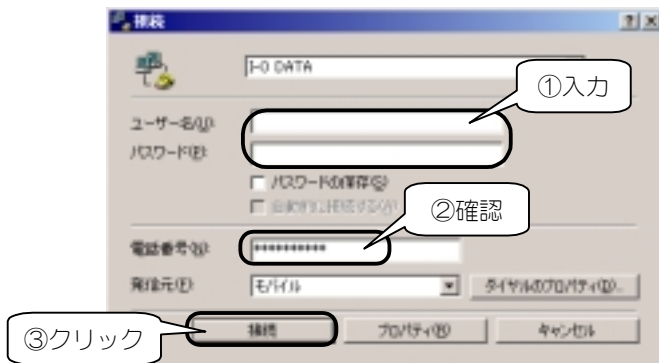
インターネットに接続する

インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップネットワーク]を設定する】(83 ページ)で作成した[ダイヤルアップネットワーク]で行います。

- 1 [スタート]→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にクリックして、作成した接続のアイコンをダブルクリックします。



- 2 プロバイダから案内された[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[電話番号]欄を確認後、[接続]ボタンをクリックします。
[接続]ボタンをクリックすると、プロバイダと通信を開始します。



注意

- ・[電話番号]欄の「*****」は、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が市外局番から表示されていることを確認してください。
- ・パスワードは「*****」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの太文字小文字などを間違えないように注意してください。
- ・[パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワードが「*」印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。



・他のモデムも併用している場合、[発信元]欄に本製品用の接続名(84 ページ3 の手順の①で入力した接続名)を選択してください。

3 しばらくして「... に接続中」という画面が消えたら、完了です。
パソコン画面右下のタスクトレイに[接続インジケータ]アイコンが表示されます。



「回線が使用中です」などと
表示された場合は…

【困ったときには】の
194 ページ
をご参照ください。

「接続インジケータ」アイコンが
表示されない場合は…

【困ったときには】の
197 ページ
をご参照ください。

4 接続状況は、「接続インジケータ」アイコンをダブルクリックすれば確認できます。



5 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。 接続中は、常時「接続インジケータ」が表示されています。

インターネットを終了する

インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。



- ・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。クリック後、携帯電話の通話が終わっていること、また、[接続インジケータ]が消えることを必ず確認してください。
- ・携帯電話の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

1 インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。

これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。携帯電話の通話も自動的に切断されますので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



以上で、インターネットは終了できました。

ステップ 5

インターネット接続編

通信方式を変更する場合

通信方式（PIAFS 2.0、PIAFS 1.0）は、【ステップ3】（91 ページ）で設定することができますが、複数の通信方式でご利用になる場合などに、接続する際に通信方式を設定することもできます。

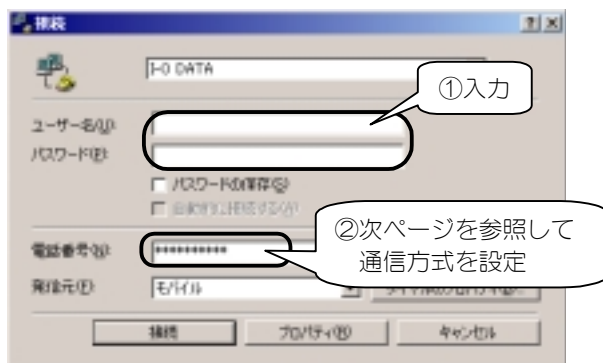


以下の設定は、1 回限りなので、インターネットへの接続が終了すると元の設定に戻ります。

設定を保存しておきたい場合は、【ステップ3】（91 ページ）で設定してください。

今回だけ通信方式を変えて接続する方法

- 1 ダイヤルアップ接続画面（96ページ2 の手順の画面）を表示させます。
- 2 [ユーザー名][パスワード]入力後、
[電話番号]欄に次ページを参照して、通信方式を設定します。



●通信方式に応じた設定

- ・「プロバイダ」および「携帯電話」の両方が PIAFS 2.0 に対応し、かつ、ご利用の場所が 64K サービスエリアの場合

画面の「電話番号」欄に電話番号が表示されていれば、設定を変更する必要はありません。

電話番号のみが表示されていれば OK
(64K で接続されます。)

- ・プロバイダが PIAFS 2.0 に対応していない場合、あるいは、ご使用の場所が 64K サービスエリアでない場合

画面の「電話番号」欄にプロバイダの電話番号の末尾に半角で「#32」を入力します。

電話番号の末尾に半角で #32 を追加
(32K で接続されます。)

- ・「携帯電話」が PIAFS 2.0 に対応していない場合

画面の「電話番号」欄に電話番号が表示されていれば、設定を変更する必要はありません。何も追加しないでください。

電話番号のみが表示されていれば OK
(32K で接続されます。)



【電話番号】欄の「*****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が表示されていることを確認してください。

3 [接続]ボタンをクリックすれば、設定した通信方式でインターネット接続します。

MEMO

4

Windows 98 で使うには

～ 準備編 ～

本製品で通信できるまでの流れ……	104ページ
ステップ1 インストールする……	105ページ
ステップ2 インストールは正常ですか？	113ページ
ステップ3 端末速度を設定する……	115ページ
ステップ4 発信情報を設定する……	119ページ
ステップ5 接続/取り外しについて…	122ページ

～ インターネット接続編 ～

Windows 98 でインターネットに

接続するには・	123ページ
ステップ1 接続前の準備……	124ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア・	126ページ
ステップ3 通信方式を設定する……	136ページ
ステップ4 インターネットを楽しもう…	140ページ
ステップ5 通信方式を変更する場合・	145ページ

～ 添付ソフト編 ～

「回線モニター」を使う……	147ページ
(Windows 98 のみ対応)	

本製品の準備編

本製品で通信できるまでの流れ

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、最初に本製品を使用できるようにする設定、またパソコン側での設定が必要です。

ここでは、本製品を使用して、パソコンから通信できるようにするまでの手順について説明します。

以下の流れに沿ってお進みください。



ステップ 1

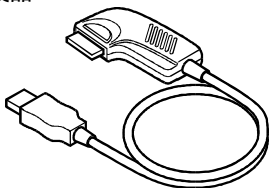
準備編 インストールする

本製品を使用するには、まず、「サポートソフト」ディスクのインストールが必要です。

次ページの手順でインストールしてください。

用意するもの

・本製品



・添付の「サポートソフト」CD-ROM



・携帯電話



※ 本書で説明している携帯電話のイラストは一例です。
お使いの機種により、異なります。
また、本製品との接続用コネクタの場所も機種により異なります。



USB ポートが1つのみのパソコンで、CD-ROMドライブをUSB ポートでお使いの方は、インストール時に CD-ROM ドライブが使えません。

本製品を接続する前に、4 ページの手順で「サポートソフト」CD-ROM の内容をハードディスクにコピーしてください。

次ページ以降では、「サポートソフト」CD-ROM の挿入は不要となります。また、110 ページの手順 9 で指定するフォルダは、コピーしたフォルダの [WIN98] フォルダを指定してください。

Windows 98 でインストールする

本製品を使用するには、「サポートソフト」CD-ROM 内のドライバソフトをパソコンにインストールする必要があります。

ここでは、そのインストール手順について説明します。

インストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。

次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。



インストールする際は、パソコンの電源を入れ、Windows が起動してから本製品を接続します。

- 1** 本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れ Windows 98を起動します。



- 2** 携帯電話の電源を入れます。

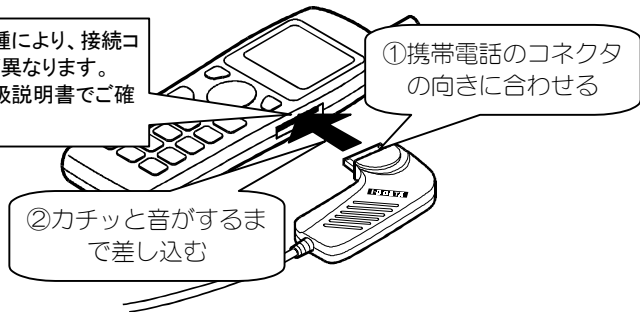


参考

次ページ3 の手順で携帯電話と本製品を接続しますが、携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。(接続後に携帯電話の電源を入れることもできます。)

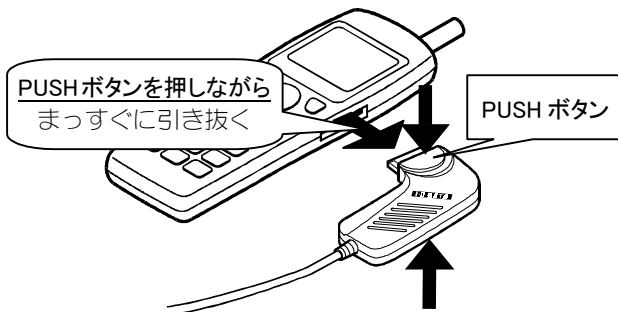
3 携帯電話の接続コネクタに付いているカバーを取り外し、本製品を接続します。

携帯電話の機種により、接続コネクタの場所が異なります。携帯電話の取扱説明書でご確認ください。



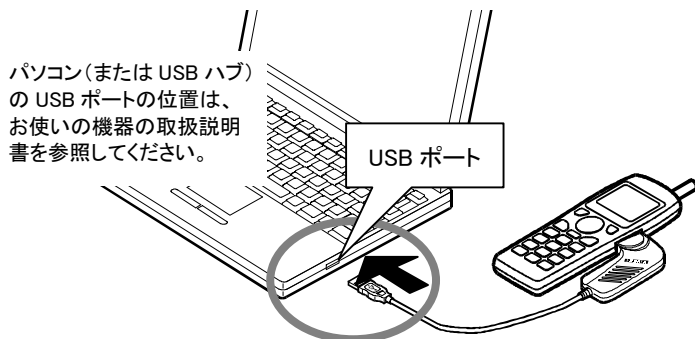
- ・本製品と携帯電話を接続する場合は、コネクタの向きに注意してください。向きが違ったまま無理に差し込むと故障の原因になります。携帯電話によってコネクタの場所や向きが異なりますので、携帯電話の取扱説明書で必ず確認してください。
 - ・本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで(押しながら)まっすぐ引き抜いてください。(以下の図参照)
- PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。

携帯電話から取り外す場合

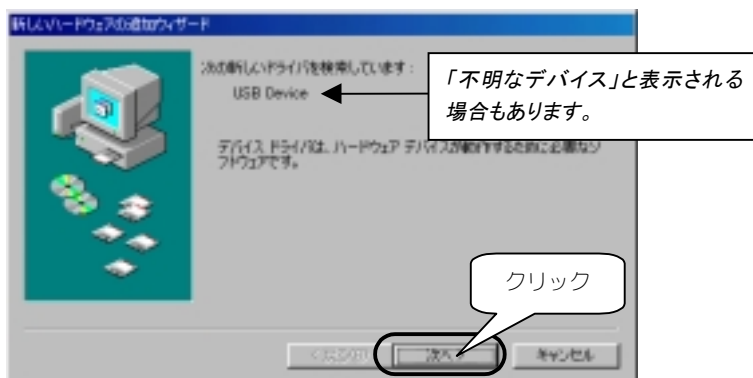


4 Windows 98 のデスクトップ画面が表示されていることを確認後、パソコン(または USB ハブ)の USB ポートに、本製品の USB コネクタを差し込みます。

USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



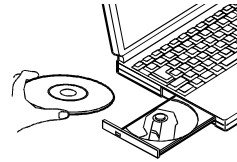
5 しばらくして以下の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。



このインストール画面が表示されない場合は…

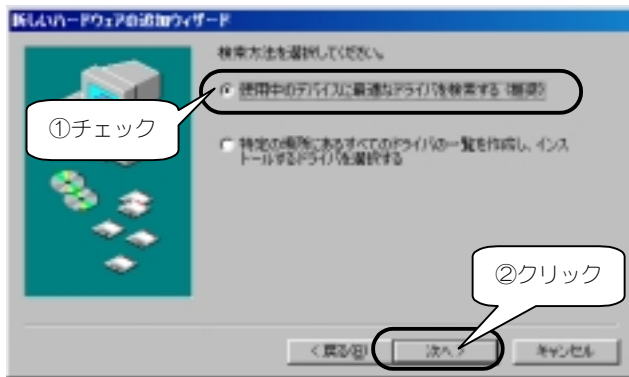
【困ったときには】の
185 ページ
をご参照ください。

- 6 「サポートソフト」CD-ROM を
CD-ROMドライブにセットします。

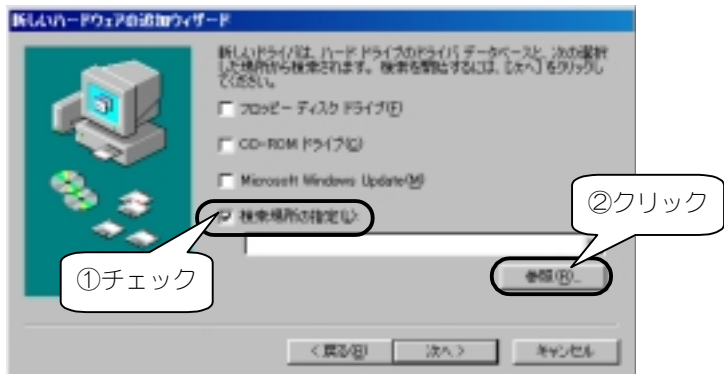


「サポートソフト」CD-ROM

- 7 「使用中のデバイスに最適な…」をチェックして、
[次へ]ボタンをクリックします。

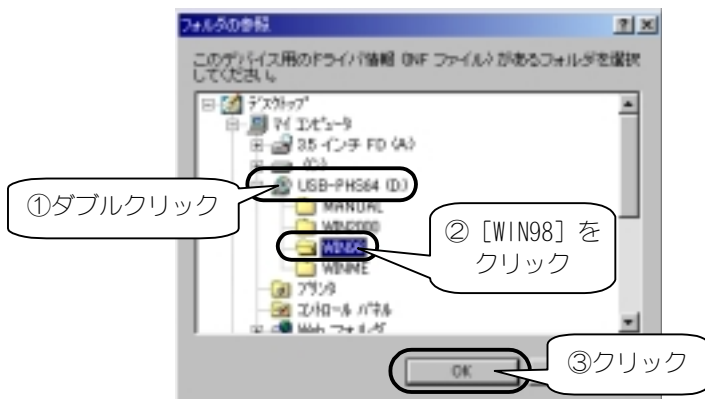


- 8 [検索場所の指定]のみをチェックし、
[参照]ボタンをクリックします。



9 CD-ROMドライブ([USB-PHS64])の[WIN98]フォルダを指定して、[OK]ボタンをクリックします。

「サポートソフト」を、お使いのパソコンのハードディスクにコピーした場合は
→[参照]ボタンをクリック後、以下の手順①でコピー先のハードディスクを選択し、
[WIN98]フォルダを指定します。



10 [次へ]ボタンをクリックします。



- 11** [I-O DATA USB-PHS64]が表示されていることを確認後、
[次へ]ボタンをクリックします。
コピーを開始します。



「お使いのデバイスに関する情報が見つかりません」と表示された場合は…

【困ったときには】の
187 ページ
をご参照ください。

「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」と表示された場合は…

【困ったときには】の
188 ページ
をご参照ください。

- 12** [完了]ボタンをクリックします。



13 この後、[I-O DATA USB-PHS64 Modem]の組み込み画面が表示され、自動的に組み込みを行います。

14 しばらくして表示画面が消えたら
「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

以上でインストールは終了です。

次は正しくインストールできたかを確認します。

次ページ【インストールは正常ですか？】へお進みください。

ステップ 2

準備編

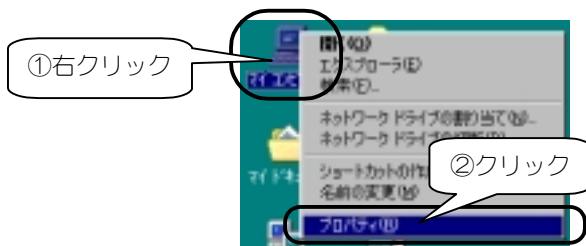
インストールは正常ですか？

【ステップ1】でのインストールが正常に終了すると、パソコンが本製品を正しく認識します。

ここでは、「**パソコンが本製品を正しく認識しているか**」をWindows上で確認します。

本製品を USB ポートに差し込んだままで確認してください。

- 1 [マイコンピュータ]を右クリックして、
[プロパティ]をクリックします。

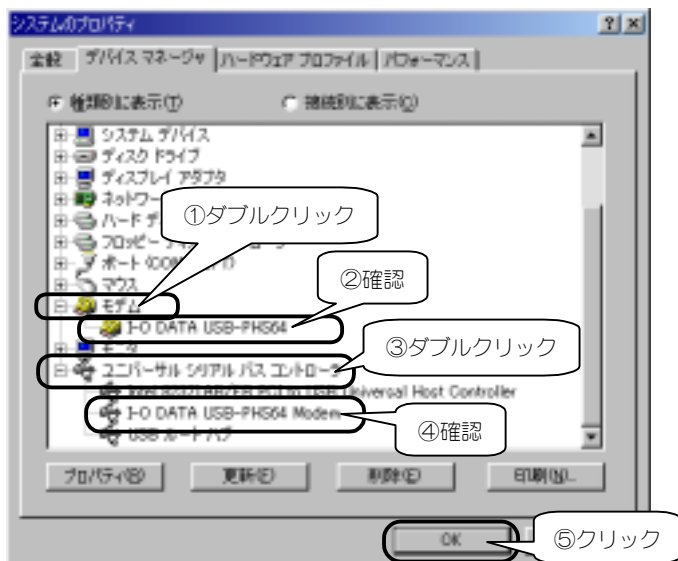


- 2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、
[種類別に表示]をチェックします。



3 以下を確認して[OK]ボタンをクリックします。

- ・[モデム]をダブルクリックして、
[I-O DATA USB-PHS64]が表示されていることを確認します。
- ・[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックして、
[I-O DATA USB-PHS64 Modem]が表示されていることを確認します。



「I-O DATA USB-PHS64」が表示されない、
あるいは、[!]マークがある場合は…

【困ったときには】の
188 ページ
をご参照ください。

「I-O DATA USB-PHS64 Modem」が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
188 ページ
をご参照ください。

4 [OK]ボタンをクリックして、 「システムのプロパティ」画面を閉じます。

これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。

次に端末速度の設定を行います。次ページへお進みください。

ステップ 3

準備編

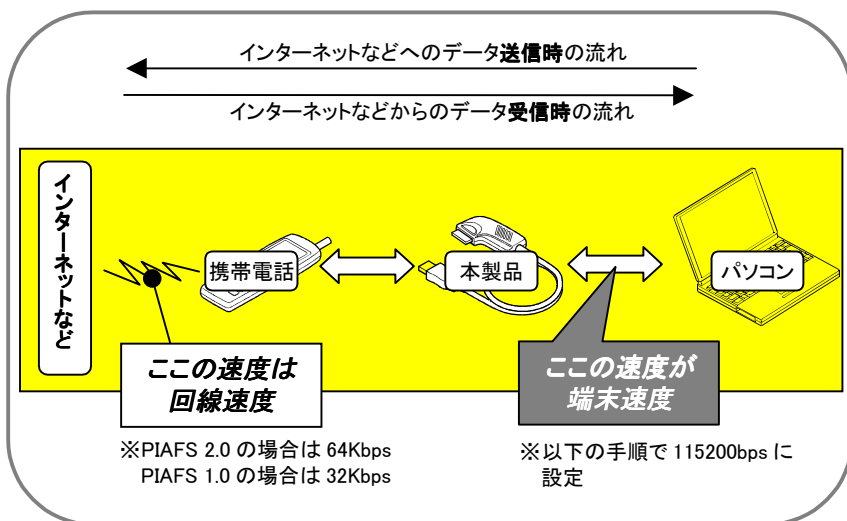
端末速度を設定する

インストールが正常なことを確認したら、次に本製品とパソコン間の速度(端末速度)を設定します。

設定後、正常に本製品とパソコンが通信できるかを確認します。

設定と確認は、Windows の [モデム] アイコンで行います。

本製品を USB ポートに差し込んだままで設定および確認してください。

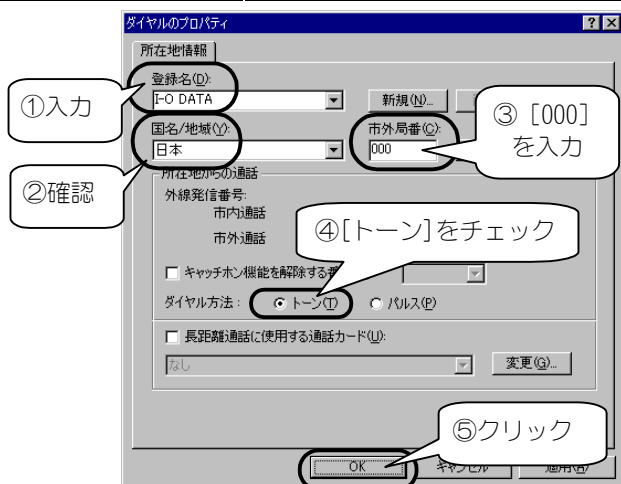


- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[モデム]アイコンをダブルクリックします。

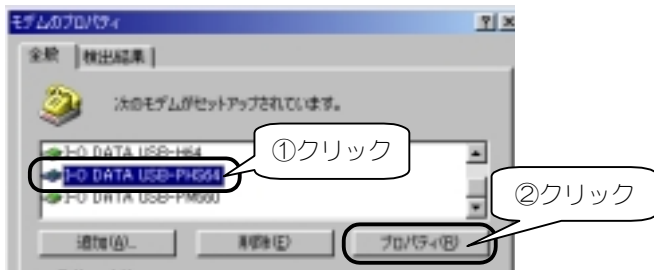


- 2 以下の画面が表示された場合は、必要な情報を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	登録名	任意の登録名を入力
②	国名／地域	[日本]であることを確認
③	市外局番	[000]などの存在しない数値を入力 ※携帯電話は市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。 (設定しないと市外局番から発信できません。)
④	ダイヤル方法	[トーン]を選択



- 3 [I-O DATA USB-PHS64]をクリック後、[プロパティ]ボタンをクリックします。



4 端末速度を設定します。

[最高速度]を選択肢中で一番速い速度に設定し、[OK]ボタンをクリックします。

最高速度には選択できる速度のうち、最高の速度(115200bpsが望ましい)を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。



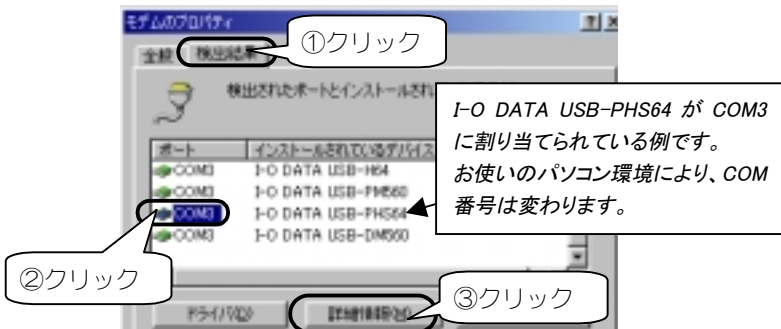
ご使用になるパソコンの種類によっては、設定した速度で通信できない場合があります。その場合は自動的に通信速度が落ちますので、あらかじめご了承ください。

5 端末速度を設定したら、次に本製品とパソコンが正常に通信できるかを確認します。

[検出結果]タブをクリックします。

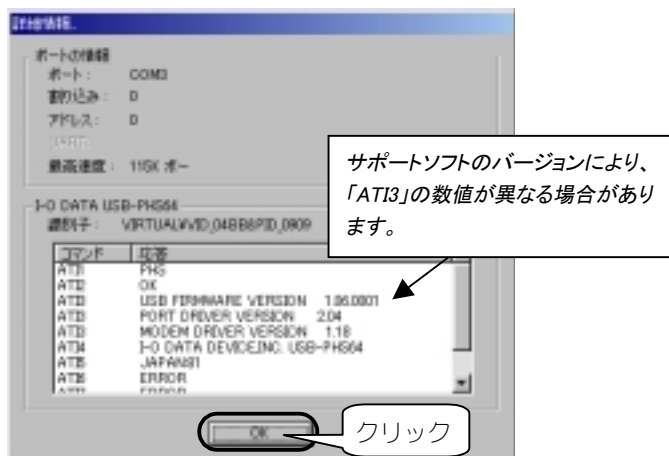
[I-O DATA USB-PHS64]が表示されているポート(下記例ではCOM3の部分)をクリックし、[詳細情報]ボタンをクリックします。

※COMの後の数字はお使いの環境によって異なります。



6 [モデムと通信しています]と表示され、しばらくして以下のように表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

※[コマンド][応答]の部分が真っ白でなく、[AT……]と英数字が表示されたら、本製品は正常に認識されています。



「ポートが開けません」などと表示された場合は…

【困ったときには】の
189 ページ
をご参照ください。



注意

- ・この通信テストはパソコンと本製品間のテストであり、携帯電話を介して通信するテストではありません。
- ・ポートの情報には最高速度として「115Kボー」と表示されますが、実際の端末速度(パソコンと本製品間の速度)は、前ページ4の手順で指定した速度です。
- ・[応答]に[ERROR]と表示されていますが、動作上問題ありません。

7 [OK] (または[閉じる]) ボタンをクリックし、 [モデムのプロパティ]画面を閉じます。

ここまでで、本製品とパソコンが正しく通信できることが確認できました。

次に次ページで発信情報を設定してください。

ステップ 4

準備編

発信情報を設定する

インターネットをはじめ通信ソフトなどを利用するには、パソコンから発信するための情報（発信情報）を設定しておく必要があります。

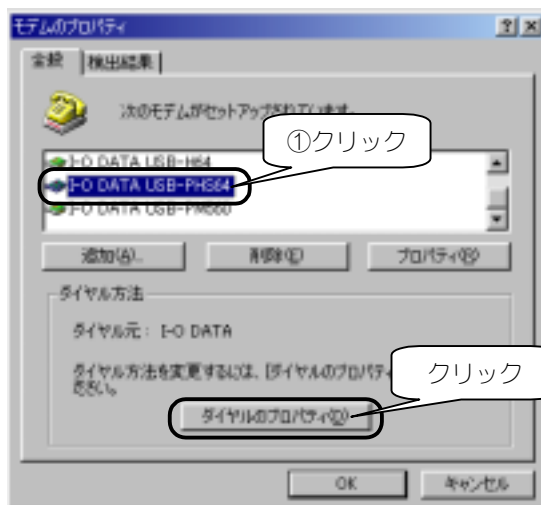
設定は、Windows の [モデム] アイコンで行います。

本製品を USB ポートに接続したままで設定してください。

- 1** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[モデム]アイコンをダブルクリックします。

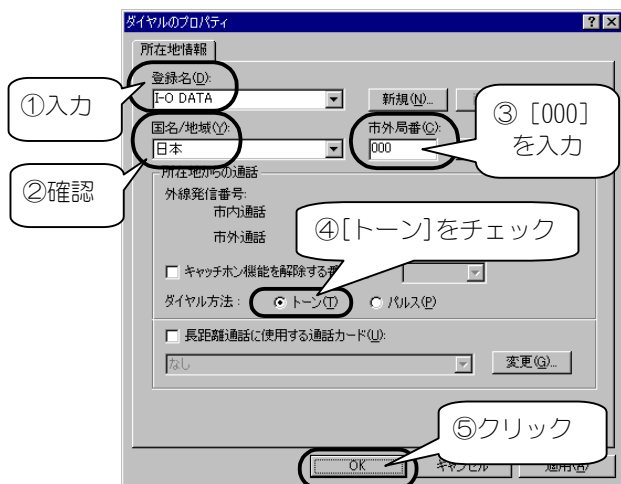


- 2** [I-O DATA USB-PHS64]をクリック後、
[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックします。



3 以下の画面で必要な情報を設定し、 [OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	登録名	任意の登録名(お好きな名前)を入力
②	国名／地域	[日本]であることを確認
③	市外局番	[000]などの存在しない数値を入力 ※携帯電話は市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。 (設定しないと市外局番から発信できません。)
④	ダイヤル方法	[トーン]を選択



4 [OK] (または[閉じる]) ボタンをクリックし、 [モデムのプロパティ]画面を閉じます。

ここまでで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。

1度これらのインストールや設定を行えば、今後はパソコンを起動するだけで使えるようになります。

実際に本製品を使う前に、【ステップ5】(次ページ)を参照して、本製品の接続や取り外し方を確認しておいてください。

本製品を使って…

インターネットを 楽しみたい	→【Windows 98 でインターネットに接続するには】 (123 ページ)へ
Lotus NOTES でモバイル通信したい	→【Lotus NOTES でモバイル通信したい】 (206 ページ)へ

ステップ 5

準備編

接続/取り外しについて

本製品のパソコンへの接続および取り外しは、以下のいずれでも構いません。

- ・パソコンの電源を切っている状態で接続する、取り外す
- ・パソコンの電源が入っている状態で接続する、取り外す

パソコンの電源が入っている時に取り外す場合は、本製品を使用して
いない（回線切断中である）事を確認してから行ってください。

携帯電話から本製品を取り外す場合

携帯電話から本製品を取り外す際は、以下のように行ってください。



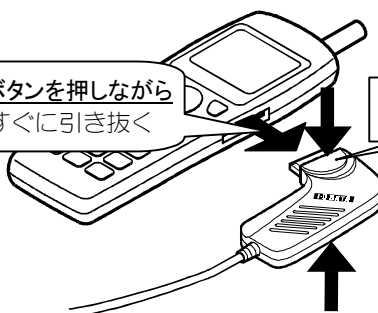
本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで（押しながら）まっすぐ引き抜いてください。（以下の図参照）

PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。

携帯電話から取り外す場合

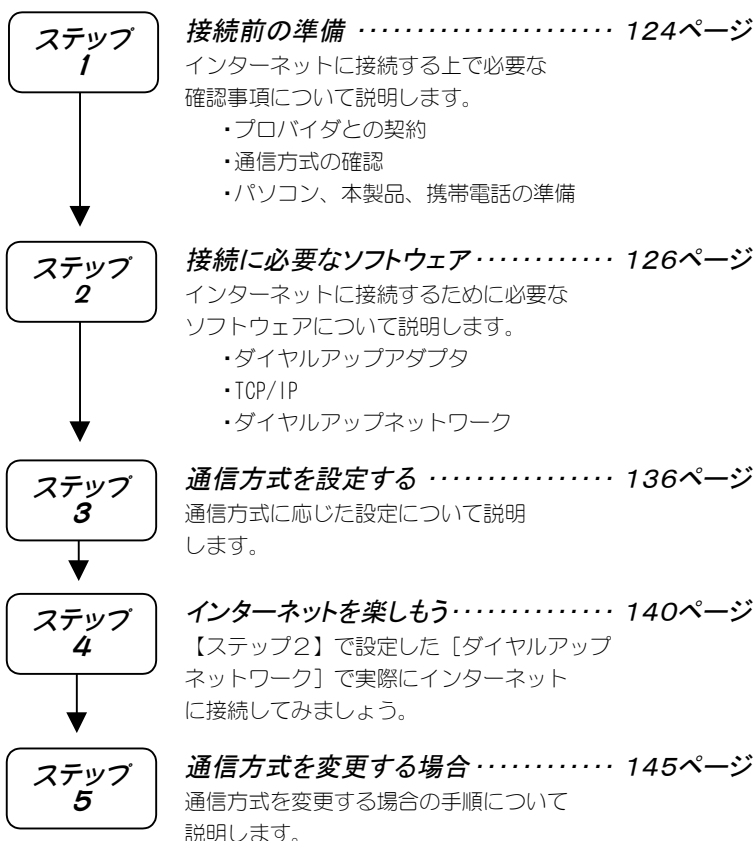
PUSH ボタンを押しながら
まっすぐに引き抜く

PUSH ボタン



Windows 98 で インターネットに接続するには

【準備編】(【ステップ1】(105 ページ)～【ステップ5】(122 ページ)) が終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。



ステップ 1

インターネット接続編 接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。
順にチェックしておいてください。

準備1: プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために
以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（126 ページ
【ステップ2】）、また、インターネットに接続する際（140 ページ【ス
テップ4】）に必要となりますので、準備しておいてください。

・ユーザー名
・パスワード
・接続先の電話番号
・ネームサーバーアドレス※
プライマリ DNS サーバー
セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス(プライマリ DNS
サーバー、セカンダリ DNS サーバー)
は、プロバイダによっては指定がない
場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要は
ありません。

準備2: 通信方式の確認

本製品は、以下の2つの通信方式に対応しています。

No	通信方式	説明
①	PIAFS 2.0	PIAFS という PHS 専用のプロトコルを使用し、 64Kbps で通信する方式。
②	PIAFS 1.0	PIAFS という PHS 専用のプロトコルを使用し、 32Kbps で通信する方式。



参考

「PIAFS」とは→

→「ピアフ」と読みます。PHS の端末を使ったデジタルデータ通信規格のことです。

PIAFS 2.0の方(64Kbps)が、PIAFS 1.0(32Kbps)よりも高速にデータ通信を行うことができますが、以下のすべての条件を満たしていないと64Kbpsでの通信ができません。

- ・契約しているプロバイダがPIAFS 2.0に対応している
- ・携帯電話がPIAFS 2.0に対応している
- ・ご利用の場所が64K サービスエリアである

事前に確認しておいてください。

(通常、PIAFS 2.0に対応している場合は、PIAFS 1.0にも対応しています。)

※1つのプロバイダによっても、携帯電話で接続する場合と、その他の機器(モデムやTAなど)で接続する場合では異なる場合があります。

※複数のプロバイダに接続する場合にもそれぞれすべてのプロバイダの通信方式を確認しておいてください。



- ・プロバイダがPIAFS 2.0に対応しているかは、プロバイダにご確認ください。
- ・携帯電話がPIAFS 2.0に対応しているか、また、ご利用場所が64K サービスエリアかは、携帯電話の取扱説明書、あるいは、携帯電話機メーカーにご確認ください。

準備3: パソコン、本製品、携帯電話の準備

パソコン、本製品、携帯電話があればインターネットに接続できます。ただし、以下の確認を行っておいてください。

チェック1: 携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック2: 携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック3: 携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。



携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

ステップ 2

インターネット接続編

接続に必要なソフトウェア

インターネットに接続するには、以下および次ページのソフトウェアがインストールおよび設定されている必要があります。

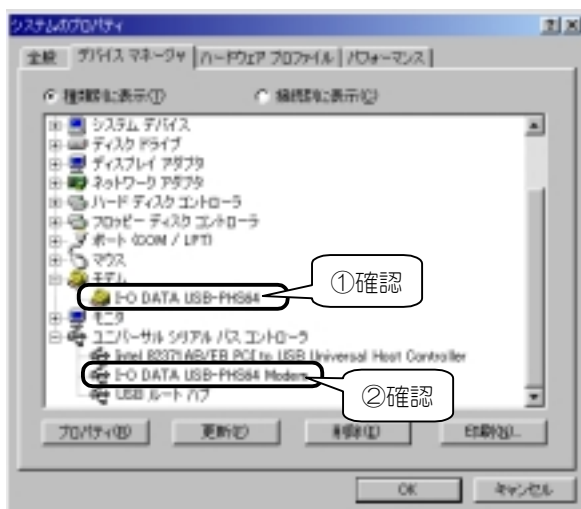
①本製品のドライバソフトウェア

【インストールする】(105 ページ)でインストールした本製品を使用するためのソフトウェアです。

【インストールは正常ですか?】(113 ページ)で正常にインストールされているか確認しておきましょう。

[デバイスマネージャ]画面での以下の表示の確認

- ①[モデム]の下の[I-O DATA USB-PHS64]の表示
- ②[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の下の
[I-O DATA USB-PHS64 Modem]の表示



②ダイヤルアップを行うためのソフトウェア

次ページ以降で
説明します。

ダイヤルアップを行ってプロバイダに接続するためのソフトウェアです。
詳細な設定は、次ページ以降を参照してください。

③Web ブラウザやメールソフトウェア

インターネットに接続する際に特に必要ではありませんが、接続後に、
ホームページなどを見るためのソフトウェアです。

Windows 98 には、Web ブラウザとして Internet Explorer が標準でインストールされています。

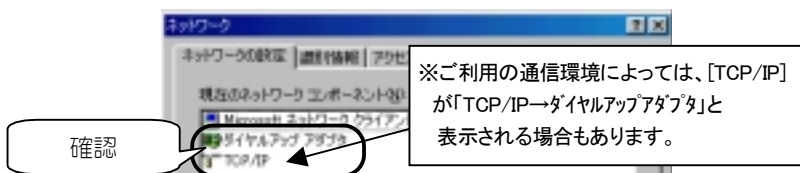
ここでは、次ページ以降で[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]の確認、および、[ダイヤルアップアダプタ]の設定について説明します。はじめてインターネットに接続する場合、また、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合にも、次ページ以降を参照してください。

【ダイヤルアップアダプタ】と【TCP/IP】を確認する

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



- 2 【ダイヤルアップアダプタ】と【TCP/IP】(または【TCP/IP→ダイヤルアップアダプタ】)があることを確認し、【OK】ボタンをクリックします。



【ダイヤルアップネットワーク】や
【TCP/IP】が表示されない場合は…

【困ったときには】の
192 ページ
をご参照ください。

【ダイヤルアップネットワーク】を設定する

インターネットに接続するには、パソコンからプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア【ダイヤルアップネットワーク】を設定する必要があります。

本製品を USB ポートに差し込んだままで設定してください。

はじめて【ダイヤルアップネットワーク】の設定を行う場合、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、次ページ【新しい設定を作るとき】を行います。



参考

ダイヤルアップとは

→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者(プロバイダ)に接続すること。



参考

すでにダイヤルアップ接続(インターネット)の設定を行っていて、設定内容を変更する場合は 133 ページ【設定を変更するとき】をご覧ください。

新しい設定を作るとき

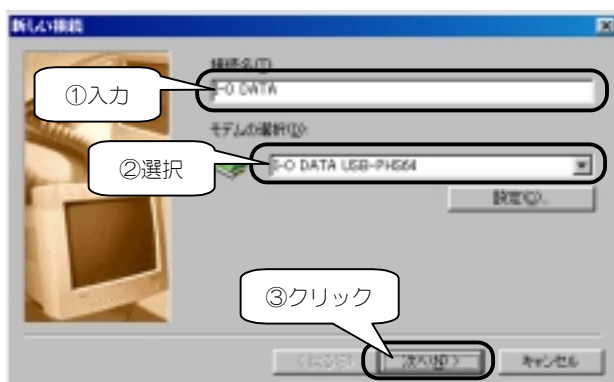
- 1 インターネットプロバイダから入手した[ユーザ名]や[パスワード]などが記載されている資料をご用意ください。
- 2 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]→[新しい接続]アイコンを順にダブルクリックします。



[ダイヤルアップネットワーク]が
表示されない場合は…

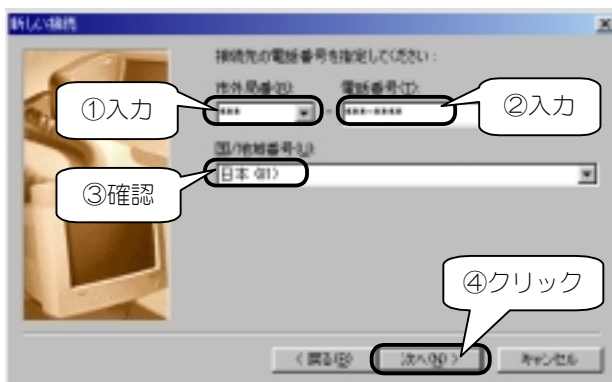
【困ったときには】の
190 ページ
をご参照ください。

- 3 [接続名]欄に任意の接続名(お好きな名前)を入力し、モデムの選択欄から[I-O DATA USB-PHS64]を選び、[次へ]ボタンをクリックします。



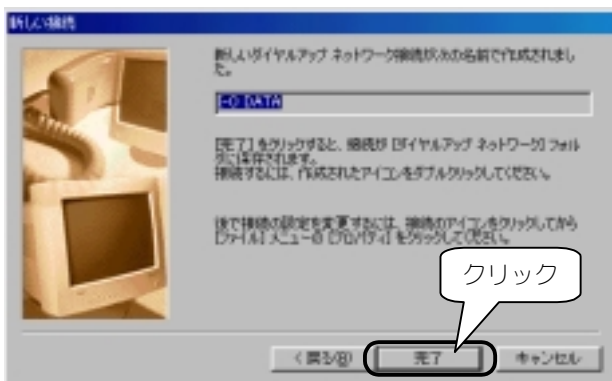
6 以下を設定後、[次へ]ボタンをクリックします。

市外局番	接続先(プロバイダ)の市外局番 ※ダイヤル先が市内であっても、必ず市外局番から入力してください。
電話番号	接続先(プロバイダ)の電話番号
国番号	[日本]



【市外局番】【電話番号】欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

7 [完了]ボタンをクリックします。



8 新しく作成したアイコンが[ダイヤルアップネットワーク]画面に 3の手順で指定した接続名が表示されます。

新しく作成したアイコンを右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



9 [サーバーの種類]タブをクリックし、 以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では

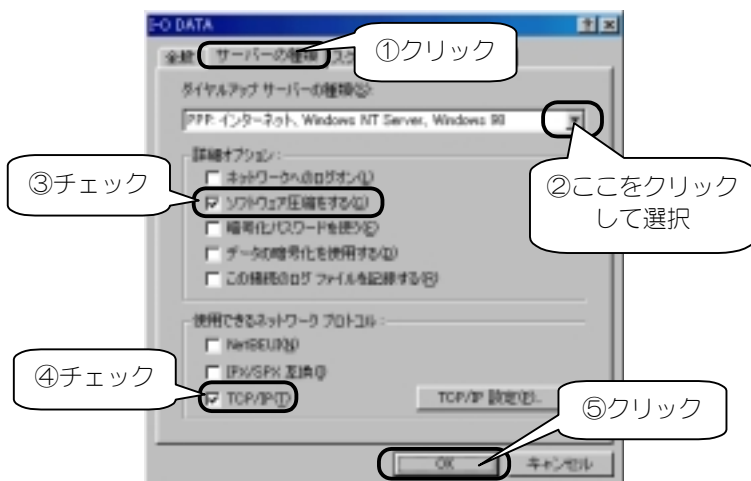
[PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98]を選択

・[詳細オプション]で[ソフトウェア圧縮をする]にチェック

・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみにチェック

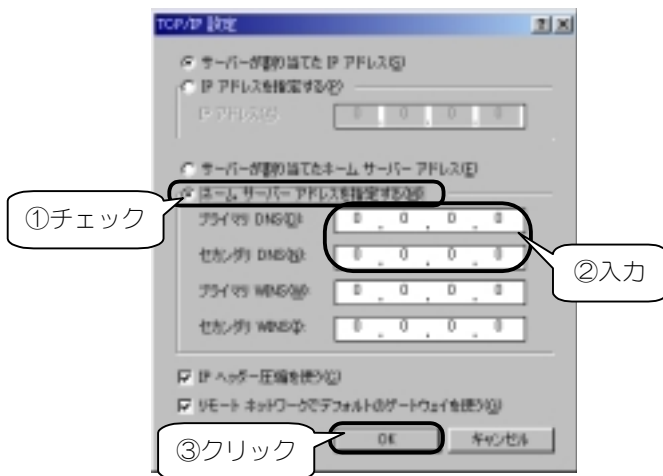
プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照してください。

設定後、[OK]ボタンをクリックします。



●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

- 1 前ページ9 の手順の画面で、[TCP/IP 設定]ボタンをクリックします。
- 2 以下を設定します。
 - ・[ネームサーバーアドレスを指定する]をチェックします。
 - ・[プライマリ DNS]欄にプライマリ DNS を、[セカンダリ DNS]欄にセカンダリ DNS の値を入力します。設定後、[OK]ボタンをクリックします。



- ・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- ・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。

以上で、[ダイヤルアップネットワーク]の設定は終了です。
次に通信方式の設定を行います。

136 ページ【通信方式を設定する】にお進みください。

設定を変更するとき

本製品を使用する前に、すでに他のモデムなどを使用していて、[ダイヤルアップネットワーク] の設定を終了して場合には、以下の手順のように、[接続の方法] を本製品に切り替えるだけでも設定できます。

- 1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]アイコンを順にダブルクリックします。



[ダイヤルアップネットワーク]が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
190 ページ
をご参照ください。

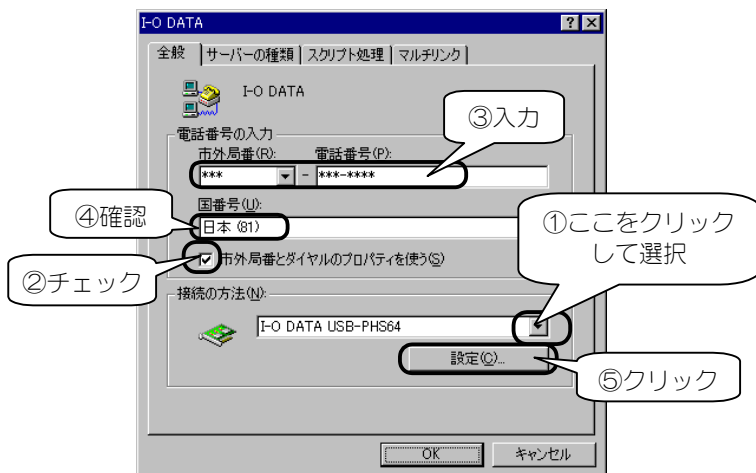
- 2 変更したい接続のアイコンを右クリックして、表示された[プロパティ]をクリックします。



3 以下のようにプロバイダの電話番号や通信方式設定を入力します。

- ①[接続方法]は、[I-O DATA USB-PHS64]を選択します。
- ②[市外局番とダイヤルのプロパティを使う]をチェックします。
- ③[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
※接続先が市内でも、必ず市外局番を入力してください。
- ④[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
- ⑤[国番号]欄は、「日本」であることを確認します。

設定後、[設定]ボタンをクリックします。



注意

[市外局番][電話番号]欄の「***」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。

4 [サーバーの種類]タブをクリックし、 以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では

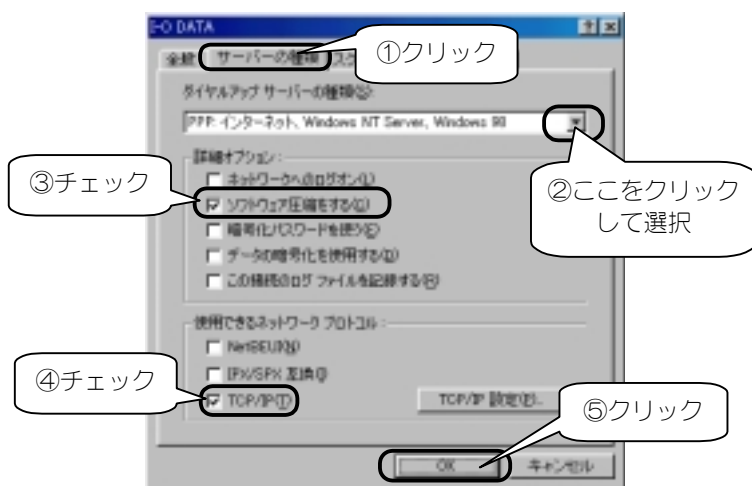
[PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98]を選択

・[詳細オプション]で[ソフトウェア圧縮をする]にチェック

・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみにチェック

プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は、132ページを参照して設定してください。

設定後、[OK]ボタンをクリックします。



5 [OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

以上で、[ダイヤルアップネットワーク]の設定は終了です。

次に通信方式の設定を行います。

次ページ【通信方式を設定する】にお進みください。

ステップ 3

インターネット接続編

通信方式を設定する

本製品は、以下の2つの通信方式に対応しています。

通信方式	説明
PIAFS 2.0	64Kbps で通信する方式
PIAFS 1.0	32Kbps で通信する方式

【ステップ2】までの手順では、本製品は、上記の PIAFS 2.0 (64Kbps) で使用する設定になっています。

ただし、以下のすべての条件を満たしていないと 64Kbps での通信ができません。

- ・契約しているプロバイダが PIAFS 2.0 に対応している
- ・携帯電話が PIAFS 2.0 に対応している
- ・ご利用の場所が 64K サービスエリアである

上記を満たしていない場合は、次ページを参照して、設定し直してください。



- ・プロバイダが PIAFS 2.0 に対応しているかは、プロバイダにご確認ください。
- ・携帯電話が PIAFS 2.0 (64K データ通信) に対応しているか、また、ご利用場所が 64K サービスエリアかは、携帯電話の取扱説明書、あるいは、携帯電話機メーカーにご確認ください。



参考 1

「PIAFS」とは

→「ピアフ」と読みます。PHS の端末を使ったデジタルデータ通信規格のことです。



参考 2

ここでの設定は、1つのプロバイダのみに接続する場合(1つの通信方式しか使用しない場合)の設定です。

複数のプロバイダに接続する場合など、プロバイダ毎に通信方式を変更したい場合は、接続する際に設定し直すこともできます。手順については、【ステップ5 通信方式を変更する場合】(145 ページ)を参照してください。

通信方式に応じて設定する

通信方式に応じた設定をします。

設定は、【ステップ2】で作成した[ダイヤルアップネットワーク]アイコンで行います。本製品をUSBポートに差し込んだままで設定してください。

- 1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]アイコンを順にダブルクリックします。



- 2 変更したい接続のアイコンを右クリックして、表示された[プロパティ]をクリックします。



3 [電話番号]欄に以下の【通信方式に応じた設定】を行います。 設定後、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じてください。



●通信方式に応じた設定

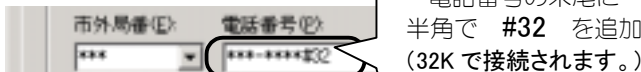
- ・「プロバイダ」および「携帯電話」の両方が PIAFS 2.0 に対応し、かつ、ご利用の場所が 64K サービスエリアの場合

画面の「電話番号」欄に電話番号が表示されていれば、設定を変更する必要はありません。



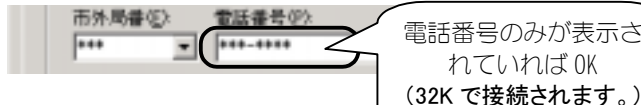
- ・プロバイダが PIAFS 2.0 に対応していない場合、あるいは、ご使用の場所が 64K サービスエリアでない場合

画面の「電話番号」欄にプロバイダの電話番号の末尾に半角で「#32」を入力します。



- ・「携帯電話」が PIAFS 2.0 に対応していない場合

画面の「電話番号」欄に電話番号が表示されていれば、設定を変更する必要はありません。何も追加しないでください。



【市外局番】【電話番号】欄の「***」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が表示されていることを確認してください。

これで通信方式に応じた設定は終了です。

次ページ【インターネットを楽しもう】を参照して、さっそくインターネットに接続してみましょう。

ステップ 4

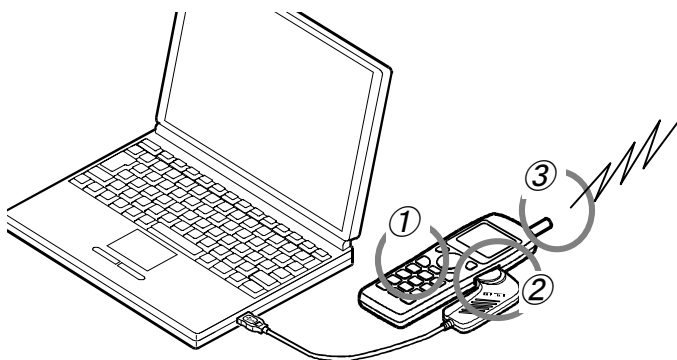
インターネット接続編

インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、携帯電話を操作する必要は特にありませんが、毎回以下を確認してから、本製品をパソコンに取り付け、インターネットに接続してください。



チェック①: 携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②: 携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③: 携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

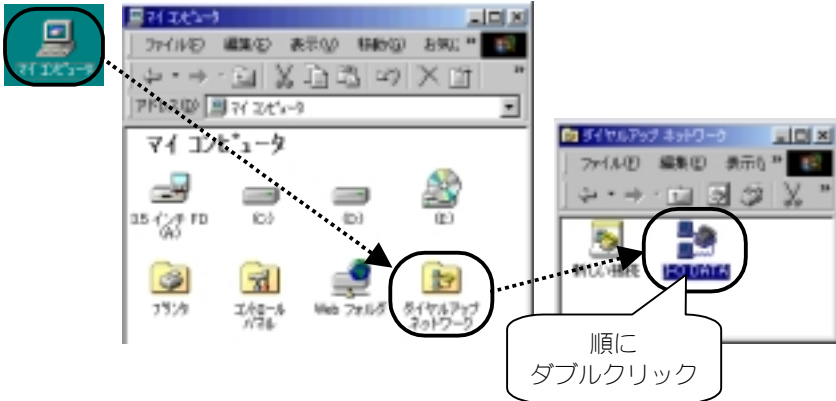


携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

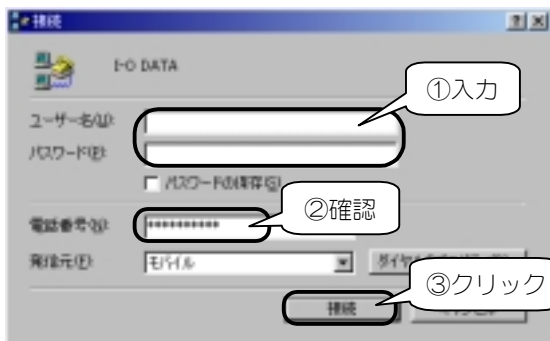
インターネットに接続する

インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップネットワーク]を設定する】
(128 ページ) で作成した[ダイヤルアップネットワーク]で行います。

- 1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]→作成した接続のアイコンを順にダブルクリックします。



- 2 プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[電話番号]欄を確認後、[接続]ボタンをクリックします。
[接続]ボタンをクリックすると、プロバイダと通信を開始します。

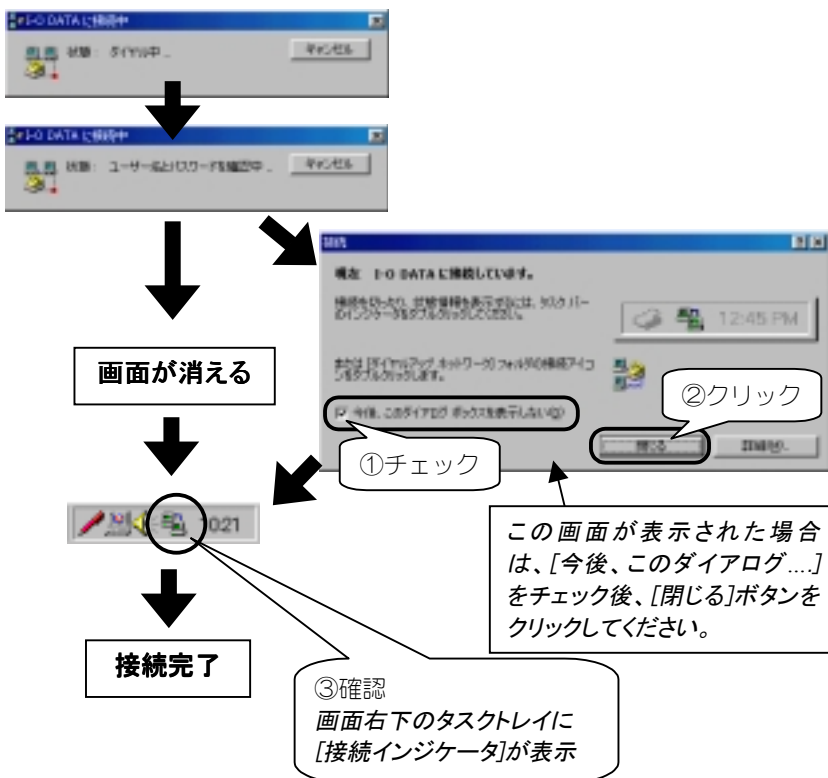


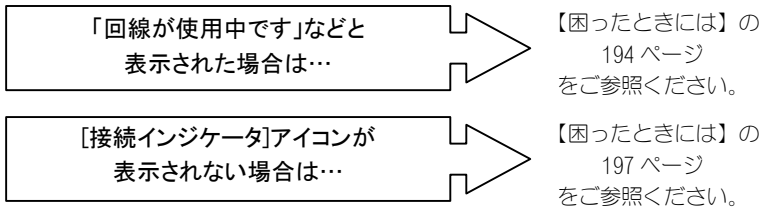
- ・[電話番号]欄の「*****」は、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が市外局番から表示されていることを確認してください。
- ・パスワードは「*****」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの太文字小文字などを間違えないように注意してください。



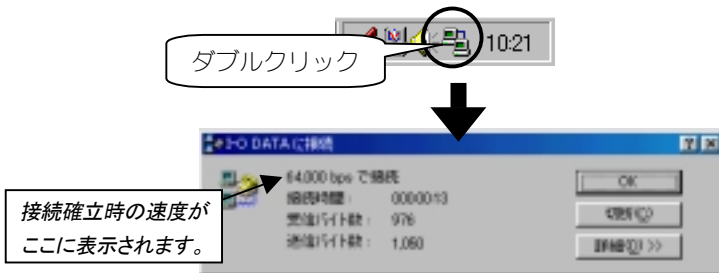
- ・[パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワードが「*」印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。
- ・他のモデムも併用している場合、[発信元]欄に本製品用の接続名(129 ページ3 の手順の①で設定した接続名)を選択してください。

3 しばらくして「...に接続中」という画面が消えたら、完了です。パソコン画面右下のタスクトレイに[接続インジケータ]アイコンが表示されます。





4 接続状況は、[接続インジケータ]アイコンをダブルクリックすれば確認できます。



5 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。
接続中は、常時[接続インジケータ]が表示されています。

インターネットを終了する

インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。



- ・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。クリック後、携帯電話の通話が終わっていること、また、[接続インジケータ]が消えることを必ず確認してください。
- ・携帯電話の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

- 1** インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。
- これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。携帯電話の通話も自動的に切断されますので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



以上で、インターネットは終了できました。

ステップ 5

インターネット接続編

通信方式を変更する場合

通信方式（PIAFS 2.0、PIAFS 1.0）は、【ステップ3】（136 ページ）で設定することができますが、複数の通信方式でご利用になる場合などに、接続する際に通信方式を設定することもできます。

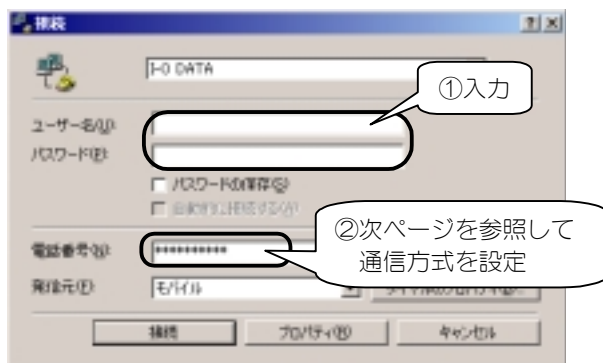


以下の設定は、1 回限りなので、インターネットへの接続が終了すると元の設定に戻ります。

設定を保存しておきたい場合は、【ステップ3】（136 ページ）で設定してください。

今回だけ通信方式を変えて接続する方法

- 1 ダイヤルアップ接続画面（141ページ2 の手順の画面）を表示させます。
- 2 [ユーザー名][パスワード]入力後、
[電話番号]欄に次ページを参照して、通信方式を設定します。



●通信方式に応じた設定

- ・「プロバイダ」および「携帯電話」の両方が PIAFS 2.0 に対応し、かつ、ご利用の場所が 64K サービスエリアの場合

画面の「電話番号」欄に電話番号が表示されていれば、設定を変更する必要はありません。

電話番号

電話番号のみが表示されていれば OK
(64K で接続されます。)

- ・プロバイダが PIAFS 2.0 に対応していない場合、あるいは、ご使用の場所が 64K サービスエリアでない場合

画面の「電話番号」欄にプロバイダの電話番号の末尾に半角で「#32」を入力します。

電話番号

*****#32

電話番号の末尾に半角で #32 を追加
(32K で接続されます。)

- ・「携帯電話」が PIAFS 2.0 に対応していない場合

画面の「電話番号」欄に電話番号が表示されていれば、設定を変更する必要はありません。何も追加しないでください。

電話番号

電話番号のみが表示されていれば OK
(32K で接続されます。)



【電話番号】欄の「*****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が表示されていることを確認してください。

3 [接続]ボタンをクリックすれば、設定した通信方式でインターネット接続します。

添付ソフト編

回線モニターを使う

(Windows 98 のみ対応)

添付の「サポートソフト」ディスク内にある「回線モニター」(Windows 98 専用)を使用すれば、通信中の状況や接続時間や実際の通信速度などを確認できます。

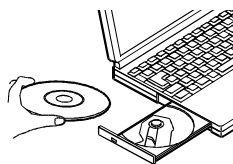
必要に応じて、インストールしてください。



FAX 通信時は通信中の状況や通信速度などを正しくモニタリングできません。
インターネット接続時やパソコン通信時にご利用ください。

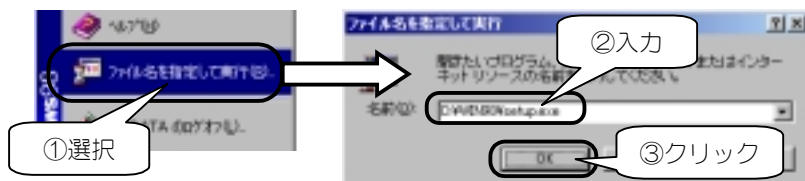
「回線モニター」をインストールする

- 1 「サポートソフト」CD-ROM を
CD-ROMドライブにセットします。



「サポートソフト」CD-ROM

- 2 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]を選び、[名前]欄に
D:¥WIN98¥setup.exe
(CD-ROMドライブがDドライブの場合)
と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



- 3 画面の指示にしたがって、インストールを進めてください。
途中で[スタートアップへの登録]画面が表示されますが、回線モニターを手動で起動したいときはチェックを外してください。

「回線モニター」の起動と終了

回線モニターは通信を開始する前に起動してください。通信開始後に起動しても、モニタリング（通信状態の監視や時間表示など）しません。

- 1 [スタート]→[プログラム]→[I-O DATAモデムツール]→
[回線モニター]を開きます。



- 2 回線モニターの画面が表示されます。
この時点ではまだ通信が開始されていないので、今月累計接続時間だけが
表示されています。

- 3 ダイヤルアップネットワークを起動するなど、
通信を開始するとモニタリングを始めます。



表示内容		意味
インジケータ	SD	データ送信中に赤ランプ点灯
	RD	データ受信中に赤ランプ点灯
	RI	RING 検出したら赤ランプ点灯
	CD	キャリア検出したら赤ランプ点灯
	OH	オフフック中に赤ランプ点灯
	DR	データセットレディ状態で赤ランプ点灯
	CS	データ送信許可状態で赤ランプ点灯
送受信レベル	SD	送信レベルを緑色のランプで表示
	RD	受信レベルを緑色のランプで表示

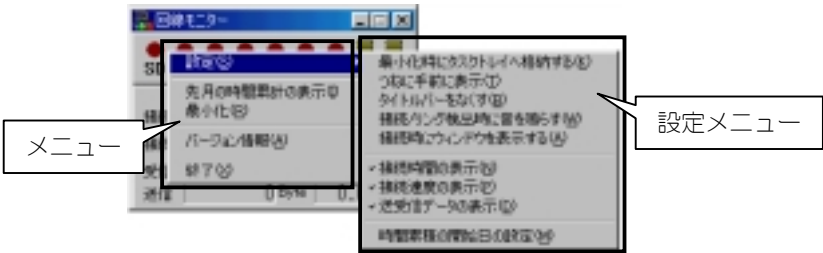
表示内容		意味
接続時間	今回	今回の接続時間(時:分:秒)
	今月	今月になってからの接続時間合計(時:分:秒)
	累計	ただし、回線モニター起動中の接続時間のみ集計
接続速度		現在、接続している通信速度 パソコンと本製品間の通信速度が表示されます。
受信	Byte	今回の接続の受信データ量(バイト)
	KB/s	現在の受信データの転送速度(Kバイト/秒)
送信	Byte	今回の接続の送信データ量(バイト)
	KB/s	現在の送信データの転送速度(Kバイト/秒)

4 回線モニターを終了するには、回線モニター画面の[終了]アイコンをクリックします。



「回線モニター」の各種設定

回線モニター画面で右クリックすると、設定などのメニューが表示されます。



■メニュー■

メニュー項目	意味
設定	各種設定メニューを表示します。
先月の時間累計の表示	先月の接続時間合計を表示します (ただし、回線モニター起動時の接続時間のみ対象)。
最小化	回線モニターを最小化します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。
終了	回線モニターを終了します。

■設定メニュー■

メニュー項目の先頭に「レ」印が表示されている状態がONです。

メニュー項目	ONのときの機能
最小化時にタスクトレイへ格納する	最小化したときに、タスクバーでなく、タスクトレイにアイコンを表示します。 《タスクトレイ設定で最小化した時》 
	このアイコンをダブルクリックすると 回線モニター画面が再表示されます。 初期値: OFF (=タスクバー設定)
つねに手前に表示	常に他のウインドウより手前に回線モニター画面を表示します。 初期値: OFF (=手前表示しない)
	タイトルバーをなくす 初期値: OFF (=タイトルバーあり)
タイトルバーをなくす	タイトルバーを非表示にします。 初期値: OFF (=タイトルバーあり)
	タイトルバーをなくす 初期値: OFF (=タイトルバーあり)

メニュー項目	ONのときの機能
接続/リング検出時に音を鳴らす	接続時(CD/OH 検出時)とリング検出時(RI 検出時)に音を鳴らします。
	初期値:OFF(=音を鳴らさない)
接続時間の表示	接続時間(今回、今月累計)を表示します。
	初期値:ON(=表示する)
接続速度の表示	接続速度を表示します。
	初期値:ON(=表示する)
送受信データの表示	送受信データ量と転送速度を表示します。
	初期値:ON(=表示する)
時間累積の開始日の設定	接続時間の累計を行うときに、月の開始日を設定します。電話料金計算などの締日と合わせることができます。
	初期値:1日

「回線モニター」を削除する場合

インストールした回線モニターを削除したい場合は、回線モニターが起動されていないことを確認してから、以下の作業を行ってください。

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
- 2 [I-O DATA モデムツール]を選択し、
[追加と削除]ボタンをクリックします。



- 3 後は、画面の指示にしたがって、処理を進めてください。

これで「回線モニター」の削除は完了です。

5

Mac OS で 使うには

～ 準備編 ～

本製品で通信できるまでの流れ…… 154ページ

ステップ1 Mac OS のバージョンを

確認する… 155ページ

ステップ2 設定ファイルをコピーする… 156ページ

ステップ3 パソコンに接続する…… 158ページ

～ インターネット接続編 ～

Mac OS でインターネットに

接続するには… 160ページ

ステップ1 接続前の準備…… 161ページ

ステップ2 接続に必要なソフトウェア… 163ページ

ステップ3 インターネットを楽しもう… 176ページ

ステップ4 通信方式を変更する場合… 180ページ

準備編

本製品で通信できるまでの流れ

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、最初に本製品を使用できるようにする設定、またパソコン側での設定が必要です。

ここでは、本製品を使用して、パソコンから通信できるようにするまでの手順について説明します。

以下の流れに沿ってお進みください。

ステップ 1

Mac OS のバージョンを確認する …… 155ページ

本製品を使用できる Mac OS のバージョンの確認手順について説明します。

ステップ 2

設定ファイルをコピーする …… 156ページ

本製品を使用するために必要なモデム設定ファイルをコピーする手順について説明します。

ステップ 3

パソコンに接続する …… 158ページ

本製品をパソコンに接続する手順について説明します。

ステップ 1

準備編

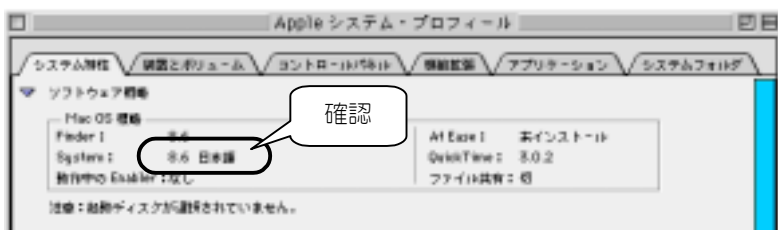
Mac OS のバージョンを確認する

ご使用の Macintosh が、Mac OS 8.6 未満では本製品は使用できません。
以下の手順で、Mac OS のバージョンを確認してください。
8.6 未満の場合には、バージョンアップしてください。

- 1** [Apple システム・プロフィール]を選択します。
[Apple]メニューをクリックして、表示された[Appleシステム・プロフィール]をクリックします。



- 2** Mac OSのバージョンを確認します。



参考

Mac OS のバージョンが 8.6 未満の場合は

→Mac OS を 8.6～9.1 にバージョンアップしてください。(8.6 未満では本製品は使用できません。)バージョンアップ後、次ページ【設定ファイルをコピーする】へ進んでください。

Mac OS のバージョンが 8.6～9.1 の場合は

→これ以上の作業は必要ありません。次ページ【設定ファイルをコピーする】へ進んでください。

ステップ 2

準備編

設定ファイルをコピーする

「サポートソフト」CD-ROM 内の「モデム設定ファイル」(CCL ファイル) をパソコンにコピーします。

ここで説明する作業は、最初に1度だけ行います。

次回からは、本製品の USB コネクタを差し込むだけで使用できます。



以下の作業は、USB ポートに本製品を接続する前に行ってください。

1 パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動します。

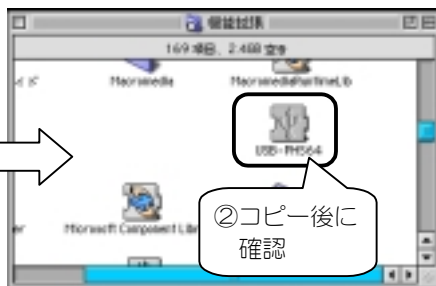
2 「サポートソフト」CD-ROMを
CD-ROMドライブにセットします。
デスクトップ上にCD-ROMアイコンが表示されます。



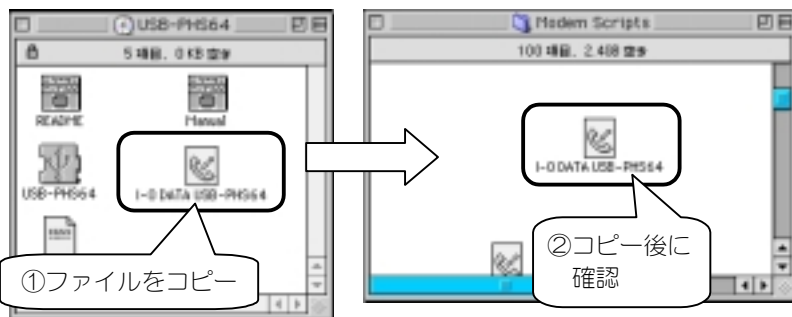
3 CD-ROM アイコンをダブルクリックして、
[USB-PHS64]内にある[USB-PHS64]を[機能拡張]フォルダ※へ
コピーします。

※[機能拡張]フォルダは、Mac OSがインストールされているドライブの
[システム]フォルダの中にあります。

サポートソフトをお使いのパソコンのハードディスクにコピーした場合は
→コピー先のハードディスクをダブルクリックして開きます。



- 4 [I-O DATA USB-PHS64]を
[システム]フォルダ内の[機能拡張]フォルダの[Modem Scripts]
フォルダへコピーします。



以上でソフトウェア側の準備はOKです。
次ページへお進みください。

ステップ 3

準備編

パソコンに接続する

本製品をパソコンに接続します。

1 パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動します。

2 携帯電話の電源を入れます。



参考

以下の3の手順で携帯電話と本製品を接続しますが、携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。(接続後に携帯電話の電源を入れることもできます。)

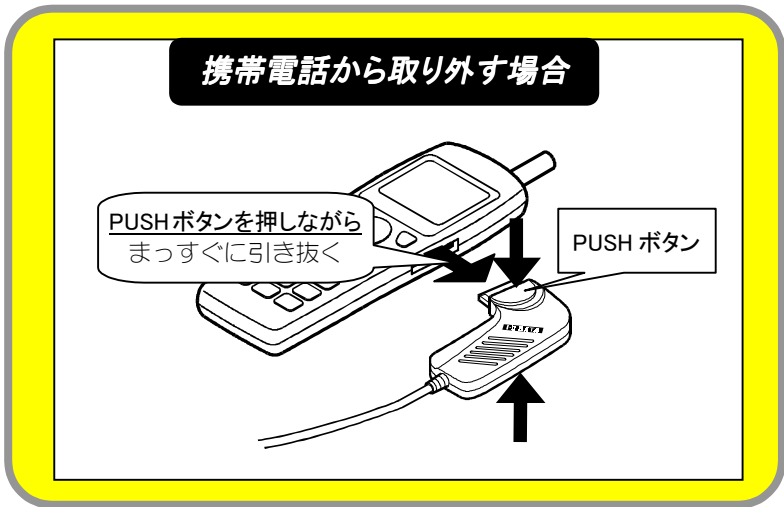
3 携帯電話の接続コネクタに付いているカバーを取り外し、本製品を接続します。

携帯電話の機種により、接続コネクタの場所が異なります。携帯電話の取扱説明書でご確認ください。



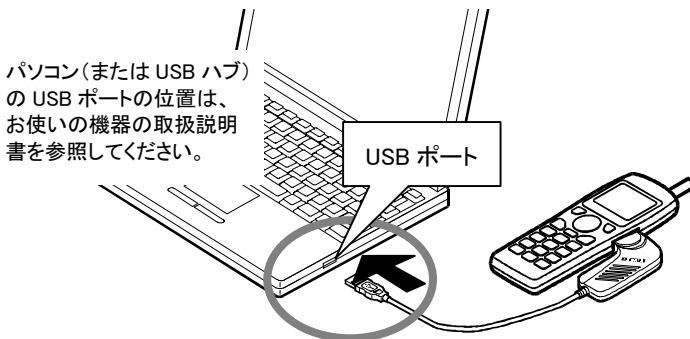
注意

- ・本製品と携帯電話を接続する場合は、コネクタの向きに注意してください。向きが違ったまま無理に差し込むと故障の原因になります。携帯電話によってコネクタの場所や向きが異なりますので、携帯電話の取扱説明書で必ず確認してください。
- ・本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで(押しながら)まっすぐ引き抜いてください。(次ページの図参照)
PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。



- 4** Mac OS のデスクトップ画面が表示されていることを確認後、パソコン(または USB ハブ)の USB ポートに、本製品の USB コネクタを差し込みます。

USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



以上で本製品を使う準備ができました。

次ページへお進みになり、本製品をインターネットで活用しましょう。

Mac OS で インターネットに接続するには

【準備編】（【ステップ1】（155 ページ）～【ステップ3】（158 ページ））が終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1	接続前の準備 161ページ インターネットに接続する上で必要な 確認事項について説明します。 ・プロバイダとの契約 ・通信方式の確認 ・パソコン、本製品、携帯電話の準備
ステップ 2	接続に必要なソフトウェア 163ページ インターネットに接続するために必要な ソフトウェアについて説明します。 ・らくらく自動設定 ・お好み手動設定
ステップ 3	インターネットを楽しもう 176ページ ［リモートアクセス］で実際にインターネット に接続してみましょう。
ステップ 4	通信方式を変更する場合 180ページ 通信方式を変更する場合の手順について 説明します。

ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。
順にチェックしておいてください。

準備1: プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために
以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（163 ページ
【ステップ2】）、また、インターネットに接続する際（176 ページ【ス
テップ3】）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ・ユーザー名
- ・パスワード
- ・接続先の電話番号
- ・ネームサーバーアドレス※
プライマリ DNS サーバー
セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス(プライマリ DNS
サーバー、セカンダリ DNS サーバー)
は、プロバイダによっては指定がない
場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要は
ありません。

準備2: 通信方式の確認

本製品は、以下の2つの通信方式に対応しています。

No	通信方式	説明
①	PIAFS 2.0	PIAFS という PHS 専用のプロトコルを使用し、 64Kbps で通信する方式。
②	PIAFS 1.0	PIAFS という PHS 専用のプロトコルを使用し、 32Kbps で通信する方式。



参考

「PIAFS」とは→

→「ピアフ」と読みます。PHS の端末を使ったデジタルデータ通信規格のことです。

PIAFS 2.0の方(64Kbps)が、PIAFS 1.0(32Kbps)よりも高速にデータ通信を行うことができますが、以下のすべての条件を満たしていないと64Kbpsでの通信ができません。

- ・契約しているプロバイダがPIAFS 2.0に対応している
- ・携帯電話がPIAFS 2.0に対応している
- ・ご利用の場所が64K サービスエリアである

事前に確認しておいてください。

(通常、PIAFS 2.0に対応している場合は、PIAFS 1.0にも対応しています。)

※1つのプロバイダによっても、携帯電話で接続する場合と、その他の機器(モデムやTAなど)で接続する場合では異なる場合があります。

※複数のプロバイダに接続する場合にもそれぞれすべてのプロバイダの通信方式を確認しておいてください。



- ・プロバイダがPIAFS 2.0に対応しているかは、プロバイダにご確認ください。
- ・携帯電話がPIAFS 2.0に対応しているか、また、ご利用場所が64K サービスエリアかは、携帯電話の取扱説明書、あるいは、携帯電話機メーカーにご確認ください。

準備3: パソコン、本製品、携帯電話の準備

パソコン、本製品、携帯電話があればインターネットに接続できます。ただし、以下の確認を行っておいてください。

チェック①: 携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②: 携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③: 携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。



携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

ステップ 2

インターネット接続編

接続に必要なソフトウェア

ここでは、インターネット接続の方法として以下の2通りを説明します。

【らくらく自動設定】は、Mac OS 付属の[インターネット接続アシスタント]を使用して、インターネット接続を簡単な操作ですませることができます。

【お好み手動設定】は、Mac OS 付属の[TCP/IP]と[PPP]（本書では[リモートアクセス]）を使用して、お好みの設定ができます。

- ・らくらく自動設定 → 次ページ
- ・お好み手動設定※ → 170 ページ

※この手順は、【らくらく自動設定】で設定した内容を確認する操作としても参照できます。



【お好み手動設定】では、以下のソフトウェアが必要となります。
お使いのパソコンにインストールされていることを確認してください。
(通常、Mac OS 8.6 以降には標準でインストールされています。)

- TCP/IP(インターネットに必要な通信手順)
- PPP

(電話回線を用いてプロバイダにダイヤルアップ接続するためのソフト。
代表的なソフトは Mac OS 8.5 以降の標準ソフト[リモートアクセス]。)

- ・本製品には[TCP/IP]および[PPP]は付属しておりません。パソコン本体に無い場合はお客様各自でご用意願います。
- ・TCP/IP 最新版の入手方法に関しては、アップルコンピュータ株式会社のアップルカスタマーアシスタントセンター(CAC)にお問い合わせください。

らくらく自動設定

ここでは、[インターネット接続アシスタント]を使ったインターネット接続手順について説明します。

1 [インターネット接続アシスタント]を起動します。

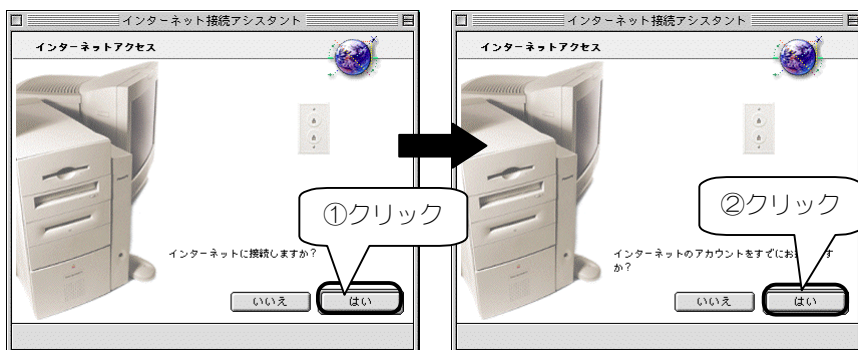
・Mac OS 8.6/9.0/9.0.4 の場合：

起動ディスク(例えば Macintosh HD)→[インターネット]フォルダー→[インターネット接続アシスタント]アイコンを順にダブルクリックします。

・Mac OS 9.1 の場合：

起動ディスク(例えばMacintosh HD)→[Applications(Mac OS 9)]フォルダー→[ユーティリティ]フォルダー→[アシスタント]フォルダー→[インターネット接続アシスタント]アイコンを順にダブルクリックします。

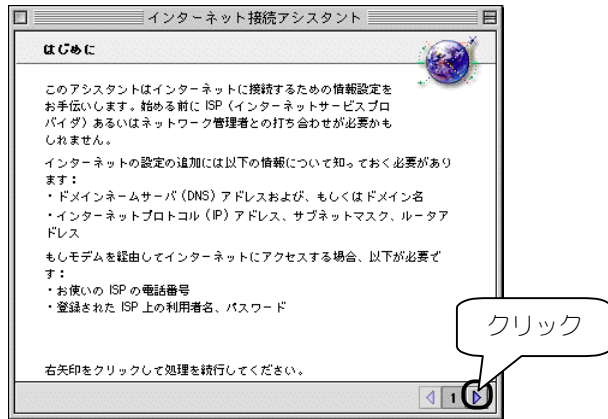
2 [はい]ボタンをクリックして処理を進めます。



「情報がなければ不適切」と表示された場合は…

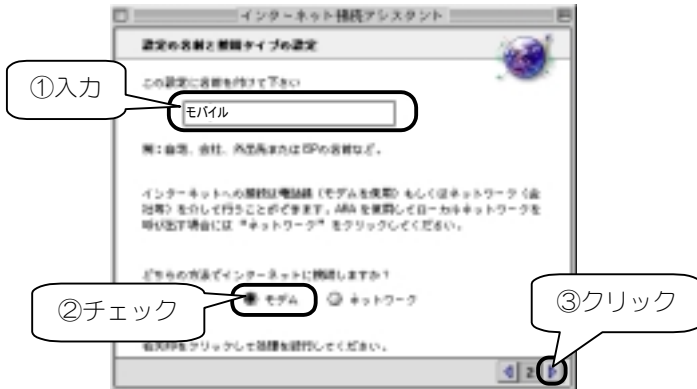
【困ったときには】の
199 ページ
をご参照ください。

3 内容をよくお読みになり、画面右下の[▶]ボタンをクリックします。



4 以下の各設定を行い、画面右下の[▶]ボタンをクリックします。

- ①この設定に任意の名前を入力します。
- ②[モデム]をチェックします。

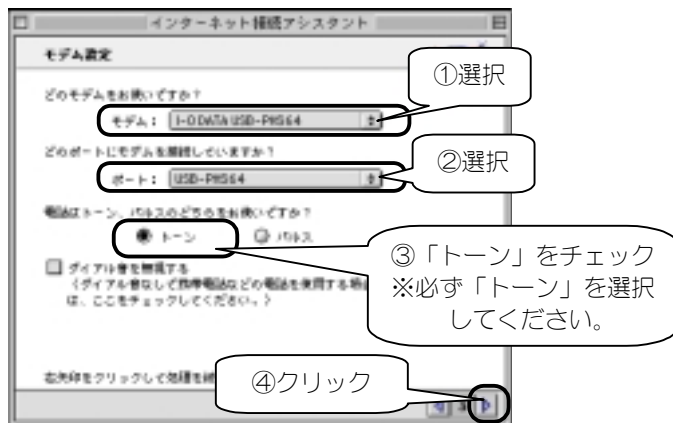


5 以下の各設定を行い、画面右下の[▶]ボタンをクリックします。

①[モデム]: [I-O DATA USB-PHS64]を選択します。

②[ポート]: [USB-PHS64]を選択します。

③[電話は…]は、[トーン]をチェックします。



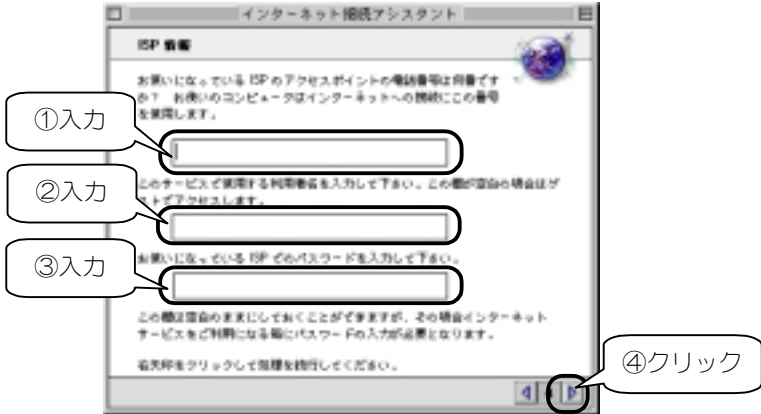
[モデム]に[I-O DATA USB-PHS64]が表示されない場合は…

【困ったときには】の
200 ページ
をご参照ください。

[ポート]に[USB-PHS64]が表示されない場合は…

【困ったときには】の
201 ページ
をご参照ください。

- 6** 以下の各設定を行い、画面右下の[▶]ボタンをクリックします。
- ①アクセスポイントの電話番号を市外局番から入力します。
 - ②ユーザー名を入力します。
 - ③パスワードを入力します。

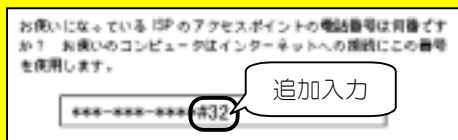


アクセスポイントの電話番号等、入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。



プロバイダがPIAFS 2.0に対応していない場合(プロバイダがPIAFS 1.0のみ対応の場合)、あるいはお使いの場所が64K サービスエリアでない場合

接続先の電話番号の末尾に#32を追加してください。



- 7 後は画面の指示にしたがい適切な内容を設定してから、画面右下の[▶]ボタンをクリックして、処理を進めてください。

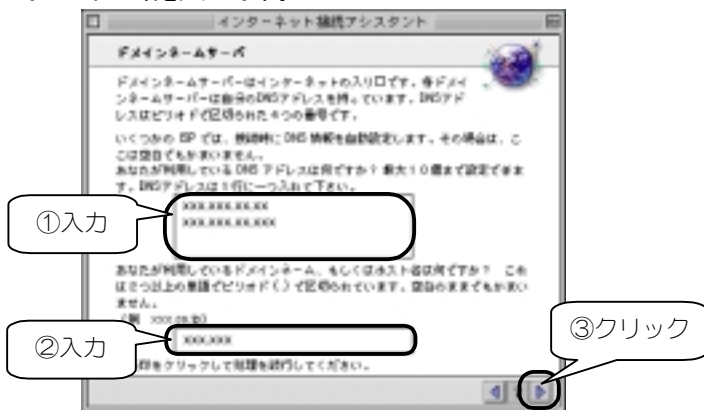


入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は

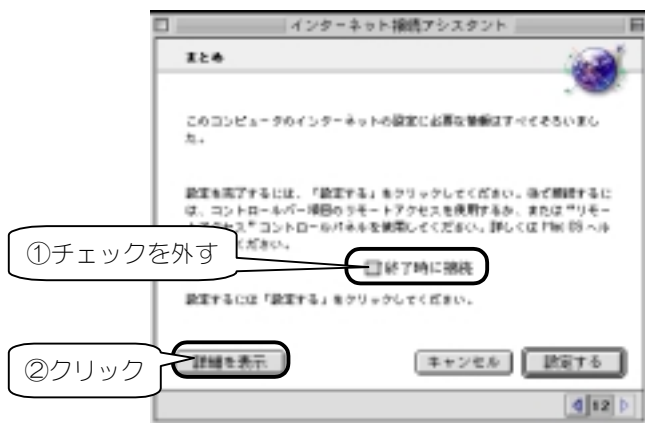
→[ドメインネームサーバ]画面が表示されたら、以下の各設定を行います。

- ①[DNSアドレス]欄には、ネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を改行して(2行になるように)入力します。
- ②[ドメインネーム、またはホスト名]欄には、ご契約のプロバイダのドメインネームまたはホスト名を入力します。

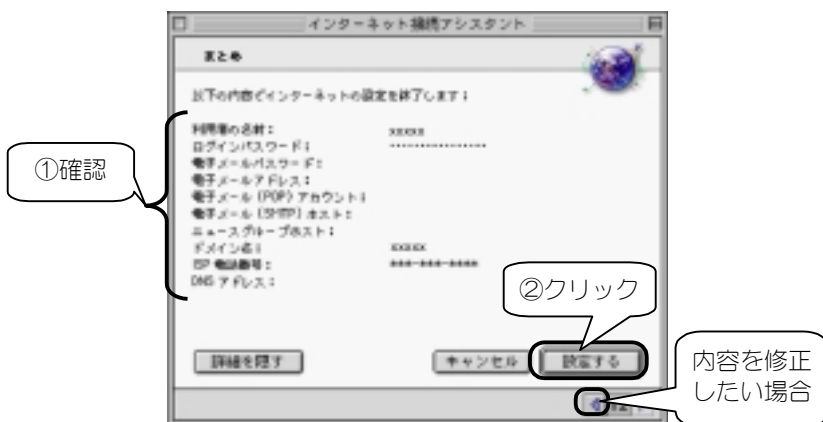


- ③画面右下の[▶]ボタンをクリックして処理を進めてください。

8 [終了時に接続]のチェックを外して、 [詳細を表示]ボタンをクリックします。



9 設定した内容を確認後、「設定する」ボタンをクリックします。 内容を修正したい場合は、画面右下の[◀]ボタンをクリックして、 必要な設定画面に戻り、内容を修正してください。



[ISP 電話番号]欄の「***-***-***」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が市外局番から表示されていることを確認してください。

以上でインターネット接続の準備は完了しました。
176 ページ【インターネットを楽しもう】へお進みください。

お好み自動設定

ここでは、[インターネット接続アシスタント]を使用せず、[TCP/IP]と[PPP]（本書では[リモートアクセス]）を使用した場合のインターネット接続手順について説明します。

※この手順は、[インターネット接続アシスタント]で設定した内容を確認する操作としても参照できます。



【お好み手動設定】では、以下のソフトウェアが必要となります。
お使いのパソコンにインストールされていることを確認してください。

- TCP/IP（インターネットに必要な通信手順）
- PPP

（電話回線を用いてプロバイダにダイヤルアップ接続するためのソフト。
代表的なソフトは Mac OS 8.5 以降の標準ソフト[リモートアクセス]。）

- ・本製品には[TCP/IP]および[PPP]は付属しておりません。パソコン本体に無い場合はお客様各自でご用意願います。
- ・TCP/IP 最新版の入手方法に関しては、アップルコンピュータ株式会社のアップルカスタマーアシスタントセンター(CAC)にお問い合わせください。

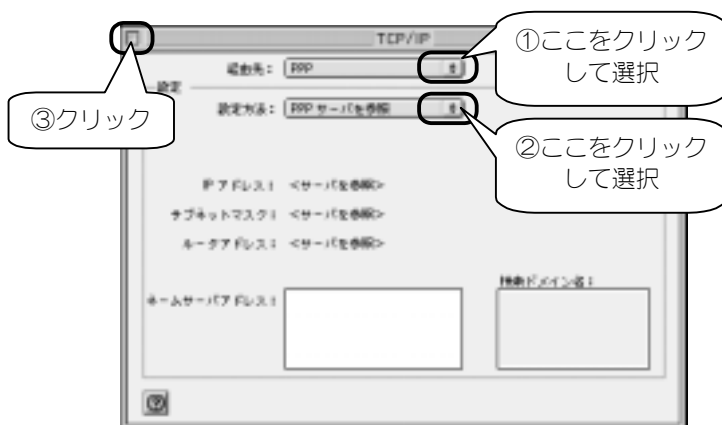
■ [TCP/IP]の設定■

- 1 アップルメニュー→[コントロールパネル]→[TCP/IP]を順にクリックします。
- 2 以下の各設定を行い、画面左上の ☐ ボタンをクリックして画面を閉じます※。

①[経由先]:[PPP]を選択します。

②[設定方法]:[PPP サーバを参照]を選択します。

※この際、「保存しますか?」と聞いてきますので、[保存]ボタンをクリックします。



プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は

→[TCP/IP]画面で、さらに以下の各設定を行います。

- ①[ネームサーバアドレス]欄には、ネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を改行して(2行になるように)入力します。
- ②[検索ドメイン名]欄には、ご契約のプロバイダのドメインネームまたはホスト名を入力します。



入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

以上で[TCP/IP]の設定は終わりです。
引き続き、次ページの【PPP の設定】へ進んでください。

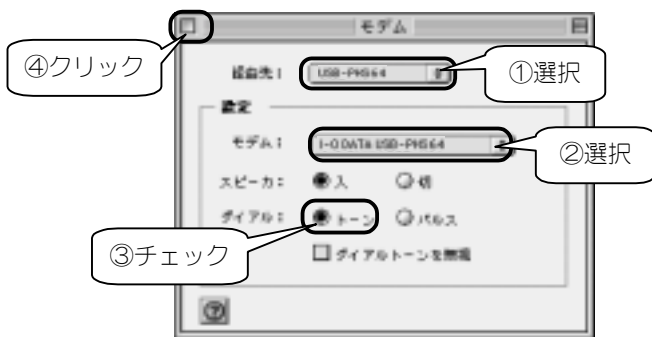
■ [PPP]の設定■

ここでは[PPP]として、[リモートアクセス]を使用する場合の手順を説明します。

1 アップルメニュー→[コントロールパネル]→[モデム]を順にクリックします。

2 以下の各設定を行い、画面左上の  ボタンをクリックして画面を閉じます。

- ①[経由先]:[USB-PHS64]を選択します。
- ②[モデム]:[I-O DATA USB-PHS64]を選択します。
- ③[ダイヤル:]は、[トーン]をチェックします。



[経由先]に[USB-PHS64]
が表示されない場合は…

【困ったときには】の
201 ページ
をご参照ください。

[モデム]に[I-O DATA USB-PHS64]
が表示されない場合は…

【困ったときには】の
200 ページ
をご参照ください。

3 アップルメニュー→[コントロールパネル]→[リモートアクセス]を順にクリックします。

4 以下の各設定を行い、[オプション]ボタンをクリックします。

- ①[名前]: ご契約のプロバイダから案内されたユーザー名を入力します。
- ②[パスワード]: ご契約のプロバイダから案内されたパスワードを入力します。
- ③[電話番号]: アクセスポイントの電話番号を市外局番から入力します。



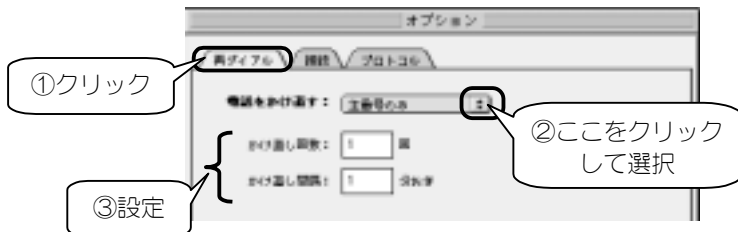
アクセスポイントの電話番号等、入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。



プロバイダがPIAFS 2.0に対応していない場合(プロバイダがPIAFS 1.0のみ対応の場合)、あるいはお使いの場所が64K サービスエリアでない場合
接続先の電話番号の末尾に#32を追加してください。

5 [再ダイヤル]タブをクリックして、以下の各設定を行います。

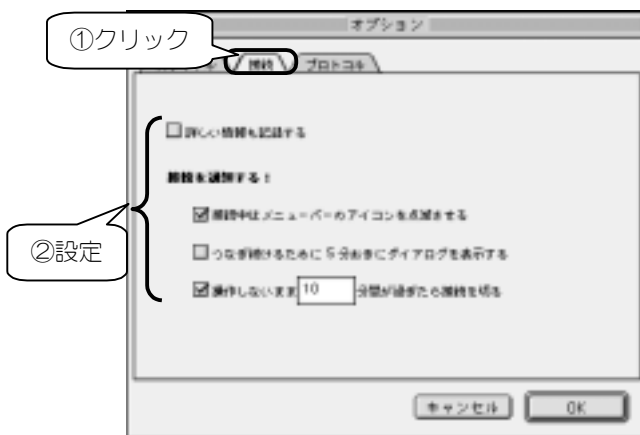
- ・[電話をかけ直す]:[主番号のみ]を選択します。
- ・[かけ直し回数]: 任意の回数を設定します。
- ・[かけ直し間隔]: 任意の時間を設定します。



※OSによっては画面が違います。「切」にしてください。

6 [接続]タブをクリックして、以下の各設定を行います。

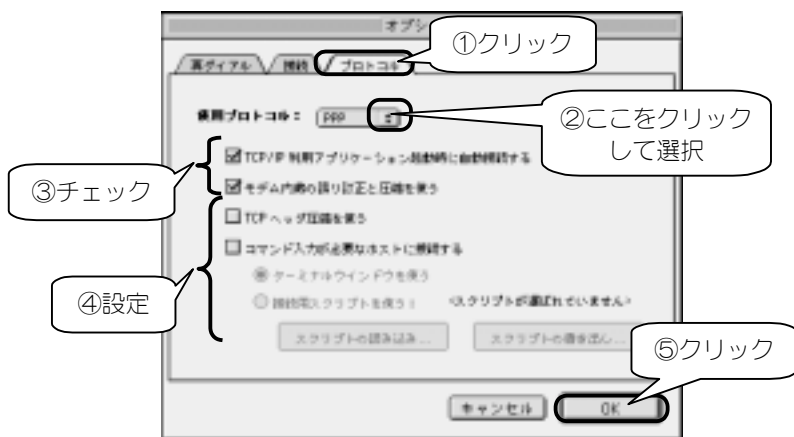
- ・[詳しい情報も記録する]: 通常はチェックしません
- ・[接続中はメニューバーのアイコンを点滅させる]: 接続時、アップルメニューのりんごマークが点滅するように設定します。
- ・[つなぎ続けるために5分おきにダイアログを表示する]: 通常はチェックしません。
- ・[操作しないまま ☐ 分間が過ぎたら接続を切る]: 任意の時間を設定します。



※OSによっては画面が違いますが、同様に設定してください。

7 [プロトコル]タブをクリックして、以下の各設定を行います。 設定後、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。

- ・[使用プロトコル]:[PPP]を選択します。
- ・[TCP/IP 利用アプリケーション起動時に自動接続する]:チェックします。
(オートダイヤルの設定です。)
- ・[モデム内蔵の誤り訂正と圧縮を使う]:チェックします。
- ・[TCPヘッダ圧縮を使う][コマンド入力が必要なホストに接続する]:ご契約のプロバイダにご確認ください。



※OSによっては[使用プロトコル]が表示されない場合があります。

以上で、インターネット接続の準備は完了しました。
次ページの【インターネットを楽しもう】を参照して、さっそくインターネットに接続しましょう。

ステップ 3

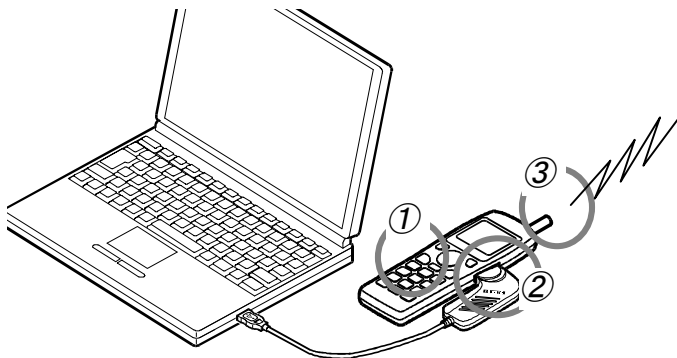
インターネット接続編

インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、携帯電話を操作する必要は特にありませんが、毎回以下を確認してからインターネットに接続してください。



チェック①: 携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②: 携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③: 携帯電話の電波の状態

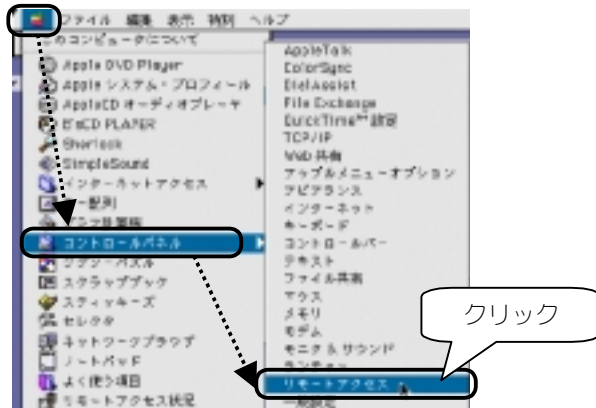
携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。



携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

- 1 アップルメニュー→[コントロールパネル]→[リモートアクセス]をクリックします。



- 2 内容を確認して、[接続]ボタンをクリックします。



[電話番号]欄の「***-***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が市外局番から表示されていることを確認してください。



プロバイダが PIAFS 2.0 に対応していない場合 (プロバイダが PIAFS 1.0 のみ対応の場合)、あるいはお使いの場所が 64K サービスエリアでない場合

接続先の電話番号の末尾に#32を追加してください。

3 [状況]欄に以下のように表示されたら、接続完了です。

表示される速度は環境により異なります。

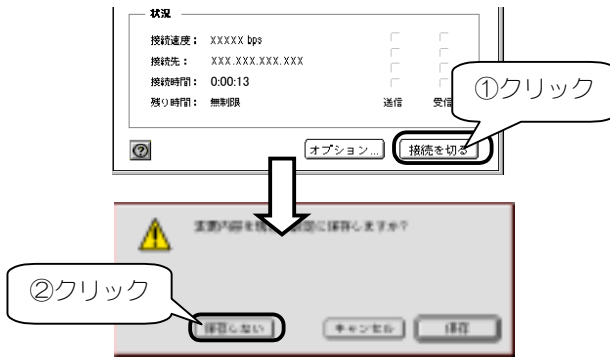
[状況]欄に「この電話番号は話中です」と表示される場合は…

【困ったときには】の
198 ページ
をご参照ください。

※その他のエラーについても 198 ページを参照してください。

4 ブラウザや電子メールを開いて、インターネットをお楽しみください。

5 インターネットご利用後、[接続を切る]ボタンをクリックします。 これで携帯電話の通話が切断され、通信が終了します。



注意

- ・変更内容とは、前ページ2 の手順の内容です。接続先の電話番号やユーザー名(名前)、パスワードなどを変更してから接続した場合は[保存]ボタンをクリックしてください。次回からその内容が最初に表示されます。
- ・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[接続を切る]ボタンをクリックしてください。携帯電話を確認して、通話が終わっていること、また、[状況]欄が[待機しています]となっていることを必ずご確認ください。
- ・ここで表示される接続速度はパソコンと本製品間の通信速度になります。
- ・携帯電話の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。
- ・本製品と他の USB 機器(USB スピーカーや USB モデムなど)を同時に使用すると、処理速度が遅くなったり、送受信時にデータ抜けが発生する可能性があります。通信中にはそれらの USB 機器を使用しないことをおすすめします。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

ステップ 4

インターネット接続編

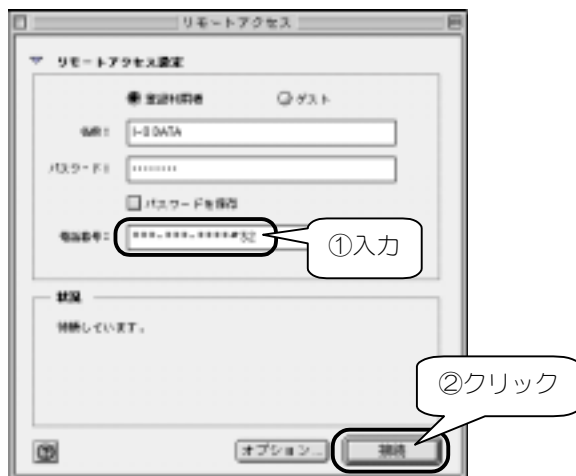
通信方式を変更する場合

本製品は「PIAFS 1.0 版」(32Kbps)と「PIAFS 2.0 版」(64Kbps)の2つの通信方式に対応していますが、ご購入時の初期設定は「PIAFS 2.0 版」に設定されています。

携帯電話がPIAFS 2.0 版に未対応の場合、あるいはお使いの場所が64K サービスエリアでない場合などは、以下の方法で通信方式を変更してください。

- 1 アップルメニューから[コントロールパネル]→[リモートアクセス]をクリックします。
- 2 [リモートアクセス]画面の[電話番号]欄に以下の文字を電話番号の末尾に半角で入力します。
入力後、画面右上のチェックボックスをクリックします。

保存したい通信方式	電話番号の末尾に追加する文字
PIAFS 1.0 版	#32
PIAFS 2.0 版	電話番号だけにする



(上記の画面は PIAFS 1.0 版で通信する場合の設定例)

- 3 以下の画面が表示されますので、
[保存]ボタンをクリックします。



MEMO

付録1

困ったときには

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。

困ったときには(もくじ)

・インストール時のトラブル(Windows 編)

状態	参照頁
本製品の USB コネクタがパソコンの USB ポートに入らない	185
本製品を接続してもインストール画面が表示されない	
ケーブルが電話機の接続コネクタに入らない	187
「お使いのデバイスに関する情報が見つかりませんでした」と表示された	
「関数ドライバがこのデバイスインスタンスに指定されなかったためインストールが失敗しました」とインストールの途中で表示された (Windows 2000 のみ)	
「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」と表示された	188
[デバイスマネージャ]の[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]や[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の確認で、[I-O DATA USB-PHS64 Modem]が表示されない	
[デバイスマネージャ]の[モデム]の確認で、[I-O DATA USB-PHS64]が表示されない、または、先頭に「！」マークが付いている	
端末速度設定時に[電話とモデムのプロパティ](または[モデムのプロパティ])に、[I-O DATA USB-PHS64]が表示されない、または、先頭に「！」マークが付いている	189

状態	参照頁
端末速度設定時に、「ポートが開けません」または[ポートが開かれています]と表示されたり、応答がない	189

・インターネット接続時のトラブル(Windows 編)

状態	参照頁
ダイヤルアップネットワークが表示されない(Windows Me/98)	190
ダイヤルアップアダプタや TCP/IP が表示されない (Windows Me/98)	192
[回線が使用中です]と表示された	194
[発信音が聞こえません]と表示された	
[ダイヤル先のコンピュータが応答しません]と表示された	195
[ダイヤル先のコンピュータから切断されました]と表示された	197
接続動作はするようだが、[ダイヤルアップ接続モニター]や[接続インジケータ]が表示されない	

・インターネット接続時のトラブル(Mac OS 編)

状態	参照頁
[状況]欄に[この電話番号は話し中です]と表示された	198
[利用者として認証されませんでした]と表示された	
[お使いのモデムが正しく応答しません]と表示された	199
[情報がないか不適切]と表示された	
[搬送波が検出されませんでした]と表示された	200
[モデム]欄に[!-O DATA USB-PHS64]と表示されない	
[経由先]([ポート])欄に[USB-PHS64]と表示されない	201

・その他のトラブル

状態	参照頁
通信ソフトが起動できない	202
AT コマンドを使用して通信できない	

インストール時のトラブル

(Windows 編)

本製品の USB コネクタがパソコンの USB ポートに入らない

原因	本製品の USB コネクタの向きが正しくない。
対処	コネクタの向きを変えて、もう1度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのに大きな力を加える必要はありません。

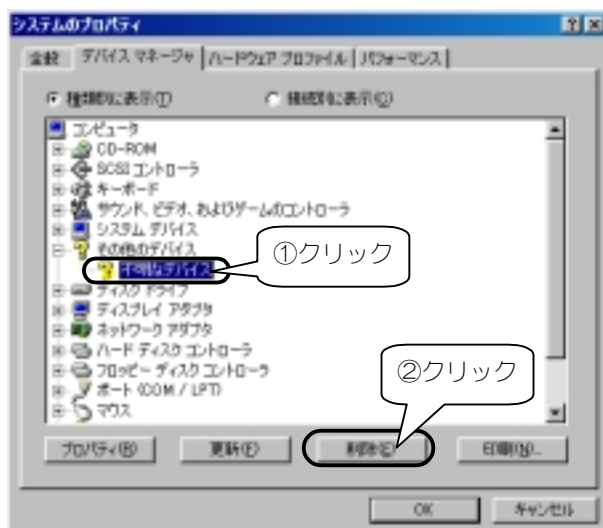
本製品を接続してもインストール画面が表示されない

原因	パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。
対処	パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささっていることを確認してください。

原因2	すでにインストール済みである。
対処	本製品を1度インストールすると、本製品の USB コネクタを差しこんでも「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面は表示されません。USB コネクタを差し込むだけで接続準備完了となります。

原因3	本製品が誤認識されている。
対処	1.本製品を差したまま、【インストールは正常ですか？】(Windows 2000 は 18 ページ、Windows Me は 68 ページ、Windows 98 は 113 ページ)の手順 1、2を行います。 2.[その他のデバイス]が表示されていれば、その下に表示されている[不明なデバイス]または[USB Device]を選択して、[削除]ボタンをクリックします。(次ページ画面) もしくは、[モデム]か[USB コントローラ]に[USB-PHS64]の表示がある場合は、その表示を選択して削除してください。 (次ページへ)

対処



※[その他のデバイス]が表示されていない場合は、[接続別に表示]をチェックして、[USB コントローラ]の下に、[不明なデバイス]または[USB Device]がどうか探します。あれば、そのデバイスを選択して、[削除]ボタンをクリックします。

3.削除後、本製品をパソコンから取り外します。

4.(この4の手順はお使いの OS が Windows 2000 の場合のみ行います。)

- ・[スタート]-[検索]-[ファイルやフォルダ]を選択します。
- ・以下の条件を設定し、[検索開始]を実行してください。

[含まれる文字列] USB-PHS64

[探す場所] C:¥WINNT¥INF

※Windows 2000 がインストールされているドライブが C: の場合

- ・検索で「oemxx.INF」というものが見つかりましたら、そのファイルを削除してください。

(検索でファイルが見つからなかった場合は、この操作はそのまま終了してください。)

5.以上で誤認識された情報が削除されますので、改めて本製品をパソコンに接続します。

6.ウィザード画面が表示されたら、【インストールする】

(Windows 2000 は 7 ページ、Windows Me は 61 ページ、Windows 98 は 105 ページ)を参照して、インストールしてください。

ケーブルが電話機の接続コネクタに入らない

原因1	電話機の接続コネクタにカバーがかかっている。
対処	接続コネクタにはカバーがかかっている場合があります。カバーを開けてから差し込んでください。カバーの開け方は、電話機の取扱説明書を参照してください。
原因2	本製品のコネクタの向きが正しくない。
対処	コネクタの向きを変えて、もう1度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのに大きな力を加える必要はありません。
原因3	電話機の接続コネクタが違う。
対処	接続コネクタの位置は、電話機の取扱説明書を参照してください。

「お使いのデバイスに関する情報が見つかりませんでした」と表示された

原因	USB ポートに問題がある。
対処	拡張ボードなどの USB ポートでなく、パソコン本体の USB ポートに差し込んでみてください。 また、USB ハブの場合、他の USB ポートに差すか、別の USB ハブに変えてみてください。差し込んだときに表示される画面 (Windows 2000 は 10 ページ、Windows Me は 64 ページ、Windows 98 は 108 ページ参照)を確認し、インストールをすすめてください。

「関数ドライバがこのデバイスインスタンスに指定されなかったためインストールが失敗しました」とインストールの途中で、表示された

(Windows 2000 のみ)

原因	以前に誤って Windows Me や Windows 98 用のドライバでインストールをした。それ以降は Windows 2000 用のドライバでインストールすると、このエラーが発生します。
対処	【本製品を接続してもインストール画面が表示されない】の項目の【本製品が誤認識されている】(185 ページ)の【対処】を参照して、もう1度 Windows 2000 用のドライバをインストールしてください。

「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」と表示された

原因	検索場所の指定が間違っている。
対処	[戻る]ボタンを押して、「USB-PHS64 サポートソフト」CD-ROM が CD-ROM ドライブにセットされているか確認して、もう一度、検索場所の指定を行ってください。

[デバイスマネージャ]の[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]や[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の確認で、[I-O DATA USB-PHS64 Modem]が表示されない

原因1	パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。
対処	一度 USB ポートから本製品を抜き、もう一度パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささるように取り付け直してみてください。

原因2	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】(208 ページ)を実行し、いったんインストールしたサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】(Windows 2000 は 7 ページ、Windows Me は 61 ページ、Windows 98 は 105 ページ)を参照して、インストールをやり直してください。

[デバイスマネージャ]の[モデム]の確認で、[I-O DATA USB-PHS64]が表示されない、または、先頭に「！」マークが付いている

原因1	パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。
対処	一度 USB ポートから本製品を抜き、もう一度パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささるように取り付け直してみてください。

原因2	本製品が誤認識されている(表示されない場合)。
対処	【本製品を接続してもインストール画面が表示されない】の項目の【本製品が誤認識されている】(185 ページ)の【対処】を参照してください。

原因3	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】(208 ページ)を実行し、いったんインストールしたサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】(Windows 2000 は 7 ページ、Windows Me は 61 ページ、Windows 98 は 105 ページ)を参照して、インストールをやり直してください。

端末速度設定時に、[電話とモデムのプロパティ] (または[モデムのプロパティ])に、[I-O DATA USB-PHS64]が表示されない、または、先頭に「！」マークが付いている

原因	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】(208 ページ)を実行し、いったんインストールしたサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】(Windows 2000 は 7 ページ、Windows Me は 61 ページ、Windows 98 は 105 ページ)を参照して、インストールをやり直してください。

端末速度設定時に、[ポートが開けません]または[ポートが開かれています]と表示された

原因1	パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。
対処	一度 USB ポートから本製品を抜き、もう一度パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささるように取り付け直してみてください。

原因2	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】(208 ページ)を実行し、いったんインストールしたサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】(Windows 2000 は 7 ページ、Windows Me は 61 ページ、Windows 98 は 105 ページ)を参照して、インストールをやり直してください。

原因3	他のアプリケーションが本製品に割り当てられた COM ポートを既に利用中である。
対処	他のアプリケーション (COM ポートを選択して利用するようなアプリケーションソフトやツール) を削除 (アンインストール) するか、それらのアプリケーションが他のポートを利用するように、アプリケーション側で設定を変更してください。

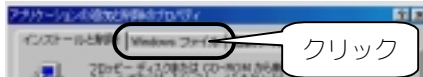
インターネット接続時のトラブル (Windows 編)

[ダイヤルアップネットワーク]が表示されない (Windows Me/98)

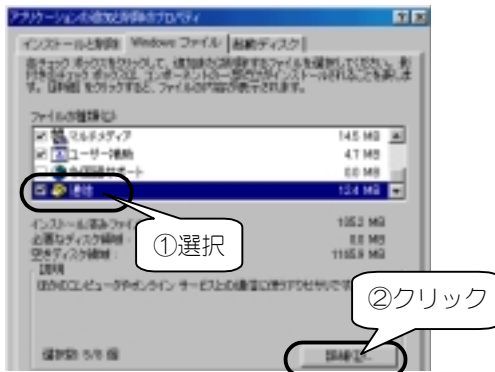
原因	ダイヤルアップネットワークがインストールされていない。
対処	以下の手順でダイヤルアップネットワークをインストールします。

■ダイヤルアップネットワークのインストール手順

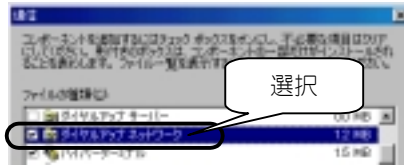
- 1 [アプリケーションの追加と削除]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。
- 2 [Windowsファイル]タブをクリックします。
表示が切り替わるまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。



- 3 [通信]を選択し、[詳細]ボタンをクリックします。

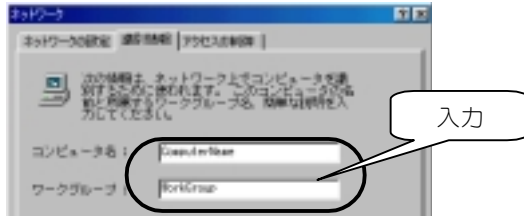


- 4 [ダイヤルアップネットワーク]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



- 5 手順3 の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックします。
Windows の CD-ROM を用意し、画面の指示にしたがって処理を進めます。

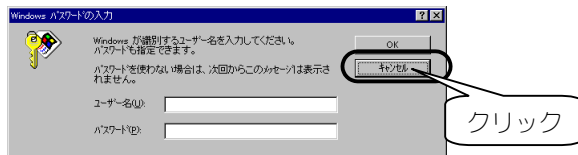
- 6 以下の画面になったら、[コンピュータ名]と[ワークグループ]名を入力し、[閉じる]ボタンをクリックします。これらの名称はインターネットを使うときには使用しないので、適当な名称を入力してください([コンピュータの説明]は省略可)。



- 7 [OK]ボタンをクリックします。
インストールが終わったら、パソコンを再起動します。
[ケーブル接続]はインターネットを使うときには不要ですので、インストールは行いません。



- 8 Windows が再起動すると、下記の画面が表示されるので、[キャンセル]ボタンをクリックします。



[ダイヤルアップアダプタ]や[TCP/IP]が表示されない

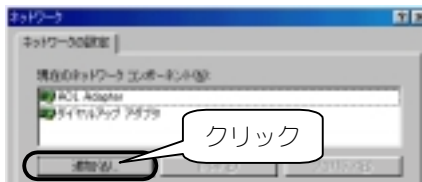
(Windows Me/98)

原因	TCP/IP がインストールされていない。
対処	以下の手順で TCP/IP をインストールします。

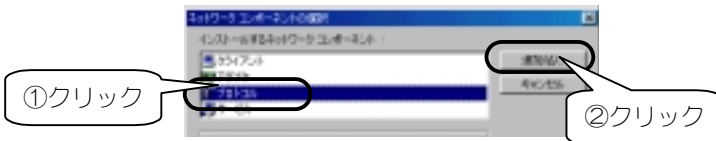
■[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]の両方の表示が無い場合のインストール手順

以下の手順で[TCP/IP]をインストールすることによって、両方とも([ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP])がインストールされます。

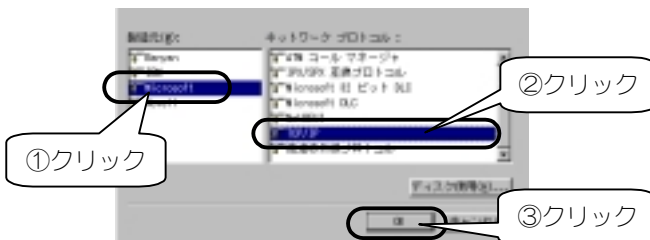
- 1 [ネットワーク]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
- 2 [追加]ボタンをクリックします。



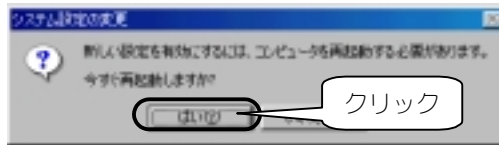
- 3 [プロトコル]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



- 4 [Microsoft]の[TCP/IP]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって、処理を進めてください。

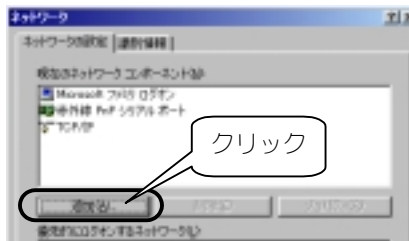


- 5 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。

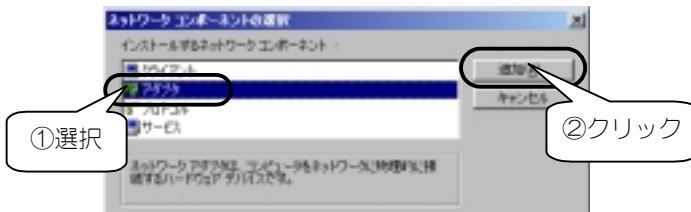


■[ダイヤルアップアダプタ]のみ表示が無い場合のインストール手順

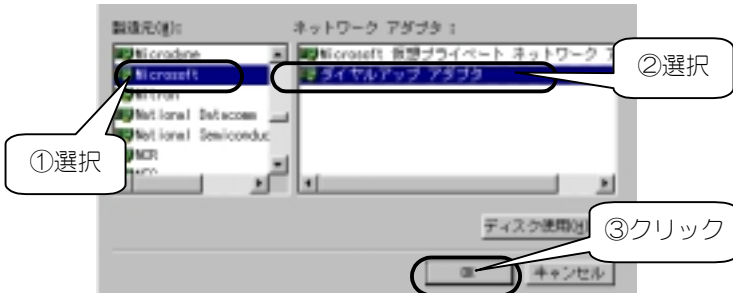
- 1 [ネットワーク]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
- 2 [追加]ボタンをクリックします。



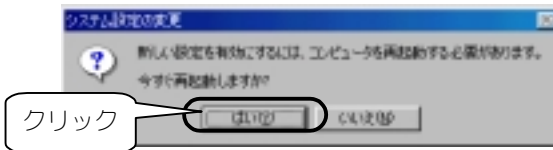
- 3 [アダプタ]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



- 4 [Microsoft]の[ダイヤルアップアダプタ]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって、処理を進めてください。



- 5 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



[回線が使用中です]と表示された

原因	接続先のアクセスポイントが混雑している。
対処	[OK]ボタンをクリックし、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンをクリックします。 時間をおいてもう1度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。

[発信音が聞こえません]と表示された

原因1	電話機の電源が入っていない。
対処	[OK]ボタンをクリックし、電話機の電源を入れてからもう1度接続してください。
原因2	電話機の接続コネクタに、本製品が正しく接続されていない。
対処	[OK]ボタンをクリックし、電話機の接続コネクタをきちんと差し込んでから(カチッと音がするまで)もう1度接続してください。

原因3	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】(208 ページ)を実行し、いったんインストールしたサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】(Windows 2000 は 7 ページ、Windows Me は 61 ページ、Windows 98 は 105 ページ)を参照して、インストールをやり直してください。

原因4	モデムの設定で、本製品が選択されていない。
対処	【設定を変更するとき】の手順 3 (Windows 2000 は 40 ページ、Windows Me は 88 ページ、Windows 98 は 134 ページ)を参照して、[接続の方法]欄で [I-O DATA USB-PHS64]を選択してください。

原因5	ダイヤル方式に[パルス]が選択されている。
対処	【発信情報を設定する】(Windows 2000 は 24 ページ、Windows Me は 74 ページ、Windows 98 は 119 ページ)を参照して、ダイヤル方式に[トーン]を選択してください。

[ダイヤル先のコンピュータが応答しません]と表示された

原因1	[ダイヤルのプロパティ]画面で設定した市外局番が「000」になっていない。
対処	[OK]ボタンをクリックし、接続画面が表示されたら、[ダイヤルのプロパティ]ボタン (Windows 2000 は[プロパティ]ボタン)をクリックして、[市外局番]欄を「000」にしてください。

原因2	接続先の電話番号が違っている。
対処	[OK]ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンをクリックします。 接続アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選び、正しい電話番号を(市外局番を含めて)確認してください。 ※プロバイダに接続先の電話番号を確認してください。

原因3	接続先の電話番号が、PIAFS2.1 方式のアクセスポイントである。
対処	本製品はPIAFS2.1方式に未対応です。 PIAFS2.0方式のアクセスポイントに接続するか、またはPIAFS1.0方式のアクセスポイントに32kbpsで接続※してください。PIAFS2.0に対応しているかについては、ご契約しているプロバイダにご確認ください。 ※【通信方式を変更する場合】(Windows 2000 は 55 ページ、Windows Me は 100 ページ、Windows 98 は 145 ページ)を参照して、電話番号の末尾に「#32」を追加入力して、32kbps で接続してください。

原因4	接続先のアクセスポイントが混雑している。
対処	[OK]ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンを押します。 時間をおいてもう1度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。 無い場合、電話番号の末尾に #32 (すべて半角)を付加してご使用ください。

原因5	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】(208 ページ)を実行し、いったんインストールしたサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】(Windows 2000 は 7 ページ、Windows Me は 61 ページ、Windows 98 は 105 ページ)を参照して、インストールをやり直してください。

[ダイヤル先のコンピュータから切断されました]と表示された

原因1	接続先の電話番号が違っている。
対処	[OK]ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンを押します。 接続アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選び、正しい電話番号を(市外局番を含めて)入力してください。 ※接続先の電話番号が携帯電話でご利用可能な電話番号かを確認してください。(PIAFS 2.0 または PIAFS 1.0 対応の電話番号かもプロバイダに確認してください。)

原因2	パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。
対処	一度 USB ポートから本製品を抜き、もう一度パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささるように取り付け直してみてください。

接続動作はするようだが、[ダイヤルアップ接続モニタ]や[接続インジケータ]が表示されない

原因	接続先の電話番号が違っている。
対処	接続画面で、正しい電話番号を(市外局番を含めて)確認してください。 ※正しい電話番号は、プロバイダに確認してください。

インターネット接続時のトラブル (Mac OS 編)

状況欄に[この電話番号は話し中です]と表示された

原因1	本製品に取り付けた電話機の「通話」ボタンをクリックしている。
対処	「HOLD」で通話を切り、電話機を切ってから、再度、通信ソフトの[接続]ボタンをクリックしてください。
原因2	接続先の電話番号が違っている。
対処	[OK]ボタンをクリックして、接続画面が表示されたら、正しい電話番号を(市外局番を含めて)確認してください。 ※正しい電話番号は、プロバイダに確認してください。
原因2	ダイヤル方法(トーン)の指定が違っている。
対処	ダイヤル方法が「トーン」になっているか確認してください。 ・インターネット接続アシスタント: 166 ページ手順 5 ・PPP ダイアラ: 172 ページ手順 2
原因4	接続先のアクセスポイントが混雑している。
対処	時間をおいてから、再度[接続]ボタンをクリックするか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を入力してから[接続]ボタンをクリックしてください。

[利用者として認証されませんでした]と表示された

原因	ユーザー名やパスワードが違っている。
対処	[OK]ボタンをクリックしてください。アルファベットの太文字や小文字に注意してユーザー名やパスワードを入力し、[接続]ボタンをクリックしてください。正しく入力してもこの画面が表示されるようなら、プロバイダにユーザー名やパスワードを確認してください。

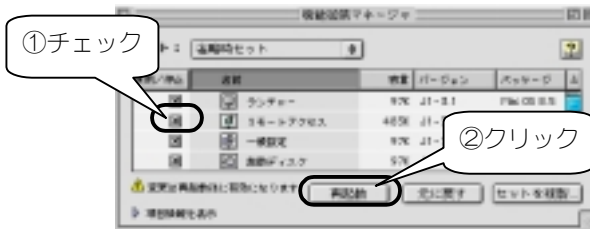
「お使いのモデムが正しく応答しません」と表示された

原因1	本製品が正しく接続されていない。
対処	[OK]ボタンをクリックしてください。 本製品が正しく USB ポートに差されているかどうか、ケーブルが正しく電話機に接続されているかどうかをご確認ください。 正しく接続後、再度[接続]ボタンをクリックします。
原因2	ダイヤラでの設定が正しく行われていない。
対処	経路先やモデムの選択が正しく行われているか、確認してください。(166 ページおよび 172 ページ参照)

「情報がないか不適切」と表示された

原因	接続に必要なソフトウェア「リモートアクセス」がインストールされていない。
対処	画面を閉じると、「本当に終了してよろしいですか」と表示されるので、[終了]ボタンをクリックします。 以下の操作を行って「リモートアクセス」をインストールしてください。

- 1 アップルメニューから[コントロールパネル]→[機能拡張マネージャ]を開きます。
- 2 「リモートアクセス」に[×]印をつけて、[再起動]ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって、インストールを行ってください。



[搬送波が検出されませんでした]と表示された

原因1	本製品が正しく接続されていない。
対処	[OK]ボタンをクリックしてください。 本製品が正しく USB ポートに差されているかどうか、ケーブルが正しく電話機に接続されているかどうかをご確認ください。 正しく接続後、再度[接続]ボタンをクリックします。
原因2	本製品のケーブルとご利用の電話機との接続に問題がある。
対処	[OK]ボタンをクリックして警告画面を閉じてください。 電話機をいったん取り外し、接続し直してみてください。正しい接続後、再度[接続]ボタンをクリックします。
原因3	接続先の電話番号が違っている。
対処	プロバイダに接続先の電話番号をご確認ください。 (本製品は、PIAFS1.0(32kbps)、PIAFS2.0(64kbps)に対応しています。) 一部地域では、PIAFS2.0(64kbps)サービスをご利用いただけません。 その場合は、PIAFS1.0(32kbps)に対応した電話番号をご利用ください。
原因4	接続先アクセスポイントが PIAFS2.0(64kbps)対応の場合でも、電話機を使用する場所によっては、最寄りの基地局の状況や時間帯により、64kbps 通信ができない場合がある。
対処	可能であれば、 ・時間帯を変えて接続してみる。 ・場所を移動して接続してみる。 ・PIAFS1.0(32kbps)に対応した電話番号で接続してみる。 以上についてお試しください。 データ通信の場合、アンテナレベルが3本立っている状況にて、ご使用ください。

[モデム]欄に[I-O DATA USB-PHS64]と表示されない

原因	[I-O DATA USB-PHS64]が[システム]フォルダの[機能拡張]フォルダ内の[Modem Script]にコピーされていない。
対処	[I-O DATA USB-PHS64]を[システム]フォルダの[機能拡張]フォルダ内の[Modem Script]にコピーしてください。 【設定ファイルをコピーする】(156 ページ)を参照。

[経由先]([ポート])欄に[USB-PHS64]と表示されない

原因1	[USB-PHS64]が[システム]フォルダの[機能拡張]フォルダにコピーされていない。
対処	[USB-PHS64]を[システム]フォルダの[機能拡張]フォルダにコピーしてください。 【設定ファイルをコピーする】(156 ページ)を参照。
原因2	本製品が正しく接続されていない。
対処	本製品が正しく USB ポートに差されているかどうか、ケーブルが正しく電話機に接続されているかどうかをご確認ください。

その他のトラブル

通信ソフトが起動できない

原因	通信ソフトの起動方法などが正しくない。
対処	インターネットへの接続が正しく動作すれば、通信ソフト側の問題が考えられます。通信ソフトの取扱説明書などをご参照ください。

AT コマンドを使用して通信できない

原因	AT コマンドに対するリザルトコードにより、エラー障害の切り分けができません。リザルトコードとは、エコーバックと呼ばれる応答信号のことです。
対処	リザルトコードの種類によって、以下のように、エラーの回復を試みてください。 ATコマンドに関しては、「USB-PHS64サポートソフト」CD-ROM内の¥manualフォルダ内のReadme.txtファイルを参照してください。 ※AT コマンドでの操作を行うためには、別途ターミナルソフトをご用意いただく必要があります。(Windows の場合は、次ページ参照)

1. ERROR

ATコマンドに誤りがあります。マニュアルをよく呼んで、パラメータなどをチェックしてください。

2. NO CARRIER

ダイヤルコマンドを入力した時このエコーが表示された時は、回線が接続されていないか、こちらの呼び出しに対して接続先が応答信号を返さない状態です。まず、本製品が正しく電話機やパソコンに接続されているかを確認してみてください。

補足1:AT コマンドによる通信の動作確認

通信できない、あるいはモデムが正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、例えば、以下の手順のように Windows 標準の「ハイパーターミナル」で操作をためすことができます。(以下の画面は Windows Me の例です。)

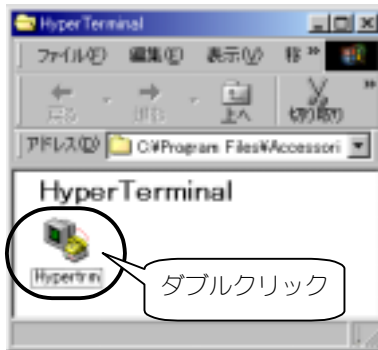
- 1 「ハイパーターミナル」を起動します。
[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]を順にクリックします。



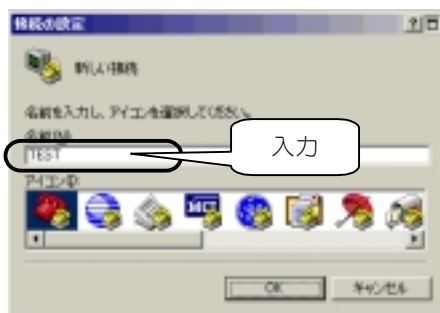
参考

メニュー内に[ハイパーターミナル]が無い場合は、[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]の[Windows ファイル]タブ(Windows NT 4.0 では、[Windows NT セットアップ]タブ)から追加してください。

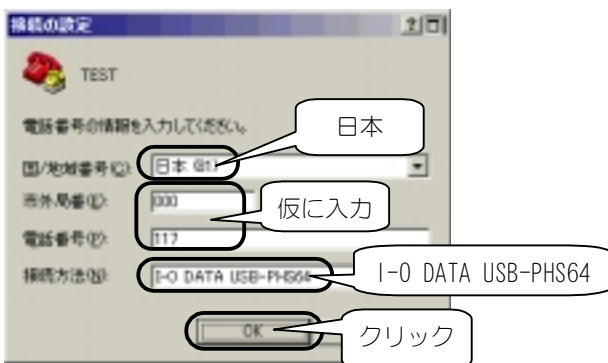
- 2 Windows 98 の場合は、[HyperTerminal]画面が表示されます。
[Hypertrm]アイコンをダブルクリックします。



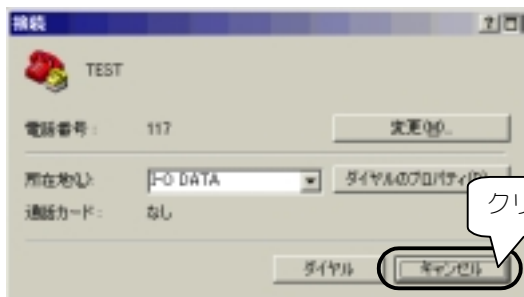
- 3 [名前]に適当な名前(例:TEST)を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



- 4 以下を設定して[OK]ボタンをクリックします。



- 5 [キャンセル]ボタンをクリックします。



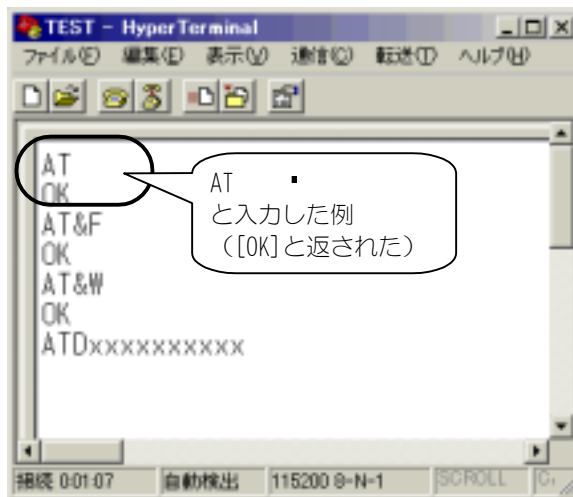
6 [ハイパーターミナル]画面が表示されます。

7 [ハイパーターミナル]画面内にATコマンドを入力して通信動作を確認することができます。

以下の画面例は、以下の AT コマンドを入力した例です。

※これらの文字は、半角文字で入力する必要があります。

AT ▪
AT&F ▪
AT&W ▪
ATDxxxxxxxxxx ▪



付録2

サービス品について

本製品には Lotus NOTES で使用できるためのソフトウェア（Windows 98 のみ対応）が添付されています。



Lotus NOTES の使用方法については、弊社ではサポートしておりません。

Lotus NOTES でモバイル通信をしたい

（Windows 98 のみ対応）

サポートソフト CD-ROM 内に Lotus NOTES 用のモデムファイルが入っていますので、そちらをご利用ください。利用方法は以下の通りです。

- 1** サポートソフト CD-ROM 内の [Win98] フォルダに入っている「USB64.MDM」というファイルを、Lotus Notes がインストールされているフォルダの notes¥data¥modems フォルダの中にコピーしてください。
- 2** 次に、Lotus NOTES を起動し、以下のような設定を行います。
 1. [ファイル]→[ツール]→[ユーザープリファレンス...] を選択します。
 2. [ポート] をクリックします。
※接続されているポートを確認するには、[コントロールパネル]→[モデム]を開き、[モデムのプロパティ]画面の[検出結果]タブをクリックし、[I-O DATA USB-PHS64]が割り当てられているCOM番号をご確認ください。
 3. 本製品が接続されているポート（例えばCOM3）を選択します。

4. 必要に応じて[ポートを有効にする]をチェックしてポートを使用可能にします。
5. [ポートオプション]をクリックします。
ポートは、接続されているポート名です。例えば、[COM3オプション]となります。
6. モデムの種類を選択します。
7. 追加するモデム設定があれば追加します。特になければ省略しても結構です。
8. [OK]ボタンをクリックします。
9. [OK]ボタンをクリックして、[ユーザープリファレンス]画面を閉じます。

※Lotus NOTES についてはロータス社にお問い合わせください。



- ・PIAFS 2.0 方式の対応機種で、PIAFS 1.0 方式のアクセスポイントへ接続する場合は、電話番号の末尾に「#32」を追加してください。
- ・接続する相手が PIAFS 2.0 あるいは PIAFS 1.0 のいずれかに対応している必要があります。

付録3

インストールしたソフトを 削除するには

本製品のサポートソフトのインストールをもう1度やり直すときは、インストールした「サポートソフト」を削除（アンインストール）してから行う必要があります。

ここでは、その削除方法（アンインストール方法）について説明します。

削除方法は使用しているOSによって異なりますので、以下の使用しているOSのページを参照ください。

Windows 2000 で削除する場合

→ 【Windows 2000 での削除】(次ページ)～

Windows Me/98 で削除する場合

→ 【Windows Me/98 での削除】(210 ページ)～

Mac OS で削除する場合

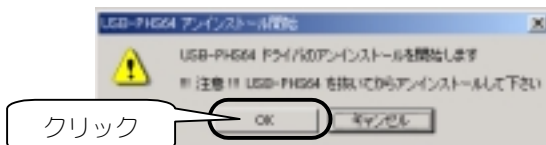
→ 【Mac OS での削除】(211 ページ)～

Windows 2000 での削除

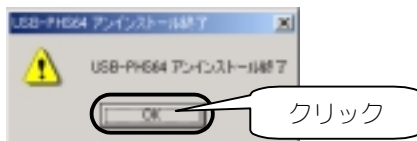
- 1 本製品が使用中ではないことを確認し、パソコンのUSBポートから本製品のケーブルを抜きます。
- 2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3 [I-O DATA USB-PHS64]をクリックし、[変更/削除]ボタンをクリックします。



- 4 [OK]ボタンをクリックします。



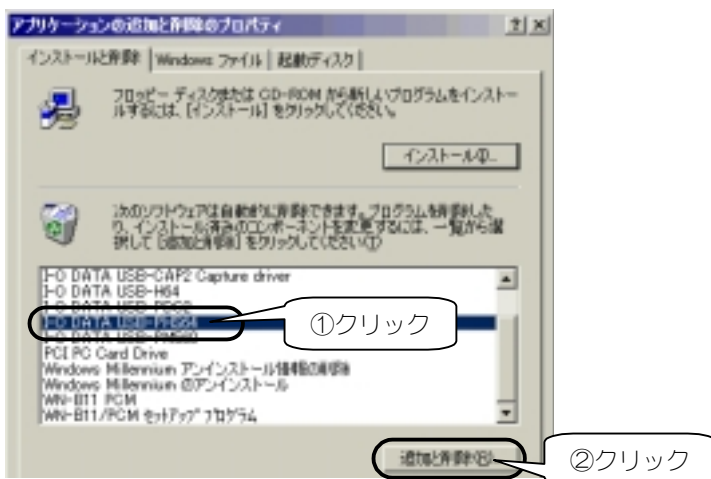
- 5 [OK]ボタンをクリックします。



これで Windows 2000 での削除は完了です。

Windows Me/98 での削除

- 1 本製品が使用中ではないことを確認し、パソコンのUSBポートから本製品のケーブルを抜きます。
- 2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3 [I-O DATA USB-PHS64]をクリックし、[変更/削除]ボタンをクリックします。



- 4 後は画面の指示に従い、順に[OK]ボタンをクリックしてください。

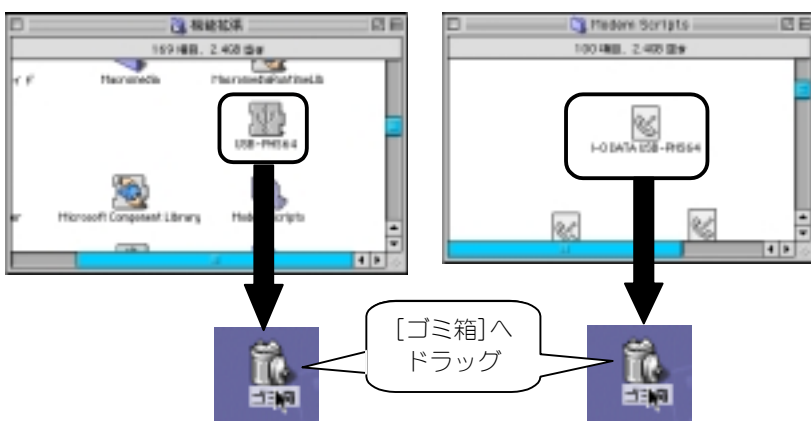
これで Windows Me/98 での削除は完了です。

Mac OS での削除

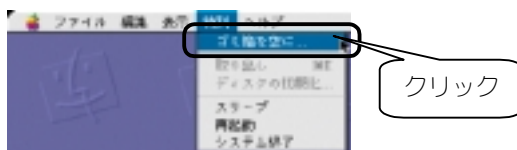
1 本製品が使用中でないことを確認し、パソコンのUSBポートから本製品のケーブルを抜きます。

2 [機能拡張]フォルダ※内の[USB-PHS64]、[Modem Scripts]フォルダ内の[I-O DATA USB-PHS64]の2ファイルを[ゴミ箱]に入れて削除します。

※[機能拡張]フォルダは、Mac OSをインストールしたドライブの[システムフォルダ]の中にあります。



3 [特別]メニューの[ゴミ箱を空に...]をクリックします。



付録4

仕様

■ アダプタ部

制御コマンド	ATコマンド準拠
回線接続方式	16芯プラグ
通信方式	全二重
同期方式	調歩同期式(非同期)
通信速度	32/64Kbps
通信規格	PIAFS 1.0/2.0,RCR-STD28準拠

■ 一般仕様

機器名	USB-PHS64
端末インターフェイス	USB Specification Rev1.0準拠
電源電圧	バスパワー/5.0V
消費電流	50mA(Max)
使用温度湿度範囲	温度:0~40°C(パソコンの動作温度範囲であること) 湿度:35~90%(ただし、結露なきこと)
ケーブル長	約34cm
コネクタ寸法	W31×H54×D11(mm)
質量	約22g
認証番号	A00-0478JP

付録5

用語解説

bps(ビーピーエス) (*Bit per Second*)

データ通信速度の単位です。1 秒間に送受信できるビット数を表します。

例) 64Kbps は 1 秒間に 65536bit (64 × 1024bit) の情報を送受信します。

COM ポート(コムポート)

Windows ではシリアルインターフェイスを COM ポートと呼びます。

PIAFS(ピーアフ) (*PHS Internet Access Forum Standard*)

データ通信速度の単位です。1 秒間に送受信できるビット数を表します。

例) 64Kbps は 1 秒間に 65536bit (64 × 1024bit) の情報を送受信します。

PPP(ピーピーピー) (*Point-to-Point Protocol*)

同期および非同期式のポイント・ツー・ポイント・シリアルリンク回線方式に関するパケット通信規約です。

不特定多数の人が、たまにしか利用しない場合に、IP アドレスを一義的に割り当てるのは不経済なため、PPP では利用時に一時的に割り当てる方式をとります。

ダイヤルアップネットワークのための IP 接続用の通信規約で、ファイルやデータの転送が可能です。

TCP/IP(ティーシーピーアイピー) (*Transmission Control Protocol/Internet Protocol*)

Advanced Research Projects Agency(ARPA)によって開発されたプロトコル(=通信規約)一式です。

主にネットワーク層プロトコル(IP)と、トランスポートプロトコル(TCP)を含みます。

インターネットでは一般的に使われています。

USB(ユーエスビー) (*Universal Serial Bus*)

パソコンと周辺機器を接続する規格の1つ。パソコンと電話回線の接続性向上、接続のしやすさ、増設のしやすさなどを主な目的として 1995 年に公開されました。

- ・コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一されます。
- ・デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できます。
- ・Hot Plug対応でパソコン起動中でも抜き差しできます。
- ・USBポートから電源供給が可能です。
- ・複数のIRQを使用しないので機器間の競合が少なくなります。

などの特長を持っています。

転送速度は、高速用に 12Mbps(シールド付きケーブルで最長5m まで)と、低速用に 1.5Mbps の2種類あります。本製品は 1.5Mbps タイプです。

アクセスポイント

プロバイダが設けたインターネット接続用の電話番号。

アクセスポイントにはインターネットに通じるサーバが接続され、ダイヤルアップ接続してきたユーザーをインターネットに接続します。

キャリア

「コモンキャリア」と呼ばれる自前の通信設備(特に回線網)を所有している通信事業者(第一種電気通信事業者)のこと。日本では NTT、KDDI、日本テレコムなどがこれにあたります。

ダイヤルアップ

電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者(プロバイダ)に接続することです。

プロトコル

通信規約のことです。コンピュータ同士が相互で通信を行うための様々な取り決め(通信速度や通信方式、エラーチェックの方法、データの形式など)です。インターネットでは、TCP/IP プロトコルを使用します。

プロバイダ

(インターネット)プロバイダとは、インターネットへの接続サービスを行っている接続業者のことです。インターネットを利用するためには、利用者もしくは所属する組織が各種学術研究ネットワークに加入するか、インターネットプロバイダと呼ばれる接続業者に加入する必要があります。

PLANT コールセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、ハードウェアシリアル No.
3. ご使用のパソコン本体と電話機の機種。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット <http://www.iodata.co.jp/support/>
「PLANT コールセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して、E-Mail をお送りください。

■郵便

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「USB-PHS64」係宛

■電話

電話番号 金沢 076-260-3644
東京 03-3254-1144
受付時間 9:30～19:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

■FAX

FAX 番号 金沢 076-260-3360
東京 03-3254-9055
宛先 株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「USB-PHS64」係 宛

本製品に関するお問い合わせは、PLANT コールセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

「サポートソフト」がバージョンアップした場合は、以下の方法で入手できます。

■オンライン

インターネット <http://www.iodata.co.jp/> →「サポートライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

以下の窓口までお問い合わせください。(送料および手数料はお客様負担)

住所 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
 アイ・オー・データ第2ビル
 株式会社アイ・オー・データ機器
 「USB-PHS64」サービス窓口 宛
電話番号 **076-260-3663**
受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00
 月～金曜日(祝祭日を除く)

■ご注意

・インターネットによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。

ユーザー登録

以下の手順でユーザー登録を行うことができます。

- 1 添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。
- 2 ●オンライン登録する場合(インターネット <http://www.iodata.co.jp/regist>)
インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。
上記のアドレスにある[オンラインユーザー登録]のフォームにて、ユーザー登録を行ってください。
オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。
- ハガキで登録する場合
ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。



注意

ユーザー登録カードによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- ・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- ・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記「修理品送付先」までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態(『PLANT コールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」)をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
 - ◇保証書がない場合
 - ◇保証書の所定事項が未記入の場合
 - ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
 - ◇落雷などの事故による破損の場合
 - ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。

製品によっては主要部品がユニット化(一体化)されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

■修理品送付先

住所 〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「USB-PHS64」修理係 宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

■修理品納期間い合わせについて

受付窓口 「USB-PHS64」 サービス窓口
電話番号 本社 076-260-3663
受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。

USB-PHS64 取扱説明書

2001. Jul. 30 71103-02

発 行 株式会社アイ・オー・データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2000-2001 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.

本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。